

はじめに

本年度は富士演習林が創設80周年を迎えました。これは1925年に地元から土地の譲渡を受けて設置されたもので、他の演習林にしても設立の経緯は各々ですが、地元との共存共栄を図るべく置かれていることに違いはありません。演習林の目的は勿論、大学における教育・研究ですが、地域社会の一員であることを念頭に置いた運営を行っていくべき存在であることは論を待ちません。

東京大学が国立大学法人東京大学により設置された国立大学となり、2年目を迎えました。演習林の予算において大きな部分を占める木材収入の扱いが明確になり、その多寡がそのまま演習林の予算を左右することが分かりましたが、木材価格は低迷しており、演習林の運営は難しい局面を迎えています。この木材収入を含め、演習林で上げる収入が今後どのような扱いになるのか、未だに不透明です。また、東大演習林にとって少なくない額である所在市町村交付金相当額の扱いも未だに不透明です。このように演習林の運営の枠組みが定まらない中ですが、演習林の教育・研究を基本にする姿勢を以て当たりたいと考えています。

具体的には、7つの地方演習林であって同時にそれらを有機的に結合した1つの演習林であることの利点を活かすことが、演習林の運営の基本方針と考えます。このために、本年度は技術職員を研究部に1名増員し、調整機能の充実を図りました。また研究組織としては森林圏生態学、森林生物機能学、森林圏生態社会学、森林圏流域管理学の4研究室体制にし、それぞれの地方演習林の役割の分担化を進め、特色を生かしつつ研究の統合を図ってきました。

また、本年度は1894年に創設された一番古い演習林で千葉演習林の試験研究計画が12期に入り約22,760haで最大の面積を持つ北海道演習林の試験研究計画も来年度から12期に入ります。前者は森林資源の充実を背景に収穫の増大を計画したものであり、後者は戦後行われてきた「林分施業法」の見直しを含む画期的なものになりそうです。様々な変化を続けている演習林ですが、そのことを広く伝えていくことが内外にとって重要なことだと考えます。

本年報が、森林に関わる教育・研究の発展の礎となり、大学演習林の意義をより深く理解していただくための一助となれば幸いです。

2006年3月31日
東京大学大学院
農学生命科学研究科
附属演習林長

永 田 信

目次

演習林の概要	1
演習林の活動	
研究活動	
地方演習林研究活動報告	2
森林生態圏管理学大講座ゼミ	18
演習林技術職員等試験研究・研修会議	20
試験研究業務	
試験研究業務実行位置図	22
林相別面積集計表	48
林相別蓄積集計表	48
立木伐採量	49
育林実行量	50
植栽樹種	50
素材生産総括表	51
土木実行総括表	51
道路状況	51
利用状況	
演習林を利用して行った論文等	52
全利用者	62
教育活動	
大学院講義等	109
学部講義等	111
他大学への非常勤講師	112
公開講座・セミナー等	113
実習等	116
科学研究費・受託研究費等によって行われた研究	
他機関との共同研究	119
受託研究	119
奨学寄付金	119
科学研究費	120
研修	
技術職員	121
事務職員	121
安全・防災のための講習会等	122
国際交流	
国際シンポジウム	123
共同研究	123
外国人研究者の来訪	124

出版広報活動	
演習林報告	127
演習林	128
新聞・雑誌・放送等	129
科学の森ニュース	131
著書	132
各種委員会報告	
運営委員会等	133
学外各種委員会委員	134
山火事予防活動	135
主要設備	136
年間行事	137
資料	
人事異動	138
収入・支出	
予算配分	140
収入	140
演習林林産収入細分表	140
組織図	
本部(研究部)	141
千葉演習林	142
北海道演習林	143
秩父演習林	145
愛知演習林	146
富士演習林	147
樹芸研究所	147
田無試験地	147
付録	
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 同縮尺図	148
各演習林所在地及び連絡先	150
教職員の写真	151

演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学に併合されて農科大学となり、1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて、教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら、北海道演習林(1899)、秩父演習林(1916)、愛知演習林(1922)、富士演習林(1925)、樹芸研究所(1943)、田無試験地(1929)が設置された。戦前の一時期には、樺太島、中国大陸、朝鮮半島、台湾島にも東京大学の演習林が設けられていた。

2000年度(平成12年度)には、大学院重点化され、従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係をさらに発展させながら、農学生命科学研究科の他の附属施設(農場、牧場、水産実験所、家畜病院、緑地植物実験所)とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り、大学院教育により主体的に参画している。現在、演習林(通称:科学の森教育研究センター)は7つの地方演習林と研究部から構成されている。

千葉演習林は暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ、ヒノキ、マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を100年余にわたって実施してきた。また、モミ、ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し、学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では、特に自然史や生態系に関する調査、研究が幅広く行われている。

北海道演習林は亜寒帯に位置する総面積約23,000haの本センターでは2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって、林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方、奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用されている。特に1958年以降、北海道演習林の天然林全域を対象として、北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」が実施されており、その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は冷温帯に位置し、総面積約5,800haと本センターでは2番目の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあり、森林植生は変化に富み、生物相も多様である。大面積にわたる貴重な原生林を対象に森林生態系に関する調査・研究が数多く行われている。また、育苗・育林技術、天然林の更新、急傾斜の山岳林における人工林施業法などに関する研究も行われている。

愛知演習林は崩壊の起きやすい花崗岩地域に設けられた総面積1,300haの演習林である。生産性の低い立地における森林水文ならびに森林植生回復に関する研究が主に行われている。70年にわたる量水観測は、わが国における土壤保全、水文研究の科学的、技術的発展に重要な役割を果たしてきた。また今日では、都市近郊林としての保健休養・環境保全機能や、河川の不安定化、洪水の増大などで苦しんでいる熱帯地域への国際協力面でも貢献が期待されている。

富士演習林は富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の開発や景観評価についての研究が行われている。また、演習林の一部は学生・教職員の夏季休養施設としても活用されている。

樹芸研究所は伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。特用樹木の利用と育成に関する基礎研究と温泉熱を利用した温室における熱帯・亜熱帯産樹木の育成と展示が行われている。

田無試験地は本学農学部キャンパスに近い西東京市にもうけられている総面積約9haの演習林である。大学に近いことや、土地が平坦なことから造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系の圃場実習や室内実験に多く利用されている。

農学部(弥生)キャンパスに設置されている研究部では、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援し、近年では本学演習林全体で協調した長期生態系プロット調査や、全国の大学演習林とも連携して文化財保護の支援を視野に入れた高品位材資源のデータベース作成などを手がけている。また、多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること、共同研究の企画調整、各演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行、森林科学関連学術雑誌の図書館機能、インターネットを利用した情報公開促進等の役割を担っている。

以上のように、科学の森教育研究センターは、さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の森林に、世界的にも貴重で多様な天然資源・遺伝子資源を有している。当センターにおける教育研究および管理は、研究部を中心にセンター全体としての共通理念に立脚しながらも、各地方演習林独自の試験研究計画にもとづいて多くの教官、技術官、事務官等が共同で管理する多数の試験地によって支えられている。

演習林の活動

研究活動

地方演習林研究活動報告

千葉演習林

総合対照流域法による森林-環境系の応答解析

森林が環境に及ぼす影響について対照流域法を用いて総合的に解析することを目的として、2林班C1小班に袋山沢試験地を設定した。試験地は、ひとつの集水域(C流域、2.03ha)からなり、北側のA小流域(0.80ha)、南側のB小流域(1.09ha)および残流域に3分される。植生は、スギ、ヒノキ壮齢人工林である。A,B,Cの3流域にそれぞれ量水堰堤が設けられており、流失水量・水質、堆砂量、浮遊砂濃度などを観測している。各流域の中では、降雨が樹冠に触れてから溪流へ流失するまでの経路に沿って、樹冠通過雨、樹幹流下雨の水量と水質、地表面流の発生場の分布、不飽和土壌水の深度分布と水質、地下水位の変動と地下水水質、地温、土壌中CO₂濃度などの観測を行った。

平成10年度にB小流域の森林を皆伐した。今年度以降は、皆伐の影響を重要課題として解析する計画である。これまでA,B小流域で観測された流出量を比較したところ、年流出量ではA流域の方が多いにもかかわらず基底流失の逡減時の流出量は、B流域の方が多いという結果が得られた。

スギ・ヒノキ人工林における長伐期、複層林業に関する間伐方法の研究

千葉演習林のスギ、ヒノキ人工林の面積は800haあり、そのうち60年生以上の伐期に達した高齢林が約50%を占める。今後これら的高齢林の施業方法として、ニホンジカの食害等を考慮し皆伐面積を極力控え教育・研究に必要な面積、年1~2haとし、その他の人工林は長伐期林に移行する。したがって、ますます高齢の人工林が増加する。

現在、この高齢人工林を健全に維持するために間伐方法の検討を行っている。平成9年度から次の4種の間伐方法を実施し健全な高齢林の造成を図っている。

1) 環境保全型間伐法

本間伐法は、過密高齢林分を比較的低い間伐率により個体間競争を緩和し、林床植生が繁茂する健全な林分の造成を目的とする。

2) 長伐期業型間伐法

本間伐法は、長伐期業を想定し、間伐により最大限の利益を得ると同時に将来の大径良質材の生産を目的とする。

3) 複層林業型間伐法

本間伐法は、複層林業を念頭においたもので、長伐期業型間伐よりさらに強度な間伐を行い、林床に植栽した下木の成育に必要な林内照度を維持する事を目的とする。

4) 帯状間伐法

本間伐法は、主策線に対し魚骨状に20mの幅で伐採区、残存区を繰り返し間伐法の長所、短所を明らかにする。

ニホンジカによる造林木被害の対策

千葉演習林でのニホンジカによるスギ、ヒノキの被害は、局所的には1981年頃からであったが、特に目立つようになったのは1986年秋からである。その後、被害を記録するとともに電気柵、ネット物理柵、ヘキサチューブなどによる防護や大苗の植栽によって被害対策を行ってきた。しかし、ネット物理柵と大苗の植栽の組み合わせでは、期待された効果がみられたものの、それ以外では、十分な効果が得られたものは限られている。

そこで、2001年8月から新素材のネットを開発している東工コーセン株式会社との共同研究を27林班の二段林(平坦地、スギを下層に植栽)で開始した。新素材は、「ダイニーマ」という超高分子ポリエチレンの強度の高い繊維と生分解プラスチックの「ラクトロン」繊維である。この他に新素材ではないが、柵内をニホンジカに見えにくくするために網目を細かくした「ラティース」網も使用した。

3調査区(ダイニーマ柵、ラティース柵、ラクトロンネット)と対照区での2003年3月の効果測定は、植栽時での枯死と人為的な被害を除くとシカによる被害率は、ダイニーマ柵0%、ラティース柵0%、ラクトロンネット2%、対照区91%であった。

1年半経過時点では、ダイニーマ柵、ラティース柵、ラクトロンネットの効果は十分認められたが、予期しない被害発生に対処するため、さらに調査を継続する必要がある。なお、イノシシによる柵破壊の影響、傾斜地での柵の管理法などについても検討を要する。

マツ材線虫病抵抗性マツの育種に関する研究

わが国において、マツ材線虫病によりマツ林が激害を受けている。千葉演習林では、マツ材線虫病に対する抵抗性の高いマツによる採種園を造成するための研究を進めている。具体的には、過去に選抜された抵抗性マツに対して最近の病原性が強いといわれるマツ材線虫病に対する抵抗性の再評価、マツ材線虫病激害地に生き残った個体から新たな抵抗性個体を選抜するためのマツノザイセンチュウ接種試験、抵抗性の高い個体間の人工交雑による積極的な強抵抗性マツの創造等である。

なお、クロマツを中心に、マツ材線虫病抵抗性候補個体に対する抵抗性評価に関し、現在、他研究機関と共同研究を計画中である。

ヒメコマツの保全に関する研究

寒冷期の遺存種とされる房総丘陵のヒメコマツは、近年急速に枯損が進み、現在、天然成木は千葉演習林内に23本(房総丘陵全体で約80本)しか確認されていない。天然に生育している個体は、お互いに離れているため花粉の流動性が少なく、他殖の稔性の高い種子生産が望めず、そのため更新が難しい状況にある。このままでは近いうちに絶滅の危険性が高いので房総のヒメコマツの保全について研究を進めている。なお、千葉県レッドデータブックにおいてヒメコマツは最重要保護生物「A」にランクされ保護の必要性が認識されている。

研究の結果、天然個体、天然由来の庭木、植栽木等を使った人工交配を行うことにより、種子の稔性向上と、極端に減少した集団の遺伝的多様性の維持が可能になったことが明らかになった。現在生存している天然個体は100年以上前の集団の遺伝的形質を示すものであり、DNA分析の結果、約80本しか残っていない房総丘陵のヒメコマツは、集団としての遺伝的多様性はまだまだあまりそなわれていないことが明らかとなった。そこで、現在点在している天然個体を接ぎ木により増殖して、現在の遺伝子を生かした採種園を造成するための研究を進めている。また、天然個体の枯死原因の一つにマツ材線虫病が考えられているが、その確認のため接ぎ木苗を用いたマツノザイセンチュウ接種試験やマツノマダラカミキリ放虫試験にも取り組んでいる。

ヤマビルの生態

房総半島南東部では、1985年頃からヤマビルの大量発生が認められるが、防除方法を考える上で重要なヤマビルの生態については、ほとんど明らかにされていない。ヤマビルの総合的管理(密度低下、分布域の局限化など)システム確立の基礎として、当地域における個体群変動要因、生活史、生息環境要因などを明らかにする。そのため、千葉演習林全域およびその周辺において、定点および一定のルートにおける定期的な野外個体群の採集を行い、ヤマビルの分布、生息数および寄主動物等を調査している。天津実験室において給餌を伴う飼育個体の観察から生活史を解明している。清澄作業所管内の林内にデータロガーを設置し、生息場所の温度と湿度を測定している。

これまでの調査からヤマビルにとってニホンジカは、好適な寄主であり、また、運搬者であることがわかった。ヤマ

ビルは、ふ化から産卵までの最短期間は5ヶ月であると推定された。ヤマビルの生命表を作成した。ヤマビルの生息場所である落葉の下の温度は、林内気温と比較して変動幅が少なく比較的安定していると思われた。

北海道演習林

北方天然林の持続的森林経営の実験

北海道演習林の天然林施業は1907年第1期施業案に始まる。第8期経営案(1958-1967年)からは「林分施業法」という名の下により細やかな施業が行われるようになり、現在は第11期試験研究計画(1996-2005年)に基づいて施業実験が行われている。その特徴は、森林生態系の保全に配慮し、林分の個性を尊重しながら、健全で活力ある森林の育成を目指すところにある。木材生産機能と公益的機能を分けて扱うことが今般の“はやり”であるが、ここではそれらを分けずそれらの調和を崩さないことを大きな目標としている。

施業実験林は約2万haあり、これを里山と奥地の2つの作業級に分け、択伐、補植などの林分にタイプ分けし、10年ないし20年周期で成長量に見合った弱度の択伐(択伐林の材積伐採率16~17%)を丁寧に行い、残った樹木の生育を促進させるよう、樹木の個体数、現存量、種の多様性の維持を林分ごとに図っている。2004年度には立木材積にして3.08万m³の伐採を行い(直営素材生産量は0.25万m³)、1.2億円の収益をあげた。

このような森林経営では、調査研究の効率を高め、集材・運材のコストを下げるために高密度の林道網が不可欠である。現在の林道総延長は933kmで、林道密度は41.0m/haである。

天然林の長期観測大面積プロットによる林分動態の解析

天然林では樹木の生育分布が均一でなく、わずかな立地条件の差の影響を受けやすいので、その動態を把握するためには十分な個体数と現存量のある箇所で大面積プロットによる継続調査が必要となる。また、樹木の寿命は非常に長く、環境変化に対する反応速度が遅いため長期的な継続調査によって個体の成長、枯死、更新の状況を把握することが不可欠である。これらについての良質な情報は大量プロットにおける長期観測でしか得られない。本演では前山保存林に1992~1993年に36ha(50m×50m、145プロット)、岩魚沢保存林に1994年に19ha(50m×50m、75プロット)の大面積プロットを設置し、個体ごとの成長、進界・枯死木の記録測定を5年ないし10年ごとに行うことにより森林動態の長期モニタリングを実施している。1997~1998年に前山保存林全プロット、2002~2003年に前山保存林5年測定区40プロット、1999年に岩魚沢保存林全プロットの測定を行った。

風害地の森林形成過程に関する研究

1981年(昭和56年)、北海道を襲った台風15号は本演の森林にかつてない大被害をもたらし、被害面積約8,700ha(内、激害地3,100ha)、被害材積約81万m³に達した。このため、多くの施業実験地や試験地が壊滅するとともに、広大な無立木地も生じた。

これらの風害地に対し、風害直後からその森林復旧対策として、植林と地がきを施した。また、これらの復旧対策と関連して、風害地内に各種の試験地を設定し、植生の遷移、立地と天然更新状況、森林形成過程における森林土壌動物相の変化、菌類の動向、さらには水収支の変化等を課題とする研究を行ってきた。その結果、これまでに風害跡地は、その環境により森林の回復パターンに大きな違いがみられること、また、地がきにより天然下種更新を期待できることなどが明らかとなった。

アイヌ文化振興への協力

1999年10月14日北海道演習林100周年記念式典の中で101年目からはアイヌの人たちとより良い関係を築いていきたいことを宣言した。地域社会の中でアイヌ文化の再認識に果たす大学という教育機関の役割は大きいと考えら

れる。船の作り方を若いアイヌの人たちに伝承する事業のために、2002年3月に46林班から伐り出された胸高直径1mのハリギリ(セン)を提供した。美しい丸木船(ピリカ チブ)を制作する際に、その丸木船の胎内から、仔舟を取り出すようにして実用サイズの約1/4の模型が作られ、2003年12月24日に、財団法人白老アイヌ民族博物館から、東京大学北海道演習林あてに寄贈され、森林資料館に展示してある。

エゾシカによる樹木食害

近年エゾシカ個体数の増加に伴い、樹木の食害が目立ってきている。エゾシカによる樹木食害の実態を把握するために被害木調査を行っている。また、カフェテリア試験法を用い、シカの樹種嗜好性を左右する物質に関する研究を行っている。嗜好性が高い樹種の内樹皮にはリグニンが少ないことがわかってきた。

北海道演習林地域における地質研究

演習林には第三系―第四系の流紋岩質十勝溶結凝灰岩および大麓山安山岩溶岩、超塩基性岩類の蛇紋岩、上部ジュラー白亜系の基盤岩類(日高累層群、空知層群、蝦夷層群)など、多様な岩石が分布しており、地形や植生に大きく影響を及ぼしている。

過去数億年の地球史の中で最も温暖化が進み、また生物絶滅事件が起こったとされる白亜紀前期の古環境や構造発達史に関する基礎データが、演習林周辺地域で蓄積されつつある。

従来はトラップされた海洋地殻と考えられてきた空知層群が、緑色岩(35林班)の化学分析結果からアジア大陸縁辺の島弧―縁海系で形成されたことが明らかとなった(Takashima et al., 2002)。また、ウーライト石灰岩(34林班)の発見により、白亜紀前期の北海道は、現在の亜熱帯域と同じくらい温暖であったことが示唆されるなど(高嶋ほか、演習林報告108号、2002)、白亜紀の古気候変動の復元が進められている。

遺伝子資源の保全管理と利用に関する研究

本演では1952年に林木育種の研究が開始され、成長が速く耐病性や耐鼠性に秀でた樹種に関する研究および育成が行われてきた。現在では、諸外国から収集・育苗した北方系樹種を展示するとともに、カラマツ属やカバノキ属などの各樹種の成長特性、適応性、種分化などの調査を行っている。また、北海道産の約40種の樹木について、開葉・開花・紅葉などのフェノロジー特性を長期的に観測し、各樹種の種特性や産地特性の解明、種苗造林技術への応用などを行っている。DNAマーカーを利用した北方系樹木の繁殖生態に関する研究では、ヤチダモ、オニグルミ、カツラ、トドマツ、エゾマツ、ハルニレ、オヒョウニレの遺伝子流動に関する研究を進めており、長距離散布を定量化するための新たなモデルを構築した。また、ヤチダモ種子の画像解析と散布実験から、種子は弱風では散布高の2倍以内に落下すること、母樹ごとに種子のかたちが異なり、かたちによって散布能力が違うことが示唆された。また、北海道演習林という景観スケールでウダイカンバ、トドマツ、アカエゾマツに関する集団遺伝学的な解析を行った結果、いずれも集団ごとの遺伝的な違いは小さいものの、それぞれの樹種に特有の現象が抽出できた。ウダイカンバでは、再生林の更新過程で数少ない残存木からの種子の供給がなされたことが集団の遺伝的特徴に反映されていることが示された。トドマツでは、択伐施業によって稀な対立遺伝子の頻度が増加すること、また標高が高い地域では多様性が低下することが示された。アカエゾマツでは、逆に標高が高いほど遺伝的な多様性が高いこと、湿地帯では多様性が低いことなどが明らかにされた。また、トドマツの標高別試験地の測定を行った結果、種子産地と植栽地の標高差が小さいときに、生存率×樹高平均で示される適応度が高くなることが示された。このように、種子産地と植栽地の環境差が小さいほど適応度が高くなるという仮説(ホームサイト・アドバンテージ仮説)は草本類や低木では知られていたが、連続分布する針葉樹では世界的にも初めての知見である。

アスベスト鉱山跡地の緑化

37林班・84林班に残るアスベスト鉱山跡の緑化に取り組んでいる。一部に回復してきている植生の構造を調査し、

土壌のpHや電気伝導度分析を行っている。いくつかの候補種を選定し、小規模でアカエゾマツの植栽とシラカンバ、ウダイカンバ、イヌエンジュなどの播種を行っている。今後、候補種ごとに根圏の観察と根圏の化学的指標とによって、それぞれの環境適応能力を判断していく。

石灰岩地帯生態系総合調査

105から103林班の石灰岩地帯の生態系総合調査を企画した。植生調査に着手し、調査プロット設定場所などを検討した。今後、動植物に関する調査のみならず、地質学、土壌学的な調査も行う予定である。本調査は森林の成り立ちを総合的に再検討し、北演で行われている施業を新しい視点から見直す基礎資料を得ることを目的とする。この取り組みは非石灰岩地帯に先駆けて行うモデルケースと考えている。

植生調査

旭川西高校教諭の堀江博士の全面的な協力を得て、北演の植生調査を開始した。現在、約900種(亜種・変種を含む)の維管束植物が同定された。今後も調査を続け、北演内の植生を正確に記載する予定である。

水系総合調査

北海道演習林には大小多くの空知川水系が存在する。生態系を地質や水質などの環境条件とともに流域規模で把握し、相互に関与する要素を総合的にとらえながら源流域の総合的理解を図ろうとするものである。学内外の各分野の専門家が会し、2004年度に第1次調査を西達布川本流、仙人峡、奥の沢で実施した。水温、水量、水質など、流域の基礎的事項が測定されるとともに、植物相、水棲動物相については、流域によって隔離分布している種や新たに存在が確認される種があり、貴重な固有種の存在も確認されている。流域ごとの特徴が明らかになり、基礎的データが蓄積されている。

秩父演習林

ケヤキ人工林の間伐試験

1999年に三段階の間伐を実施してケヤキ人工林間伐試験地に仕立て直した。これらの試験地を今後10年間隔で成長量を測定する。また間伐際強度の間伐であったため残立木の幹から萌芽枝が多く出てきている。そこでそれら萌芽枝の枝打ちを2002年3月に実施した。以上の試験を行い、その経過を記録することにより、ケヤキ造林技術を確立することを目標とする(一部を平成13年度・第53回日本林学会関東支部大会にて発表)。

ケヤキ人工林成長試験

117ケヤキ造林地で1912年植栽以来成長測定試験を行い、その成長経過を5年間隔記録している(日林論100にて発表)。

ケヤキの豊凶とリター量との関連

これまで1林班17小班、1林班は2小班、29林班13小班での調査においてケヤキの結実量とリター落下量とに関連があることが分かった(日林論105にて発表)。そこでリタートラップによるリター生産量と種子落下量の測定に加え、デンドロメータによる直径成長量の測定を月1回行い、それぞれの季節変化と結実年における同化物質の配分について調査を進めている。

産地が異なるブナのフェノロジー現象の違い

29林班い15小班と影森苗畑に産地別ブナ植栽試験地を整備し、産地および地域によるブナの開芽や黄葉などのフェノロジー現象の違いと、気温・日長など環境要因との関係を明らかにする。そのため2002年3月に12産地・68本の苗木を影森苗畑より29林班い15小班に移植した。2004年度は開芽フェノロジーについて調査を行った。

シオジ・サワグルミの更新過程

秩父山地帯溪畔林の主要樹種であるシオジとサワグルミの更新特性とその過程について明らかにする。調査方法はリタートラップによるリター生産量と翼果落下量の測定、それら翼果の健全率や虫害率(食害昆虫の同定)などの内容確認、デンドロメータによる直径成長量の測定、実生の消長観察である(一部を2002年5月の第11回溪畔林研究会にて発表)。

シオジ天然生林調査

秩父山地帯溪畔林の主要樹種であるシオジが優占する天然生林2箇所(3林班は1小班、11林班ろ1小班)について10年間隔で毎木調査を行い、シオジ林の成長および動態を把握する(一部を第54回日本林学会関東支部大会にて発表)。

ミズナラのフェノロジー観察

全演協地球環境モニタリングの一環として1996年より始まり、ミズナラの開芽期、黄葉期、落葉期を大血川東谷3個体、入川林道終点付近3個体の計6個体について観察している。調査方法は4～6月と9～12月に週1～2回目視による判定と写真撮影、リタートラップ内容物の分析により行っている。観察結果は毎年全演協に報告し、<http://www.hkuf-unet.ocn.ne.jp/phenology/tk-cbu.html> で見ることができる。

秩父山地帯域の主要樹種と微地形との関連

1994～2000年に行った大面積プロット5.75haの毎木調査の結果から、主要樹種と微地形との関連について解析する。手法としては各小区画をクラスター分析で類型化後、主成分分析を用いて解析を行う。解析結果をまとめ、論文を日林誌に投稿中である。

ブナ・イヌブナの豊凶現象に関する基礎的研究

これまでの調査でブナ・イヌブナの豊作年は2～5年間隔であることが分かったが、なぜブナ・イヌブナに豊凶現象があるのかについて明らかにする。調査方法はリタートラップによるリター生産量と堅果落下量の測定、それら堅果の健全率や虫害率(食害昆虫の同定)などの内容確認、デンドロメータによる直径成長量の測定、第2観察鉄塔を使った樹冠部のフェノロジー観察である。これらを行うことにより豊作年における同化物質の配分や、虫害と豊凶との関係を明かにし、ブナ・イヌブナにとって、なぜ豊凶現象が必要であるかを解明する(一部を東大演報106にて発表)。

炭焼きガマの教育的利用

大血川ケヤキ平に設置した炭焼きガマを使った野外教育プログラムの実践を行った。具体的には日帰り3回の公開講座(材料準備、火入れ、炭出し)を開催し、参加者は炭焼きを実際に体験することにより木炭についての理解を深めることができた。同時に炭焼きに興味のある秩父演習林サポーターを募り、技術の伝承を行った。

秩父山地亜高山帯域における風倒跡地林分の再生過程

17林班内標高1,950m付近の伊勢湾台風による被害跡地の再生過程を明らかにするため風害跡地と隣接する無被害林分に調査地を設置し、7～8年間隔で毎木調査を行っている。2004年度は修論学生が調査を行った。

原生林測定

1970年より演習林各所の原生林内に設定し、現在13箇所の測定地を10年間隔で測定している。調査結果から原生林の成長量と森林動態について基礎的なデータを収集している。平成13年度は測定年ではないため調査等を行っていない(一部を第54回日本林学会関東支部大会にて発表)。

トウバク沢量水観測試験

トウバク沢土捨て場の流出特性への影響についてモニタリングしている。調査方法はトウバク沢土捨て場最下部にある量水堰堤に量水計と雨量計を設置して行っている。なお2000年までの観測結果は演習林(東大)41で公表されている。

ウダイカンバ優占二次林調査

1990年に設定したワサビ沢試験地(林齢60年)、2000年に設定した小赤沢試験地(林齢12年)、2001年に設定したバケモノ沢試験地(林齢約120年)を定期的に測定することにより、秩父山地におけるウダイカンバ優占林分の林分構造と成立過程を明らかにする(一部を東大演報109で発表)。

広葉樹二次林整理伐試験

1970年に4林班は11小班広葉樹二次林で行った整理伐試験地について適時追跡調査を行っている。2004年度は測定年ではないため調査等を行っていない。

大面積長期生態系プロット

各種立地条件において自然攪乱によるギャップの形成と修復過程などの各発展段階における個体情報を収集し、太平洋側山地帯天然林の森林の動態を解明するために、埼玉県西部大滝村にある東京大学秩父演習林の27林班と28林班(標高1,132-1,314m)のブナ、イヌブナ、ツガが優占する天然林内に約5haの大面積プロットを1994年に設定して調査を開始した。なお本研究は文部省科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 課題番号10460062 研究成果報告書「長期生態系プロットによる森林生態系の解明」において報告した。2004年度は25×25mの小区画110個のうち18個の直径測定と一部についてナンバー札取替え作業を行った。また、一部を第115回日本林学会大会で発表した。

人工林伐採跡地における天然下種更新の実用化

中山沢3い4の人工林伐採跡地に5m×5mのコードラートを斜面上中下に地拵え区と放置区1カ所ずつ、計6カ所を設定した。各コードラートは、シカ等による食害を防ぐためネットで囲い、木本についての更新調査を行った。また、各コードラートのA0層、深さ0-5cm、5-10cmの3層の土壌を採取し、影森苗畑で埋土種子の発芽試験を行った。さらに各コードラートの近くにシードトラップを設置し、飛散してくる種子を採取した。これらの調査結果を第55回日本林学会関東支部大会で発表した。2004年度は各コードラートの植生調査を行った。

穿孔性甲虫類の発生予察試験

生物指標を利用して、道路周辺の樹木の健全度を総合的にモニターすることを目的とする。衰弱木や枯枝、枯死木、伐材の中に生育し、衰弱木などが増加するとその個体数が増加する穿孔虫類、特にキクイムシ類の発生状況を把握するために、秩父演習林内の滝川流域(国道140号沿い)と入川流域(入川林道沿い)にそれぞれ6ヶ所ずつ誘引トラップを設置し、1989年以来、捕獲個体数のカウントを継続している。なお、一部を演習林(東大)44に投稿中である。

人工林固定測定地

人工林固定測定地はスギ、ヒノキ、サワラ、カラマツ人工林の成長量の測定や、間伐効果の検証を目的に1956年～1960年に設置された。現在、矢竹沢地区、入山地区、大血川地区、栃本各所に28箇所の測定地があり、本学森林経理学研究室の協力を得て5年毎に測定調査を行っている(一部を演習林(東大)43で発表)。2004年は矢竹沢地区のスギ、ヒノキ、サワラの4箇所の調査を行った。なお、過去の資料を演習林(東大)44に投稿中である。

スギ密度試験

1997年に29林班い1小班の68年生スギ人工林に設置した4段階(200本/ha、400本/ha、600本/ha、無間伐区)の試験地において5年間隔で追跡調査を行い、間伐の効果について検証する(一部を演習林(東大)43で発表)。2004年は毎木調査を行った。

ヒノキ密度試験

1998年に29林班い1小班の68年生ヒノキ人工林に設置した3段階(400本/ha、600本/ha、無間伐区)の試験地において5年間隔で追跡調査を行い、間伐の効果について検証する(一部を演習林(東大)43で発表)。2004年は毎木調査を行った。

二次林測定試験地

二次林測定試験地は、1982年より5年間隔で測定しているが、調査要因の関係から1997年に見直しを行い、全15プロットの内7プロットを調査間隔を10年とした。2004年は測定年ではなかったが、試験地内のナンバー札に破損や消滅がみられたため、5年調査間隔である7プロットについて、新しくナンバー札取替え作業を行った。なお、測定開始から2002年までの測定結果を演習林(東大)44に投稿中である。

溪畔林の再生に関する研究

渓流域において人為的な影響によって発生した無立木地および人工構造物等によって失われた溪畔林を再生して、その景観及び機能を回復させることを目的に当該地内に溪畔林を構成する自生種の植栽を試み、その植栽手法の確立、再生過程、流域環境の調査を行うもので2000年より開始した。2001年に豆焼沢流域で森林ボランティア団体の協力を得てシオジ、ケヤキ、カツラの植栽を行ったが、シカの著しい食害を受けたため、2002年にシカ対策をして改植を行った。2004年は4月にシカ食害対策について第115回日本林学会大会で発表した。また、5月と10月に植栽地内の成長調査を行った。

荒川源流域に生息する在来イワナに関する研究

荒川源流域に生息する在来イワナ個体群について生息域、生息環境(森林植生、水温)や食性、形態的特徴、遺伝的特徴等の基礎資料を収集することを目的に1996年より開始した。2004年は生息状況と生息域の水温、形態的特徴、遺伝的特徴を調べるためのサンプリング調査を行った。

ウグイスのさえずりをもとにした環境評価

ウグイスのさえずり(方)の違いは種内での優位性や繁殖行動と関連し、生息環境の良し悪しも反映していると考えられる。ウグイスのさえずり録音、コンピューターによる解析から、定量的なさえずり(方)の違いを把握し、ウグイスのおかれている状況や環境を明らかにしていく。種の環境選考性を知ることによって、人間の立場での環境評価の指標にしていく。

間伐材を利用した林業体験教育プログラムの開発

林業体験学習として間伐作業を行うに当たって、効果的な林業体験プログラムを開発することを目指して2002年より開始した。2003年に平成15年度科学研究費補助金(奨励研究)に採択され、2つの模擬開催を行った。秩父演習林の公開講座などのイベントに多く参加している世代である40～60代を対象とした林業体験型の公開講座プログラムを作る上での留意点が明らかになった。2004年度は途中経過をまとめ、佐賀大学にて開催された平成16年度機器・分析技術研究会にてポスター発表を行った。発表したポスターは東京大学科学の森教育研究センターHP内学会発表ポスターギャラリー16年度にて閲覧可能となっている。親子を対象とした公開講座と地域開放企画「森林の四季と私たちの生活」内の第3回間伐実習と第4回木工実習を担当した事により、親子を対象とした林業体験プログラムのデータを収集した。

秩父演習林の植物

秩父演習林の維管束植物を把握するため1998年から実施してきたこの調査も2004年度で終了した。演習林内で確認した植物は、シダ植物106種類、裸子植物21種類、被子植物789種類(双子葉植物離弁花類408種類、双子葉植物合弁花類228種類、単子葉植物153種類)、計916種類であった。現在、ニホンジカの個体数増加に伴う植物への被害が顕著となっており、さらに人間による土地開発、二酸化炭素の増加に伴う地球温暖化など、自然界を営みとする植物にとって、その生育環境は以前と比べ大きく様変わりしている。そのため、今後も定期的に調査を実施し秩父演習林の植物相を把握したいと考える。

愛知演習林

森林水文に関する試験研究

試験流域の量水観測成果は、気象要素とともに観測以来70年の資料が蓄積され、きわめて貴重な学術的価値を有している。現在のところ、量水観測は降雨-流出系の観測体制であり、その種の研究が中心となっている。今後は、この貴重な森林量水試験の蓄積を継続発展させ、降雨遮断・蒸発散・斜面流出等の水文素過程別の研究と併せて、水源涵養機能のメカニズムを解明することを目標としている。

量水観測は流域の森林成長と同時並行的に継続観測されることが学術的に貴重である。しかし、過去に遡って森林の成長過程を数量的に追跡する方法論が確立されていないことで、森林状態と雨水流出との関連づけが未だ十分に行われておらず、今後の研究テーマの一つである。

犬山地区では斜面ライシメータで集中的な素過程別収支観測が行われ、山地における水循環機構を詳解するための予備的研究が進められている。この研究は将来、小流域レベルに拡張されることを前提とした研究であり、降雨-流出系の制約にとらわれない研究手法である。また、2003年11月より科学技術振興事業団の戦略的創造研究推進事業(CREST)プロジェクト「森林荒廃が洪水・河川環境に及ぼす影響の解明とモデル化」が採択され、対象フィールドの一つとして犬山試験地内のヒノキ人工林、天然性林が選ばれ、出水時の水量と水質の測定により、ヒノキ林の荒廃に伴う水量や水質の悪化の定量的評価に関する研究が開始された。

蒸発散の直接測定が可能となり、これと組み合わせる森林微気象、樹液流、降水遮断の研究が赤津でも進展しつつあり、物質循環と水循環の関係の観測・解析と同様に森林生態学と水文学を結び付けた研究が計画されている。2000年度には、量水観測システムが導入された。主要な試験流域である白坂・穴の宮・東山で水晶式水位計が高精度で長期間安定なシステムとして作動しており、白坂小流域では、流量観測のための6箇所の水位観測と4箇所の地下水位観測が更新された。いずれも5分間隔で水位を記録するシステムであり、主要3流域の総合気象観測装置導入と合わせて、大量のデータを総合した流域間比較研究が進展するものと期待される。

東京農業大学との共同研究により定期的な土砂流出量の観測をおこなった。河道のプロセスと山腹斜面での土砂流出を測定しシミュレーションする手法により、ネパールと日本の比較をとおして双方の土砂流出プロセスの違いを

見出そうとした。

また、長期にわたる流量曲線の低減部を分析することにより、森林の回復プロセスが流域の貯留に及ぼした影響を分析した。

痩せ地における森林造成に関する試験研究

森林の環境保全機能(水源涵養、洪水防止、保健休養等)を維持しつつ木材生産を行う森林施業法を確立することも、愛知演習林における試験研究の重要な柱である。

天然生林については、1968年からモザイク状皆伐更新法試験(沢を中心に左右交互に0.1haを上限に伐採、植栽)を実施している。これは、一斉皆伐に比較して、土壌の保全、あるいは動植物への影響の軽減、台風等気象災害の防止等、有効と考えられる。

人工林においては、間伐法を変えたスギ、ヒノキの総収穫量の比較試験、植栽密度を変えたヒノキ林の生産量の比較試験、恒続的収穫と森林の公益的機能の発揮を両立させる複層林造成試験、成長が劣る林地における肥培効果の比較試験等を行っている。第四期試験研究計画の策定に向けてさまざまな林分での蓄積を測定しどのような特性が現れているかの分析に向けた調査が進展した。

都市近郊林に関する試験研究

愛知演習林は立地条件から、東海都市圏を取り巻くグリーンベルト地帯にあるので、森林の多面的機能の解明を目的とする研究実験林としての位置づけを明確にし、都市近郊林・環境林に関する自然科学、社会科学を複合する総合的研究が始まろうとしている。

計画段階の項目が多いが、具体的には、都市部と森林との相互作用を水・大気・土壌を媒介として測る自然科学的研究、都市住民あるいは都市部・農村部の産業活動に及ぼす森林環境の機能評価に関する社会科学的研究、森林生態系を保持しながら都市公園的機能を有する森林域の造成実験およびそれに関する各種の試験研究が挙げられる。

犬山市民が期待する森林利用の形を探り、具体的な対応を検討する準備段階を迎えた。

環境教育と演習林の利用に関する研究

公開講座、地域開放特別事業、親子森林教室、小学校における社会科教育あるいは総合的な学習等で愛知演習林が利用されるケースが多くなってきている。これらの自然環境をベースとした教育に関してどのようなテーマがどのような学年に適しているのか、その効果がどのように評価されるのかを探りつつ、授業や野外活動の幅を広げてみたいと考えている。地域にあって研究機関としての存在意義を自然環境教育という形で実現し、質の高い教育内容を求めていくためのその効果を追跡するというプロセスが重要になっていくものと考えられる。多くの自然環境教育は最近開始されたばかりであるが、このプロセスの研究として、犬山研究林を利用した犬山市立今井小学校の探鳥会は、25年以上の実績を有しており、その効果を探るアンケート調査が実施された。探鳥会によってもたらされた効果として児童の自然を見る眼が養われており、人格形成に及ぼしたであろう影響が少なからずあったであろうとの予見を与えるものであった。良質な自然が演習林にすでに存在しており、教育者としての人的資質を高めることができれば社会からの要請に多面的に答えることができるのではないかと考えられる。これまで同様技術官が山づくりの専門家として位置付けられると同時に、自然教育の専門家としてその潜在能力を発揮できる道を探ることにもつながっていく研究である。

富士演習林

環境教育および森林教育のプログラム開発、自然解説に関する研究

地球環境問題だけでなく、地域の自然環境に対する関心の高まりの中で、富士演習林が山中湖村の学校教育や社会教育の場面において果たすべき役割は大きくなってきている。また、山中湖村は観光地あるいはリゾートとして多くの来訪者を受け入れており、来訪者に地域理解を促すための有効な手段としてエコツアーガイドの活用が検討されている。富士演習林が目指す環境教育および森林教育のプログラム開発は、こうした地域の事情に合致するものであり、来訪者だけでなく地域住民に対して効果的なプログラムを提供することが重要な課題である。平成15(2003)年度は、山中湖村の観光振興の基本的な考え方について意見交換を行い、教育旅行等の学校教育のカリキュラムの一環として演習林において森林教育プログラムを提供するなど、きわめて実践的な調査研究活動を行った。

森林のアメニティに関する研究

森林が人に与える快適性を解明するには、人の生理と心理の両面からの検討が必要である。平成15(2003)年度は、翌(2003)年から実施する山梨県環境科学研究所との共同研究にむけて企画を行うこととし、研究計画の作成を行った。研究の目標は、(1)森林を利用して行う活動が、人にもたらす生理心理効果を、タイプの異なる森林(針葉樹林、落葉樹林など)をフィールドにして明らかにすること、(2)森林から受ける生理心理効果が、利用する人の気質や行動パターンによって異なるかどうかを把握すること、の二点とした。

森林のレクリエーション機能に関する研究

現在、世界的に森林の持続的な維持が課題となっているが、森林レクリエーション利用においても健全な森林を維持しつつ快適なレクリエーション機能を提供し続けるということが求められている。本演習林は、日本を代表する自然レクリエーション地域である富士伊豆国立公園富士団地の特別地域に位置し、利用拠点である旭ヶ丘集団施設地区に隣接している。また、重要な自然資源である山中湖に面すると同時に、主要な利用動線である国道138号線が内部を横断している。このように自然環境面の優れた立地特性を持ち、森林レクリエーションに関する調査、研究を実証的に行いのが本演習林の大きな特徴といつてよい。この優良な立地特性を活かし研究を進展させるためには、レクリエーションの場として利用する人間へのアプローチが必要であり、その行動を通じた森林環境のあり方の追求が求められる。また、利用者の行動を特定する要因として空間構成やシーズンごとの特性などが考えられ、シーズンごとの利用に関する定期的な調査を行うことで、各要因の関係性を明らかにし空間計画へ繋げる。平成15(2003)年度は、森林を利用する人が持つ期待と満足を明らかにすることを目標とし、樹芸研究所と共同で森林教室の参加者に対する意識調査を実施し、学会等で報告を行った。

森林景観研究

これまで富士演習林では、景観への影響が大きいと考えられる皆伐等の施業は行わずに風致林として慎重に取り扱いが為されてきた。また、日本人の原風景と言われる富士山、更に山中湖畔を背後に控え1980年代より継続して行ってきた定点における景観観測など景観研究への資料が蓄積されており景観研究の一層の進展が望まれる。

本演習林では、これまでの風致施業を踏まえながら「隠す」、「見せる」施業について再検討し、景観の類型化を通して研究サイトの多様性を向上させるとともに利用者から得られる森林景観の評価データを基に風致施業により生じる評価の差異を抽出し実際の施業へと活かす実践的研究を推進する。平成15(2002)年度においては、富士演習林の景観整備および空間整備の基本方針を確認し、Ⅰ林班を保健休養利用・環境教育ゾーン、Ⅱ林班を運動会利用ゾーン、Ⅲ林班を調査研究ゾーンと位置づけた上で、今後必要となる施業についても検討を行った。

長期生態系プロット

試験地は、標高1,050mの3林班3小班。1920年代後半の植栽されたカラマツ人工林から天然生の落葉広葉樹林

に遷移しつつある植生において遷移の過程を追跡し、東京大学の各演習林に設置されている長期生態系プロット等と比較して、森林動態の一般法則を発見することを目的にしている。

気象観測

II 林班の標高1,000m地点において、昭和27(1952)年1月から毎日午前9時の気温・雲量・気圧・湿度・地下20cmと1.0mの地温、最高・最低気温、積雪・霜などを記録している。

富士山の東麓にあって変化の激しい山地気象で、冬は富士山からの寒風を受け、近隣の地区よりも低温・多雪であるなど、特殊な山地気象を蓄積している。

樹芸研究所

薬用植物カンゾウのトリテルペノイド代謝制御研究

漢方薬原料ならびに天然甘味料であるマメ科カンゾウ *Glycyrrhiza* 属植物は世界中で利用されている。しかしながら生産国での砂漠化などにより資源枯渇および品質の低下が問題となっている。そこで薬用成分トリテルペノイド代謝制御研究のため *in vitro* ストロン誘導による培養システムを開発した。また分子遺伝学的な育種技術の開発のため外来遺伝子導入技術の確立を行った。土壌細菌 *Agrobacterium rhizogenes* を介した形質転換毛状根内においてマーカー遺伝子であるクラゲ緑色蛍光タンパク (GFP) 遺伝子の発現に成功した。この結果の一部は日本植物学会(2004年)で発表した。

ナス科植物でのビタミンD₃生合成研究

人間の体内におけるカルシウム恒常性においてビタミンD₃およびその関連化合物は非常に重要な役割を担っている。これら化合物を特異的に含有する南米原産のナス科植物 *Solanum* 属、*Nicotiana* 属植物が近年発見されている。植物を利用したビタミンD₃およびその関連化合物の医薬品原料生産のための分子育種を試みた。その結果組織培養による再分化系の確立に成功した。今後動物由来P450遺伝子の導入を試みる。

香料樹木の成長制御分子育種

東南アジアに自生するビャクダンやジンコウなどの樹木はその材に特有の芳香を持つことから香木として珍重されるが、成長が遅いことなどから資源枯渇が深刻化している。そこで植物成長ホルモンの生合成を活性化させた植物体の獲得を目的とする。ゲノム情報が豊富な研究モデル植物であるシロイヌナズナの植物成長ホルモン生合成酵素遺伝子の導入を目的とし、本年度は植物材料の調整を行った。

クワ科植物のDNA多型研究

クワ科植物のゲノム多様性の解明を目的とする。特異的化合物であるcannabinoid化合物合成酵素遺伝子の配列情報からケモタイプ間でのグループ分けができることを明らかにした。さらにAFLPマーカー、マイクロサテライトマーカーの応用を試みた。この結果の一部はDNA多型(2004年)に報告した。

暖帯常緑広葉樹林の持続的維持に関する繁殖生態学的研究

暖帯の常緑広葉樹林において、現在の主林木がどのような更新過程を経て新しく森林として再生するか、特に種子散布から稚樹の初期成長過程を中心に解明して、森林生態系を持続的に維持保全する上での計画の基礎として役立てたい。

本研究は科研費の補助金を得て、暖帯常緑広葉樹林としてシイ類(スダジイ、コジイおよびその中間的形質を示す

ものを含む)が優占する二次林、クスノキ人工林を対象にして、林分の構造、種子生産、種子の動態、林床稚樹の動態、種子の発芽・稚樹の成長条件等について現地調査や実験を行っている。

・ シイ類、クスノキの種子飛散数の調査

シイ類を優占種とする約70年生二次林および、約90年生クスノキ人工林において、大きさの異なる個体の樹冠下で経年的に種子の飛散数とその形質について調査を続け、豊凶の周期性を調査している。また、2001年から房総半島でもほぼ同一の調査を開始し、伊豆半島と房総半島における地域差を明らかにするための研究を進めている。

・ 暖帯広葉樹二次林における林床稚樹群の動態

伊豆半島のシイが優占する広葉樹二次林において、林床稚樹群の動態について3年間にわたり追跡調査を行った。その結果、シイ類を中心に種子の豊凶に連動しながら林床稚樹群は増減を繰り返し、上層木の状態や林床の光条件により、樹種構成や密度が異なることが明らかとなった。しかし、多くの実生は数年でほとんど枯死することから、林床に形成される地樹群は種子が継続的に散布されることにより維持されていると考えられる。今後、下層木の除去、ギャップの設定と稚樹の定着の関係について調査する必要がある。

ヤマガラとシジュウカラの繁殖生態調査

青野研究林では1972～75年にヤマガラ・シジュウカラについて巣箱設置による詳細な研究が行われている。以後30年経過し、森林の構造の変化及びそれに伴い森林の構造や水平的配置に応じて選択的に棲息しているといわれている鳥類相にも変化がみられることが予測されることから、同調査区に巣箱を設置し巣箱を利用する種や利用率の違いなど、森林の時間経過による鳥類相への影響について検証することとした。

大面積長期生態系プロット調査

森林の長期的な動態を明らかにするため、当所では1998年から、1ha以上の長期生態系プロット2箇所を設定し定期的に調査を行っている。平成16年12月には、4、5林班界に設定されたサイト2について、1999年の設定・第1回調査に引き続き第2回目の調査が行われた。

森林水文に関する研究

樹芸研究所研究林域内の量水観測は降雨量と流出量との関係を基本に3流域(広葉樹天然林、針葉樹人工林、広葉樹人工林)で観測を行っている。現在、東京農工大学との共同研究のより、それぞれ3流域の植生の違いによる流出量の違いなどのデータの分析を行っている。今後とも引き続きデータの蓄積を行い、植生の違いによる水源涵養機能のメカニズムの解明を明らかにすることを目標としている。

フタバガキ科樹木の組織培養による増殖法に関する研究

フタバガキ科樹木は、木材利用上きわめて価値が高い重要樹種であるが、既に多くの地域で伐採され、その蓄積は激減している。このような状況から、フタバガキ科樹木を中心とした森林の再生が、熱帯地域における重要な課題となっている。フタバガキ科樹木は、開花・結実までに数十年という非常に長い時間を要し、隔年結果が著しく、安定的な苗の生産に苦慮している状態であり、現在、挿し木増殖を行って一定の成果を上げているが腋芽からの成長では枝性を示す個体が多い。しかし成長点培養をすることで枝性に有効であることが示されたため、組織培養を用い種苗を短期間に急速に増殖するための検討を行った。フタバガキ科樹木におけるこの利用は、熱帯林再生に大きな貢献が期待できる。これにより安定的な培養系の確立を目指すことを目的に行った。

伊豆半島南部に生育する植物種のデータベース化

青野研究林の全小班(除地は除く)について踏査し、植物種毎に5段階の評価で記録し、各小班的現在の植生を確認した。その際、微地形による植生の差を意識し、尾根や沢など特徴的なルートを中心として踏査を行なった後、樹芸研究所ホームページ内に簡易的に公開した。この研究の一部は科学研究費補助金の交付を受けて行なった研究の成果の一部である。

田無試験地

緑化樹の大量増殖技術の開発

都市において緑化樹木は、都市環境の緩和、生活環境の改善、やすらぎの空間の創出など様々な役割を果たしており、なくてはならない存在である。近年、嗜好の多様化に伴って都市緑化に用いられる樹木の種類も広がりを見せつつあるが、増殖法の確立されていない樹種も多く、このことが都市緑化を実施する上での課題の一つとなっている。このような背景から、田無試験地では緑化樹の大量増殖技術の開発に向けた研究に取り組んでいる。

・ソメイヨシノの後継樹作出育成技術の検討

緑化樹として人気の高いソメイヨシノは比較的短命とされ、今後各地のソメイヨシノ名所における更新が問題となり、効率的な苗木供給が必要とされる可能性が高い。従来、一般にソメイヨシノの増殖は専ら接木によるが、手間がかかりコスト高で、熟練をも要する。そこで、挿木に着目した大量増殖技術の確立が求められるものの、これまで挿木発根性は難とされている。折しも、駒場キャンパス環境整備協力事業の一環として、キャンパス内に生育するソメイヨシノの後継クローン樹の作出・育成を要請されたことから、ソメイヨシノ挿木増殖技術の確立に向けて挿付条件の検討を行った。併せて、接木による増殖も試みた。

2004年3月および10月に、それぞれ切接法、芽接法による接木を試みたが、活着率は著しく低く、所期の成果を得られなかった。2004年3月、6月、12月に挿木を実施し、挿付適期について検討を加えるとともに、用土の種類および育成環境の適否につき検討した。その結果、梅雨期の密閉挿しが有効であることが明らかとなり、また卓越した用土は認められなかった。しかしながら、梅雨期の中での挿付時期によって発根率が大きく異なることから、挿付適期になお検討の余地が残された。また、発根後の活着に難があり、密閉による葉の蒸れが最大の障害と推測されることから、適切な養生法の検討が必要と考えられた。現在、これらの点について検討を加えている。

・ハンカチノキ、ヒトツバタゴの挿木増殖技術の検討

田無試験地に植栽されているハンカチノキ(ヌマミズキ科)およびヒトツバタゴ(モクセイ科)は、その花の美しさから近年街路樹・公園樹として人気が高まっているものの、実生育苗、栄養繁殖ともに困難なため大量増殖技術が未確立である。そこで、2002年度以降、挿木増殖技術の確立に向けた取組みを行っている。

2004年度は、前2年の成果を踏まえて、3月上旬に前年枝を用いた春挿しと、6月下旬と7月下旬に当年枝を用いた梅雨挿しを行い、挿付時期、用土、育成環境の適否について検討を加えた。その結果、ハンカチノキ、ヒトツバタゴともに6月下旬頃の密閉挿しにより高率で活着し、用土については赤玉土が最も適しているものと判断された。

尚、本研究の一部は、平成16年度科学研究費補助金(奨励研究)の助成により実施された。

誘導抵抗性現象を利用したマツ材線虫病防除新技術の開発と現地適用試験

愛知演習林新居試験地における材線虫病被害対策の一環として、抵抗性誘導の現地適用による防除試験、および誘導抵抗性に関する基礎的研究(圃場試験)を実施した。尚、新居試験地については、被害の経年推移の疫学的解析結果から、駆除および薬剤散布による予防措置の防除効果が確認された。

・低温期に接種したマツノザイセンチュウの樹体内消長と抵抗性誘導効果

従来、弱病原力線虫または少数の強病原力線虫の前接種による誘導抵抗性現象が知られているが、その誘導メカニズムに関する知見は乏しい。そこで、抵抗性の誘導には病徴の進展に至らない程度に弱度の線虫による加害が必要との観点から、誘導抵抗性を発現させる要因を明らかにすることを目的として、強病原力線虫の低温期接種による抵抗性誘導の可能性と、併せて誘導抵抗性の発現に及ぼす線虫の宿主組織への定着の効果について圃場試験により検討した(2003～2004年)。

9月、12月、3月および7月に線虫を接種して樹体内消長を調査したところ、低温期に接種した線虫は樹体内を分散せずに接種部に留まり、定着して長期間生残・増殖するものの、6月に至って大多数は死滅した。また、線虫の宿主組織中での生残や定着の度合いは、接種時期によって異なることが示された。9月、12月、3月に線虫を前接種した後、7月に後接種を行ったところ、9月前接種区では抵抗性の誘導は認められないものの、12月、3月の両前接種区では抵抗性誘導効果が認められ、12月前接種区で特に顕著であった。

以上の結果から、低温期に強病原力線虫を接種することで抵抗性が誘導される可能性が示された。また、誘導抵抗性の発現には、侵入した線虫によって引き起こされる宿主の反応が重要であり、線虫の宿主組織への定着とそれに伴う継続的な線虫の作用は必ずしも必要ではないものと推察された。尚、本研究の一部は第116回日本森林学会大会(2005年)において発表した。

・材線虫病激害林分における抵抗性誘導現地適用試験

現実の被害林分における誘導抵抗性の防除効果を明らかにするため、新居試験地内に1.16haの試験区を設け、弱病原力線虫少数春接種、同多数春接種、強病原力線虫少数秋接種、同多数秋接種、無処理対照の5処理を行った(2003～2004年)。試験区は無処理対照区でも枯死率が47%に達する著しい激害林分であった。抵抗性誘導処理区における枯死率は42～63%で、有意な抵抗性誘導効果は認められなかった。弱病原力線虫の少数接種によって抵抗性が増大する傾向が認められたものの、他の処理区では病原性を発揮する傾向が認められた。このことには、海岸林であるためマツがストレス下に置かれていること、激害林分であることから高い加害圧を受けていること、の関与が推測された。以上のことから、少なくとも著しい激害に陥った林分では、抵抗性誘導による防除効果は期待できないものと考えられた。

都市域におけるマツ材線虫の発生実態と防除効果

マツ林が孤立・分散して存在する都市域では、マツノマダラカミキリ(以下、カミキリ)個体群もまた分断隔離されている可能性が考えられる。このような隔離によってカミキリのマツ林間の移動が抑制されれば、カミキリが伝播する材線虫病も一部の特定のマツ林でのみ局所的に発生することが予想され、材線虫病被害の根絶を図る上で有利であると考えられる。そこで、田無試験地および近隣のマツ林において、2001～2003年に材線虫病の被害実態を調査するとともに、カミキリ成虫の発生活長(羽化脱出および誘引捕獲)を調査した。対象地域では1980年代後半頃より材線虫病被害が発生し、1990年代初頭に激甚な被害を受けた。

田無試験地における近年の材線虫病被害量は漸減傾向にあるものの、依然被害の終息には至らなかった。被害の特徴として、年越し枯れの割合が40～67%に達した。周辺2kmの近隣マツ林における被害はごく僅かであり、予防措置を講じていなくても無被害の林分も認められ、被害の隔離が示唆された。このことは、線虫個体群の遺伝的構造の解析結果からも裏付けられた。田無試験地におけるカミキリ成虫の発生活長は、羽化脱出は5月下旬に始まって6月末にピークを迎え、7月末に終息した。誘引捕獲は6月上旬より9月末～10月中旬まで認められ、7月初頭がピークであった。田無試験地では被害木の駆除にもかかわらず誘引捕獲数は減少しなかった。生立木の枯れ枝や当年の枯損木にもカミキリ成虫の脱出孔が認められたことから、これら防除の網にかからない個体がカミキリ成虫の発生源として無視できないことが明らかとなった。同時に、駆除措置のみによる被害の根絶は困難と考えられた。一方、枯死被害の発生していない近隣マツ林でのカミキリ成虫の誘引捕獲数はシーズンを通して2頭と極めて低かつ

た。現在被害の発生していないマツ林ではカミキリ成虫の飛び込みは稀であり、被害が根絶されていると考えられた。以上の結果より、激害履歴や防除措置の実施によって相対的にマツ林の抵抗性が増大しており、このことが部分枯れや年越し枯れ、潜在感染木の発生を助長し、却って防除を困難にしているものと推察された。尚、本研究の一部は第9回樹木医学会大会(2004年)において発表した。

長期生態系プロット

森林動態の調査を目的とし、5年毎の継続調査を目標として1999年2月に I 林班4小班に面積0.42haのプロットを設置し、第1回目の調査を行った。

2005年1月に第2回目の調査を第1回目と同様に胸高直径(DBH)4.0cm以上のすべての樹木について行った。また、プロット内の気温についても小型温度ロガーによる観測を継続している。

今後も、都市における針広混交林としての林況の推移に注目していきたい。

平成16年度森林生態圏管理学ゼミ

第1回(平成16年4月23日(金)13:00~17:00/農学生命科学図書館ゼミナール室)

- 黄 哲松(生圏修士2年).....「山村と都市との連携における行政,住民,地元産業の役割」
殷 鳴放(中国政府派遣研究員).....「遼寧東部地域における森林経営と管理技術の研究
についての整理・私の研究課題の紹介」
丹下 健(演習林研究部).....「熱帯荒廃地の森林再生」
永田 信(演習林研究部).....「森林機能の相互関係について:生産可能性集合を用いた整理」

第2回(平成16年5月28日(金)13:00~17:00/農学生命科学図書館ゼミナール室)

- 村松昭宣(研究生).....「大門川溪畔におけるウラジロモミ林・ハルニレ林の
構成樹種と立地との関係」
トリコビッチ・スタンコ(森林修士2年).....「N-tree distance sampling-bias reduction and
possible use in forest inventory」
石橋整司(秩父演習林).....「スギ・ヒノキ人工林皆伐直後の更新状況
-中山沢更新試験地の事例検討-」
山本博一(千葉演習林).....「木の文化を未来につなぐ為の森林資源管理
-法隆寺の部材調査から-」

第3回(平成16年6月25日(金)13:00~17:00/農学生命科学図書館ゼミナール室)

- 澤島 薫(研究生).....「流域スケールにおける降雨流出特性」
吉村妙子(農学特定研究員).....「市民参加の森づくりの活動基盤整備に向けてNPO法人
森づくりフォーラムによる、市民参加の森づくりに
おける『森林施業ガイドライン』の作成」
嶋田重裕(北海道演習林).....「北演での森林化学的研究の向き」
芝野博文(愛知演習林).....「里山の林分構造とその環境-ニホンザルの放飼場
における植生へのインパクト調査について-」

第4回(平成16年7月23日(金)13:00~17:00/農学生命科学図書館ゼミナール室)

- 安村直樹(北海道演習林).....「森づくりを見据えた住宅生産システムのあり方について」
高上馬希重(樹芸研究所).....「植物を利用した医薬品化学物質生産の試み」
山田利博(田無試験地).....「ヒメコマツがん腫症状調査中間報告」
藤原章雄(秩父演習林).....「サイバーフォレスト研究-特に森林映像記録ロボットカメラについて」

第5回(平成16年9月29日(金)13:00~17:00/農学生命科学図書館ゼミナール室)

- 秋廣敬恵(森林博士3年).....「地域社会における森林管理・利用への住民参加および
パートナーシップに関する研究-パートナーシップ形成過程の類型化とモデルについて-」
右田千春(生圏博士3年).....「コナラ林冠の動態に関する生理生態学的研究」
陳 鐘善(生圏博士1年).....「中国,吉林省における森林育成に関する研究(I)
-昭和20年代の日本と現在の吉林省における森林資源,森林育成政策の比較-
中国,吉林省と日本における森林管理に関する比較研究」
前原 忠(田無試験地).....「森林地域におけるオサムシの環境選好性研究」

第6回(平成16年10月29日(金)13:00~17:00/農学生命科学図書館ゼミナール室)

- カルキ・クリシュナ(生圏修士2年).....「Human impacts on sedimentation process in
Kulekhani Watershed,Nepal」
松崎 潤(森林博士1年).....「光屈性による木化茎の屈曲機構の解明」
浅野友子(演習林研究部).....「森林土壌中の選択的な水の流れが養分動態に及ぼす影響」
齋藤 馨(新領域).....「森林のデジタル化雑考:24時間録音、四季体感マルチ
メディアコンテンツ試作」

第7回(平成16年11月26日(金)13:00~17:00/農学生命科学図書館ゼミナール室)

- 池田裕行(千葉演習林).....「房総半島におけるヒメコマツの保全-人工交配による種子の稔性向上-」
山中征夫(千葉演習林).....「ヤマビル生命表-急増!魔の吸血ビル」
梶 幹男(新領域).....「北方針広混交林の林分構造と主要針葉樹種の更新」
酒井秀夫(北海道演習林).....「ウクライナ林業林産大学における森林工学国際会議に出席して」

第8回(平成16年12月17日(金)13:00~17:00/農学生命科学図書館ゼミナール室)

黄 哲松(生圏修士2年)……「大都市近郊山村からみた都市との連携による山村振興の可能性」

後藤 晋(北海道演習林)……「種子のかたちが語る散布のヒミツ」

鈴木 誠(千葉演習林)……「モウソウチクの開花・枯損と回復状況」

第9回(平成17年1月21日(金)13:00~17:00/農学部3号館会議室141号室)

石田 健(生圏システム)……「ミズナラの結実の同調性を調べる」

大川あゆこ(北海道演習林)……「達布川水系調査において北海道演習林内で採集された水生生物」

澤田晴雄(秩父演習林)……「直径分布からみた秩父演習林大面積長期生態系プロットの動態」

井上 淳(愛知演習林)……「マツ枯れ被害地における樹木相の推移について-新居試験地の現況-」

村瀬一隆(樹芸研究所)……「巣箱設置によるヤマガラ・シジュウカラの繁殖生態()
-設置初年の利用状況-」

第10回(平成17年2月18日(金)13:00~17:00/農学部1号館森林科学専攻会議室)

陳 鐘善(生圏博士1年)……「中国,吉林省と日本における森林管理に関する比較研究

-森林政策の比較を中心に-

松崎 潤(森林博士1年)……「光屈性による木化茎の屈曲機構の解析

-成長応力の発生による屈曲を示唆する証拠と今後の計画-

田邊裕美(研究生)……「富士山溶岩流上に成立したアカマツ林の生態、特に窒素利用について」

坂上大翼(田無試験地)……「新居試験地における松枯れ被害と防除対策

-疫学的解析と抵抗性誘導試験-

第11回(平成17年3月18日(金)10:00~17:00/農学部1号館森林科学専攻会議室)

右田千春(生圏博士3年)……「コナラの林冠動態に関する生理生態学的研究」

カキ・クリシュナ(生圏博士2年)……「Observation and prediction of sediment transportation

in montane,forested granite Shirasaka watershed」

山本清龍(富士演習林)……「利用者意識に配慮した自然公園の管理計画のあり方

に関する研究」

坂上大翼(田無試験地)……「100年を迎えた材線虫病問題の新局面-多摩北東部に

おける被害例から-

注)発表者名のあとの括弧内は発表時の所属。「生圏」は生圏システム学専攻、「森林」は森林科学専攻所属の学生であることを示す。

演習林技術職員等試験研究・研修会議

日程

平成16年11月17日(水)

12:30 集合
13:00～17:00 試験研究発表
17:00～ 技術研修

平成16年11月18日(木)

09:00～11:00 シイ林内・小型簡易炭窯等の見学
クスノキ人工林内見学
11:00～12:00 温室内見学

場所

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
附属科学の森教育研究センター樹芸研究所

参加者

千葉演習林	永島初義	塚越剛史	石野裕昭	藤平晃司	才木道雄
北海道演習林	福岡 哲	大川あゆこ			
秩父演習林	澤田晴雄	西山孝雄			
愛知演習林	後藤大成	荒木田きよみ	井上 淳		
富士演習林	千島 茂				
樹芸研究所	山本親男	高上馬希重	渡邊良広	村瀬一隆	辻 和明
	辻 良子				
田無試験地	栗田直明				
研究部	永田 信	丹下 健	浅野友子	佐々木和男	

試験研究発表・技術研修プログラム

開会挨拶 永田 信 附属演習林長
所長挨拶 丹下 健 樹芸研究所長

試験研究発表

I. 共通テーマ「長期生態系プロット」

1. 渡邊良広・辻 和明・村瀬一隆・辻 良子(樹芸研究所)
「暖温帯林長期生態系プロット5年間の動態について」
2. 澤田晴雄・大村和也・五十嵐勇治・田代八郎・大畑 茂(秩父演習林)
「直径分布から見た秩父演習林大面積長期生態系プロットの動態」
3. 塚越剛史・藤平晃司・鈴木裕紀(千葉演習林)
「榎ノ木台長期生態系プロットモミ・ツガ天然林の林分構造と5年間の成育」
4. 千島 茂(富士演習林)・西山孝雄(千葉演習林)
「富士演習林における長期生態系プロット5年間の動態」

自由テーマ

1. 大川あゆこ(北海道演習林)
「西達布川水系調査において北海道演習林内で採集された水生生物」
—特にトビケラについて—
2. 井上 淳・渡部 賢・後藤大成・荒木田きよみ(愛知演習林)
—新居試験地の現況—
「マツ枯れ被害地における樹木相の推移について」
3. 西山孝雄・大畑 茂・五十嵐勇治・山中隆平・神塚武一・宅間隆二・千嶋 武(秩父演習林)
「秩父演習林における植栽木のシカ食害(剥皮)防除対策について」
4. 福岡 哲・井口和信・福士憲司・木村徳志・丹羽悠二・高橋功一(北海道演習林)
「樹木位置データから何がわかるか？」
—択伐林におけるミズナラの分布特性—
5. 栗田直明・岩本則長(田無試験地)

「都市の自然公園に生育する樹木の健全度調査」

6. 石野裕昭(千葉演習林)

「森林に対する意識調査」

ー若年齢層の森林への関心を高めるためー

7. 村瀬一隆(樹芸研究所)・荒木田善隆(愛知演習林)・才木道雄(千葉演習林)

「巣箱設置によるヤマガラとシジュウカラの繁殖生態(Ⅰ)」

ー設置初年の利用状況ー

講評

浅野友子助手 演習林研究部

技術研修

講師 高上馬希重 助手

「遺伝子組換え植物の動向と樹芸研究所での取り組み」

現地研修

樹芸研究所

シイ林内・小型簡易炭窯等およびクスノキ人工林内・長期生態系プロット林内の見学

林相別面積集計表

	ha												
	合計	樹林地								竹林	伐採跡地	未立木地	その他
		人工林				天然林							
	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林					
千葉	2,170	841	811	21	9	1,261		366	895	1		67	
北海道	22,758	3,536	3,236	86	214	17,461	1,808	11,914	3,739		819	942	
秩父	5,812	766	748		18	4,984	117	60	4,807	1		61	
愛知	1,292	376	369		7	871		871				45	
富士	38	38	34	1	3								
樹芸	246	109	50		59	106			106			31	
田無	6	6	2	3	1								
合計	32,322	5,672	5,250	111	311	24,683	1,925	13,211	9,547	1	1	819	1,146

林相別蓄積集計表

	m ³		
	計	人工林	天然林
千葉	494,196	299,035	195,161
北海道	4,217,877	383,278	3,834,599
秩父	870,425	162,109	708,316
愛知	195,565	58,751	136,814
富士	3,493	3,493	
樹芸	59,760	39,424	20,336
田無	1,817	1,817	
合計	5,843,133	947,907	4,895,226

立木伐採量

m³

	伐採材積(主伐)							間伐材積	主間伐合計
	計	人工林			天然林				
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	針葉樹	広葉樹		
千 葉	立木処分	234	207	207	27		27	174	408
	素材生産資材資量							160	160
	その他								
	合 計	234	207	207	27		27	334	568
北 海 道	立木処分	19,473	1,642	1,522	120	17,831	13,582	4,249	26,507
	素材生産資材資量	3,311				3,311	1,639	1,672	3,311
	その他	868				868	49	819	99
	合 計	23,652	1,642	1,522	120	22,010	15,270	6,740	30,785
秩 父	立木処分	597	593	593	4		4		597
	素材生産資材資量	6	6	6					6
	その他								
	合 計	603	599	599	4		4		603
愛 知	立木処分	162	155	154	1	7	2	5	173
	素材生産資材資量								
	その他								
	合 計	162	155	154	1	7	2	5	173
富 士	立木処分								
	素材生産資材資量								
	その他								
	合 計								
樹 芸	立木処分								
	素材生産資材資量								
	その他								
	合 計								
田 無	立木処分								
	素材生産資材資量								
	その他								
	合 計								
合 計	立木処分	20,466	2,597	2,476	121	17,869	13,584	4,285	27,685
	素材生産資材資量	3,317	6	6		3,311	1,639	1,672	3,477
	その他	868				868	49	819	99
	合 計	24,651	2,603	2,482	121	22,048	15,272	6,776	32,129

育林実行量

	造林		保育 (ha)	備 考
	面積 (ha)	植栽本数		
千葉	0.600	1,760	21.56	下刈り7.19ha 除伐・枝打ち3.01ha シカ食害防止柵作り1.15ha 間伐 (9.71ha) 地拵え0.5ha
北海道	30.460	32,200	170.32	下刈り(直4.38ha 請65.51ha)枝打除伐(直6.73ha) 蔓切除伐(直15.12ha 請32.80ha)保育間伐(直12.28ha) 野鼠防除(30.00ha) 根踏(3.50ha)
秩父	0.360	780	18.14	下刈り0.91ha 除伐2.34ha 蔓切1.37ha 枝打5.53ha 撫育間伐(直営)2.92ha (請負)5.07ha
愛知	0.290	936	12.25	下刈り2.85ha(直営0.11ha 請負2.74ha) 除伐1.47ha 枝打ち1.88ha 間伐6.05ha(直営6.05ha)
富士			10.59	下刈り2.86ha 芝刈2.84ha 落枝片付・整理4.89ha
樹芸			0.10	間伐
田無			5.60	下刈り5.6ha
合計	31.710	35,676	238.56	

植栽樹種

	本								
	千葉	ヒノキ	スギ	マツ	ケヤキ	マメサクラ			
		750	850	100	42	18			
北海道			ハシドイ	エンジュ	カラマツ	ミズナラ	トドマツ	アカエゾ	エゾマツ
			100	100	1,200	100	10,300	15,900	4,500
秩父	ヒノキ								
	780								
愛知									
富士									
樹芸									
田無									

素材生産総括表

	素材生産資材量			素材生産量			歩留(%)	
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹
千葉	159.65	158.65	1.00	127.59	126.93	0.66	80	80
北海道	3,311.09	1,638.82	1,672.27	2,509.59	1,261.37	1,248.22	76	77
秩父	6.03	6.03		5.87	5.87	0.00	97	97
愛知								
富士								
樹芸								
田無								
合計	3,476.77	1,803.50	1,673.27	2,643.05	1,394.17	1,248.88		

土木実行総括表

千葉	実行内容	自動車道新設	自動車道維持	歩道維持	自動車道拡幅
	実行数量		81,079	57,452	30
北海道	実行内容	自動車道新設	車道草刈り	車道補修	砂利運搬
	実行数量		242,500	38,900	6,850
秩父	実行内容	自動車道新設	車道維持	歩道維持	歩道新設
	実行数量		12,012	6,823	
愛知	実行内容				
	実行数量				
富士	実行内容	150		310	
	実行数量				
樹芸	実行内容	車道修繕	歩道修繕	渡り橋修理	
	実行数量	4,310	277	各所	
田無	実行内容				
	実行数量				

道路現況

	車道延長				歩道延長
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長
千葉	31,262		31,262	14.21	126,190
北海道	484,500	448,890	933,390	41.00	7,800
秩父	10,178	1,834	12,012	2.10	216,071
愛知	11,840	1,500	13,340	10.30	12,400
富士	2,087		2,087	54.92	2,357
樹芸	3,349		3,349	13.50	11,753
田無					
合計	543,216	451,354	995,440		376,571

m³

広葉樹

66

75

m

m

密度(m/ha)

57.36

0.34

37.10

9.60

62.03

47.80

利用状況

研究論文等

森林育成管理学研究室(千葉演習林・樹芸研究所)

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
Sprague, D.S., Kabaya, H., Hagihara, K.	Field testing a global positioning system(GPS)collar on a Japanese monkey:reliability of automatic GPS positioning in a Japanese forest	Primates	45	151-154	2004
Hashimoto, S., Suzuki, M.	The impact of forest clear-cutting on soil temperature: a comparison between before and after cutting,and between clear-cut and control sites	J. For. Res.	9	125-132	2004
Takada, M., Miyashita, T.	Additive and non-additive effects from a larger spatial scale determine small-scale densities in a web spider <i>Neriene bronnersmai</i>	Popul. Ecol.	46	129-135	2004
Matsuzaki, J., Norisada, M., Kodaira, J., Suzuki, S., Tannge, T.	Shoots grafted into the upper crowns of tall Japanese cedar(<i>Cryptomeria japonica</i> D.Don) show foliar gas exchange characteristics similar to those of intact shoots	Trees	19	198-203	2005
Hashimoto, T., Tange, T., Masumori, M., Yagi, H., Sasaki, S., Kojima, K.	Allometric equations for pioneer tree species and estimation of the aboveground biomass of a tropical asecondary forest	Tropics	14	123-130	2004
Goto, S., Tsuda, Y., Nagafuji, K., Uchiyama, K., Takahashi, Y., Tange, T., Ide, Y.	Genetic make-up and diversity of regenerated <i>Betula maximowicziana</i> Regel. sapling populations in scarified patches revealed by microsatellite analysis	For. Ecol. Manage.	203	273-282	2004
Yoshimatsu, K., Iida, O., Kitazawa, T., Sekine, T., Kojoma, M., Kiuchi, F.	Growth characteristics of <i>Cannabis sativa</i> L. cultivated in a phytotron and a field	Kokuritsu Iyakuhin Shokuhin Eisei Kenkyusho Hokoku	122	16-20	2004
Kojoma, M., Ohyama, K., Seki, H., Yoshida, S. and Muranaka, T.	Establishment of a new in vitro system of licorice (<i>Glycyrrhiza uralensis</i>)	J. Plant Res.	117 Supplement	86	2004
真板英一・鈴木雅一・太田猛彦	新第三紀層流域における70年生スギ・ヒノキ林伐採による年流出量の変化	日林誌	87-2	124-132	2005
梶谷宣弘・堀田紀文・小松光・久米明宣・鈴木雅一	斜面上部・下部に生育するスギ幼齢木の蒸散日変化パターンの差異	日林誌	87-1	63-72	2005
高上馬希重・村中俊哉・吉田茂男・飯田修・関田節子・佐竹元吉・牧野由紀子	<i>Cannabis sativa</i> L.におけるcannabinoid生合成遺伝子の解析	DNA多型	12	60-63	2004
里口保文・樋口裕也・黒川勝巳	東海層群に挟在する大田テフラ層と三浦層群のテフラ層との対比	地質学雑誌	111-2	74-86	2005
池田裕行・遠藤良太・尾崎煙雄・藤平量郎・佐瀬正	房総半島におけるヒメコマツの保全 人工交配による種子の稔性向上	林木の育種「特別号」		10 - 13	2005
大石諭・鈴木誠	杉間伐材の有効活用と土止め工事のコスト削減 東京大学千葉演習林における治山工事の一例	森林利用学会誌	19-3	221-224	2004

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
里吉亜也子・蒲谷肇・萩原光・谷山弘行・吉澤和徳・辻正義・萩原克郎・村松康和・浅川満彦	房総半島に生息するニホンザルの寄生虫および感染症に関する予備調査	野生動物医学 会誌	9-2	79-83	2004
白石則彦・土田絢子・泉佳子・鈴木誠	東京大学千葉演習林における炭素蓄積量の推定 1995年と1909年の比較	東大演報	112	11-34	2004
福岡哲・井口和信	北海道中央部における天然産マイタケの発生状況 とその環境	北方林業	57(1)	10-12	2005
山中征夫	房総の民俗と自然 房総のヤマビル	房総の山		25-26	2004
藤森隆男・山本博一・山田純・田中惣司	木材の利用	国民と森林	89	26-42	2004
Osawa, Y., Goto, O., Trifkovic, S., Yamamoto, H.	Forest Resources Management for the Maintenance of Wooden Cultural Buildings in Japan- Horyuji temple in Nara Prefecture	FORCOM 2004		92-95	2004
Yamamoto, H., Fukumoto, D.	Spatio-temporal Forest Management System by J-STIMS	FORCOM 2004		86	2004
Trifkovic, S., Yamamoto, H.	N-tree distance sampling – bias reduction and possible use in Forest Inventory	FORCOM 2004		149	2004
山中征夫・山中千恵子・稲村宏子	胴体切断法によるヤマビルの消化器官内血液の有無と採餌行動	日林関東支論	56	289-292	2005
池田裕行・益守眞也・辻和明・丹下健・井出雄二	伊豆半島南部の広葉樹二次林における林床稚樹群の動態	日林関東支論	56	101 - 104	2005
古家直行・平田泰雅・鈴木誠・山本博一	高分解能衛星画像を用いた針葉樹人工林立木密度推定手法の検討	日林関東支論	55	93-94	2004
蒲谷肇・佐々木潔州・軽込勉・藤平晃司・山本博一	量水試験地の皆伐区における植生とバイオマス量の3年間の変化	日林関東支論	55	169-170	2004
福岡哲・井口和信・後藤晋	樹木位置図を作ろう！ ミズナラ施業林におけるケーススタディー	日本北支論	53	144-146	2005
高橋正通・阪田匡司・石塚成宏・溝口岳男・稲垣善之・寺澤和彦・澤田智志・五十嵐正徳・安田洋・小山泰弘・鈴木祥仁・豊田信行・室雅道・町田誠司・山本博一・芦谷大太郎・橋本哲・金澤洋一・馬田英隆	日本の森林土壌におけるCH ₄ ・N ₂ Oフラックスと立地特	日林学術講	115	287	2004
阪田匡司・高橋正通・石塚成宏・溝口岳男・稲垣善之・寺澤和彦・澤田智志・五十嵐正徳・安田洋・小山泰弘・鈴木祥仁・豊田信行・室雅道・町田誠司・山本博一・芦谷大太郎・橋本哲・金澤洋一・馬田英隆	日本の森林土壌におけるCO ₂ フラックスと立地特性	日林学術講	115	297	2004

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
山中征夫・山中千恵子・稲村宏子・山根明臣	ヤマビルの生命表	日林学術講	115	715	2004
池田裕行・益守眞也・辻和明・佐倉詔夫・丹下健・井出雄二	伊豆半島南部の広葉樹二次林におけるシイ類落下種子の動態	日林学術講	115	129	2004
鈴木誠・里見重成・阿達康眞・鈴木祐紀	モミ天然林の成立過程における幼齡期の林分構造	日林学術講	115	34	2004
山本博一・伊藤延男・清水真一・村田健一・後藤治・飛山龍一・足本裕子・トリノッチ・スタコ	木の文化を未来につなぐ為の森林資源管理	日林学術講	115	586	2004
Trifkovic, S., Yamamoto, H., Tsurumi, Y., Furuya, N.	Use of the Geographic Information System in relation to Forest Management practices at the Tokyo University Forest in Chiba	日林学術講	115	626	2004
池田裕行・遠藤良太・橋本光司・尾崎煙雄・藤平量郎	房総半島におけるヒメコマツの保全（ ）接ぎ木による天然母樹の遺伝子保存	日森学術講	116	1F10	2005
山中征夫・山中千恵子・稲村宏子・山根明臣	森林における大型哺乳類の生息状況とヤマビルの個体数	日森学術講	116	PB081	2005
鈴木誠・村川功雄・塚越剛史	モウソウチクの開花枯損現象と回復状況	日森学術講	116		2004
森田えみ・白川太郎・福田早苗・大平英樹・永野純・山本博一・中島皇・岩井吉彌	森林浴による心理効果と関連がある要因について	日林学術講	115	25	2004
佐瀬正・綿野泰行・朝川毅守・池田裕行・鈴木祐紀・尾崎煙雄・谷尚樹	房総丘陵の絶滅危惧ヒメコマツ集団における花粉流動のマイクロサテライトマーカーによる解析	日本植物分類学会	3	ポスター	2004
内海泰弘・古賀信也・山本篤志・斎藤幸恵・有馬孝禮・山本博一・門松昌彦・坂野上なお	檜皮採取がヒノキの木部および師部形成に及ぼす影響	日本木材学会要旨集	54	22	2004
山本篤志・斎藤幸恵・内海泰弘・古賀信也・有馬孝禮・山本博一・門松昌彦・坂野上なお	檜皮採取がヒノキ木部の組織構造と物性に及ぼす影響	日本木材学会要旨集	54	70	2004
池田裕行・井出雄二・丹下健・益守眞也	暖帯常緑広葉樹林の持続的維持に関する繁殖生態学的研究	科研（基盤研究（C）(2)）		140 p p	2004
尾崎煙雄・藤平量郎・遠藤良太・池田裕行・斎藤央嗣	関東周辺ヒメコマツ個体群の現状とフェノロジー比較	PNファンド助成金結果発表会			2004
千葉県自然保護課	平成14年度房総半島における野生猿管理対策調査研究事業報告			90	2005

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
塚越剛史・鈴木祐紀・藤平晃司	檜ノ木台長期生態系プロットモミ・ツガ天然林の林分構成と5年間の生育	平成16年度技術職員等試験研究・研修会議報告		21-26	2004
福岡哲・井口和信・福士憲司・木村徳志・丹羽悠二・高橋功一	樹木位置データから何が分かるか？ 択伐林におけるミズナラの分布特性	平成16年度技術職員等試験研究・研修会議報告		45-48	2004
渡邊良広・辻和明・村瀬一隆・辻良子	暖温带林長期生態系プロット5年間の動態について	平成16年度技術職員等試験研究・研修会議報告		1-4	2004
村瀬一隆・才木道雄・荒木田善隆	巣箱設置によるヤマガラとシジュウカラの繁殖生態（ ） 設置初年の利用状況	平成16年度技術職員等試験研究・研修会議報告		65-69	2004
鍛冶屋裕介	75年生過ぎ・ヒノキ林の斜面上部・下部における蒸散開始時刻の差異	東大卒論		35	2004
岡沢亮太	千葉演習林袋山沢流域における流出解析	東大卒論		35	2004
石井真樹子	静岡県南伊豆町暗沢山一帯におけるフクロウの生息密度分布と環境選択	農工大卒論		29pp	2004
杉崎亮太	東京大学千葉演習林におけるスギ・ヒノキ人工林の伐採が土壌呼吸に及ぼす影響	東京農大卒論		53	
黒川あずさ	スギ、ヒノキ植栽木の成長が山地小流域の土壌水分状態に与える影響	東京農大卒論		21	

天然林管理学研究室(北海道演習林)

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
Yoshioka, T., Aruga, K., Nitami, T., Kobayashi, H., Hiroshi, Sakai, H.	Energy and carbon dioxide (CO ₂) balance of logging residues as alternative energy resources: system analysis based on the method of a life cycle inventory (LCI) analysis	J. For. Res.	Vol.10	125 ~ 134	2005
Kamoda, S., Terada, T., Saburi, Y.	Production of heterogeneous dimmer lignostilbenedioxxygenase II from lsdA and lsdB in Escherichia coli cell	Biosci. Biotechnol. Biochem.	69(3)	635-637	2005
Miyamoto, Y., Igarashi, H.	Natural forest management and forest road network	Научовий Вісник		413-420	2004
Tsuda, Y., Goto, S., Ide, Y.	RAPD analysis of genetic variation within and among four natural populations of Betula maximowicziana.	Silvae Genetica	53	234-239	2004
Goto, S., Tsuda, Y., Nagafuji, K., Uchiyama, K., Takahashi, Y., Tange, T., Ide, Y.	Genetic make-up and diversity of regenerated Betula maximowicziana Regel. sapling populations in scarified patches as revealed by microsatellite analysis.	For. Ecol. Manage.	203	273-282	2004
奥田裕規・久保山裕史・鹿又秀聡・安村直樹・村松真	金山町における「住宅用木材の自給構造」の成立要因	日林誌	86-2	144-150	2004

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
森 康浩・宮原文彦・後藤 晋	クロマツのマツ材線虫病抵抗性種苗生産における挿し木技術の有効性 .	日林誌	86	98-104	2004
森口喜成・後藤 晋・高橋 誠	分子マーカー情報に基づく採種園の遺伝的管理 .	日林誌	87	161-169	2005
安村直樹	地域材住宅事業にみる上下流連携の成果 宮崎県諸塚村産直住宅プロジェクトを事例に	林業経済	57-3	1-14	2004
松井理生・後藤 晋・岡村行治	エゾリスとアカネズミによるオニグルミ核果の捕食および貯食行動	森林立地	46	41-46	2004
松井理生・岡村行治	トドマツとストロブマツの密度別試験地における造林木と天然更新木の生育状況	北海道の林木育種	47	21-24	2004
澤田晴雄・平野和男・齋藤俊浩・大村和也・相川美絵子・酒井秀夫	シュロの炭化特性と炭質	東大演報	112	1~9	2004
酒井秀夫	路網と森林施業	北方林業	57 - 3	66~68	2005
酒井秀夫	森づくりの主役・作業道	林業技術	750	8~11	2004
酒井秀夫	機械化作業と森林の経営管理	山林	1448	14~21	2005
松井理生・高橋功一・後藤 晋	オニグルミ核果のエゾリスによる分散貯蔵と実生定着 .	日林北支論	53	27-29	2005
福岡 哲・井口和信・後藤 晋	樹木位置図を作ろう ミズナラ施業林におけるケーススタディー	日林北支論	53	144-146	2005
小川瞳・芝野伸策・大屋一美・鈴木憲	エゾマツ種子の充実率と虫害率	日林北支論	53	18-20	2004

森林技術情報学研究室(秩父演習林・富士演習林)

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
Memisang, P.M., Ishibashi, S.	The Analysis of Stand Structure and Growth Characteristics of Natural Forest in Papua New Guinea	J. For. Plan.	10	9~20	2004
岡本拓也・齋藤 馨・藤原章雄・シュバッシュ 口八二	GISと植物モデルを応用した森林景観履歴復元手法の開発		68-5	919-922	2005
齋藤 馨・藤原章雄・石井秀樹・志村正太・矢野安樹子・熊谷洋一	森林映像モニタリングデータによるマルチメディアコンテンツ製作	ランドスケープ研究	68-5	923-926	2005
藤原章雄・齋藤 馨	ロボットカメラによる定点長期連日ビデオ記録の樹木フェノロジー情報についての分析	ランドスケープ研究	68-5	927-930	2005
英賀慶彦・佐々木廣海・松下範久・丹下健・鈴木和夫	モミの成長、生理活性及び外生菌根に対する土壌酸性化の影響	森林立地	26	21-28	2004
澤田晴雄・平野和男・齋藤俊浩・大村和也・相川美絵子・酒井秀夫	シュロの炭化特性と炭質	東大演報	112	1-9	2004
岡戸恒	埼玉県の变形菌 東京大学秩父演習林の变形菌	埼玉生物(埼玉県高等学校生物研究会)	44	13-16	2004

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
石橋整司・齋藤俊浩・大村和也・澤田晴雄	スギ人工林伐採直後の更新状況	日林関東支論	55	53 ~ 56	2004
陳 鍾善・石橋整司	中国、吉林省における林業政策の変遷と森林管理	日林関東支論	55	85 ~ 88	2004
石橋整司・西山教雄・千島茂・山本清龍	東京大学富士演習林における寒地性樹種育林試験	日林関東支論	56		2004
本郷哲郎・山本清龍・小野俊彦	エコツーリズムを活かした地域振興の方策について 山中湖クラブツーリズムにおける野鳥観察会を事例として	日本観光研究会全国大会研究発表論文集	19	265-268	2004
山本清龍・坂上大翼・柴崎茂光・田中延亮・広嶋卓也・堀田紀文	森林の多面的機能の組み合わせに着目した森林教育プログラムの開発	日林学術講	115	386	2004
石橋整司・藤原章雄・山本清龍・前原忠	森林から学ぶ「森林生態系と人間社会との関わり教育プログラム」の検討	日森大会講要	116	3C06	2005
菊地陽太・大久保達弘・梶 幹男・石橋整司・澤田晴雄	林冠の攪乱規模の異なるイブナ天然林の再生過程 秩父山地での20年間の動態	日森大会講要	116	PA108	2005
村松昭宣・石橋整司・西上 愛・藤原章雄	木曾川複層林の林分構造と成長	日森大会講要	116	PC005	2005
黄 哲松・石橋整司	大都市近郊山村からみた都市との連携による山村振興の可能性	日森大会講要	116	PC042	2005
藤原章雄・齋藤 馨	4chサラウンド録音による森林環境の記録 特に音像定位に関する検討	日森大会講要	116	PC040	2005
孫 貞阿・鈴木和夫	日本産五葉松類におけるマツノザイセンチュウの移動	日森大会講要	116	1D09	2005
石橋整司・西上 愛・前原 忠	利尻島西部斜面における森林の成長解析	平成16年度年輪研究会発表要旨集		6 ~ 7	2004
山本清龍・広嶋卓也・堀田紀文・柴崎茂光・田中延亮・坂上大翼	インタープリテーションのための森林の機能の分類と組み合わせに関する考察	日本野外教育学会第7回大会プログラム・研究発表抄録集	7	52-53	2004
山本清龍・坂上大翼・柴崎茂光・田中延亮・広嶋卓也・堀田紀文	野外教育および環境教育における教育効果把握の手法について	日本環境教育学会第15回大会(東京)発表要旨集	15	64	2004
山本清龍・小野俊彦・本郷哲郎	探鳥地としての山中湖の歴史	平成16年度日本造園学会関東支部大会事例・研究報告集		19-20	2004
志村正太郎	オフマイク録音による音環境モニタリング - 鳥類センサスへに応用 -	東大修論		45pp.	2005
奥山雄樹	溪畔林構成樹シオジ (<i>Fraxinus Platyoda</i>) の生育立地と当年生実生の消長に関する研究	東大修論		41pp.	2005
橋本幸彦	秩父山地におけるツキノワグマの生態学的研究 とくに食性と生息地の保全について	東大修論		97pp.	2004

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
菊地陽太	林冠の攪乱規模の異なるイヌブナ天然林の再生過程 秩父山地での20年間の動態	宇大卒論			2005

都市林機能学研究室 (愛知演習林・田無試験地)

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
Irino, K.O., Iba, Y., Ripot, S., Kendawang, J.J., Miyashita, N., Nara, K., Hogetsu, T., Iwasaki, K., Sakurai, K.	Effects of application of controlled-release fertilizer on growth and ectomycorrhizal colonization of pot-grown seedlings of the dipterocarp <i>Dryobalanops lanceolata</i> in a tropical nursery	Soil Sci. Plant Nutri.	50	747-753	2005
Irino, K.O., Sakurai, K., Iwasaki, K., Nara, K., Hogetsu, T., Ripot, S., Jiwon, D., Kendawang, J.J., Ogino, K.	Effects of ectomycorrhizal inoculation on <i>Shorea macrophylla</i> seedlings using mycorrhizal trees	Environmental Control in Biology	43	29-37	2005
Islam, M.S., Lian, C., Kameyama, N., Wu, B., Hogetsu, T.	Development of Microsatellite markers in <i>Rhizophora stylosa</i> , a mangrove species, using a dual-suppression-PCR technique	Mol. Ecol. Notes	4	110-112	2004
Nagai, S., Lian, C., Hamaguchi, M., Matsuyama, Y., Itakura, S., Hogetsu, T.	Development of microsatellite markers in the toxic dinoflagellate <i>Alexandrium tamarense</i> (Dinophyceae)	Mol. Ecol. Notes	4	83-85	2004
Saito, Y., Lian, C.L., Hogetsu, T., Ide, Y.	Development and characterization of microsatellite markers in <i>Abies firma</i> and inter-specific amplification in Japanese <i>Abies</i> species	Mol. Ecol. Notes	5	234-235	2005
Wu, B., Nara, K., Hogetsu, T.	Genetic structure of <i>Cenococcum geophilum</i> populations in primary successional volcanic deserts on Mount Fuji as revealed by microsatellite markers	New Phytologist	165	285-293	2005
Lian, C., Oishi, R., Miyashita, N., Hogetsu, T.	High somatic instability of a microsatellite locus in a clonal tree, <i>Robinia pseudoacacia</i>	Theor. Appl. Genet.	108	836-841	2004
Uchida, T., Asano, Y., Mizuyama, T., McDonnell, J. J.	The role of upslope soil pore water pressure on lateral subsurface stormflow dynamics	Water Resources Research	40	doi:10.1029/2003WR002139	2004
Asano, Y., Uchida, T.	Quantifying the role of forest soil and bedrock in the acid neutralization of surface water in steep hillslope	Environmental Pollution	133	467-480	2005

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
Kuraji, K., Homma, K., Shibata, H.	Japan Ecosystem Research Network (JERN) and Japanese Long-Term Ecological Research (JaLTER): an opportunity for collaboration between terrestrial ecosystem ecologists and limnologists	The First Korea-Japan Joint Limnology Symposium, - Material Cycling and Long-Term Ecological Research in Freshwater Ecosystem-, 19-22 May 2004, Pusan National University, Busan, Korea		60	
Kuraji, K., Shibata, H., Takagi, M., Nakashizuka, T.	Japan Ecosystem Research Network (JERN) and Japanese Long-Term Ecological Research (JaLTER)	The 6th East Asia-Pacific Regional Meeting of the International Long-Term Ecological Research, Beijing, China			
練春蘭・宝月岱造	効率的マイクロサテライトマーカー作製のためのプロトコル	日林誌	86	191-198	2004
伊藤進一郎・村田政穂・山田利博	<i>Raffaelea quercivora</i> に対するブナ科樹種間の反応の比較 ブナ科各樹種の通水域の比較	日植病報	70-3	213	2004
中嶋庸一・国分邦紀	浅層地下水の観測記録（平成15年度）	平成16年・東京都土木技術研究所年報		p377-390	2004
山田利博	ブックス マツ枯れは森の感染症 森林微生物相互関係論ノート	森林科学	No.41	71	2004
山田利博	ヒノキ漏脂病の発生機構 最近の研究から	林業と薬剤	No.169	5-13	2004
王 鈺・坂上大翼・山田利博・鈴木和夫	マツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの培地上での増殖率と病原力	日林関東支論	55	199 202	2004
山田利博・菊地泰生	スギ・ヒノキ暗色枝枯病菌のスギに対する病原力 その安定性および病斑と材変色の形状	日林関東支論	55	197-198	2004
山田利博・菊地泰生	ヒノキ漏脂病患部内の菌類の分布パターン <i>Cistella japonica</i> 人工接種部	日林関東支論	56	267-269	2005
玉田克志・練春蘭	マツタケ孢子分離により得られた菌糸体の特性	東北森林科学会誌	9	90-93	2004
芝野博文	長期水文観測から見えてきたもの	山林	1441	20-27	2004
蔵治光一郎	森林の機能論としての「緑のダム」論争	緑のダム-森林、河川、水循環、防災-		131-149	2004

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
蔵治光一郎	世界の「緑のダム」研究事情	緑のダム-森林、河川、水循環、防災-		56-77	2004
蔵治光一郎	緑のダム どう理解すればよいのか	登山時報	357	4-8	2004
蔵治光一郎	「緑のダム」論の最新状況	環境と正義	75	5-6	2004
蔵治光一郎	「緑のダム」論の最新状況 ~川辺川ダムの場合~	環境と正義	76	16-17	2004
蔵治光一郎	「緑のダム」論の最新状況 ~吉野川可動堰の場合~	環境と正義	77	8-10	2005
蔵治光一郎	「緑のダム」論の最新状況 最終回~将来展望	環境と正義	78	5-6	2005
鈴木雅一	「森林水文学と緑のダム-到達点と論点-」	「緑のダム研究の現状と将来展望」講演集		8-22	2004
芝野博文・蔵治光一郎・渡部 賢	JaLTERにおける愛知演習林の位置づけ —ネスティング流域、並列流域における長期水文観測の価値—	日林学術講	115	354	2004
系数 哲・太田岳史・恩田裕一・井上淳	植生の自然回復流域における降雨流出特性	日林学術講	115	135	2004
Zhang,Z., Fukushima,T., Onda,Y., Gomi,T., Fukuyama,T., Sidle,R., Kosugi,K., Kuraji,K., Kitahara,H., Hiramatsu,S., Terajima,T.,	Runoff characteristics of carbon, nitrogen, and phosphorus from forested watersheds	日森大会講要	115	4Ap12	2005
宇津澤 慎・福田健二・坂上大翼	MRマイクロスコープを用いたマツノザイセンチュウ接種クロマツ苗の非破壊観察	日森大会講要	116	1D19	2005
小松雅史・鈴木和夫	マツノザイセンチュウ懸濁液処理によるクロマツ切り枝の電解質漏出現象	日森大会講要	116	1D20	2005
坂上大翼	低温期に接種したマツノザイセンチュウの樹体内消長と抵抗性誘導効果	日森大会講要	116	1D13	2005
西垣真由美・坂上大翼・鈴木和夫	針葉樹4科10属におけるマツノザイセンチュウの動態	日森大会講要	116	1D10	2005
前原 忠・坂上大翼・練 春蘭・寶月岱造	マツノマダラカミキリの繁殖生態	日森大会講要	116	PB074	2005
大和万里子・鈴木和夫	時期を異にした <i>Raffaelea quercivora</i> 接種が引き起こす通水阻害	日森大会講要	116	3B10	2005
山本清龍・柴崎茂光・坂上大翼・広嶋卓也・堀田紀文・田中延亮	富士山を題材にした森林教育テキストの開発と実践	日森大会講要	116	3C05	2005
山田利博	傷害時の傷口の乾湿はスギ材変色の大きさを決める要因となるか？	日森大会講要	116	PA156	2005
小松雅史・鈴木和夫	材線虫接種クロマツ苗の枯死過程における電解質の漏出	樹木医学会大会講要	9	65	2004

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
坂上大翼・前原忠・栗田直明	都市域における材線虫病の被害実態とマツノマダラカミキリ成虫の発消長	樹木医学会大会講要	9	14	2004
大和万里子・鈴木和夫	<i>Raffaelea quercivora</i> 接種時期に対するミズナラの反応の変化	樹木医学会大会講要	9	15	2004
栗田直明・坂上大翼・岩本則長・山田利博	都市の自然公園に生育する樹木の健全度調査	樹木医学会大会講要	9	56	2004
山田利博・神崎菜摘・高橋由紀子	数種の五葉松類におけるこぶ・がん腫症状の発生	樹木医学会大会講要	9	70	2004
馬場友希・Richard J. Walters・宮下直	チリイソウロウグモの宿主利用の違いに伴う餌獲得量の違い	日本動物行動学会講要	23		2004
馬場友希・宮下直	チリイソウロウグモの宿主利用の違いに伴う形態形質・行動形質の分化	日本蜘蛛学会大会講要	36		2004
馬場友希・宮下直	盗み寄生者チリイソウロウグモにおける形態形質の地理的変異 宿主利用の異なる3地域間での比較	日本生態学会大会講要	51		2005
林拙郎・土屋智・近藤観滋・芝野博文・沼本晋也・小杉賢一・山越隆雄・池田暁彦	2004年9月29日 台風21号に伴って発生した三重県宮川村の土砂災害(速報)	砂防学会誌	57-4	48-55	2004
本間航介・蔵治光一郎	LTER途は何か 日本におけるLTER活動の現状	日本陸水学会大会	69		
蔵治光一郎	流域圏学会と緑のダム・青の革命	四万十流域圏学会総会学術研究発表概要集	3	12	
前原 忠	個体群密度制御下でのアオオサムシの密度および活動性とピットフォールトラップの捕獲率	日本応用動物昆虫学会誌	48	115-121	2004
前原 忠・岩本則長	樹林地の見学利用が大型土壌動物の生息に与える影響	日本土壌動物学会大会講要	27		2004
山田利博・菊地泰生	ヒノキ漏脂病患部内の菌類の分布パターン <i>Cistella japonica</i> 人工接種部	日林関東支講要	56	55	2004
井上 淳・渡部賢・後藤大成・荒木田きよみ	マツ枯れ被害地における樹木相の推移について—新居試験地の現況—	平成16年度技術官等試験研究・研修会議報告		36-40	2005
梶浦雅子	愛知演習林赤津研究林の花崗岩を母材とする撥水性土壌の性質	東大修論		21	2004
中西 崇	降雨量および流量が白坂本流域の土砂流出に及ぼす影響	農工大修論		31	2004
西垣真由美	針葉樹4科10属におけるマツノザイセンチュウの樹体内動態と樹脂道分布	東大卒論		34pp	2005

全利用者 千葉演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	26	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	2つのスケールにおいてサラゲモ類 が造網に必要な足場量から受ける 影響	清澄宿泊施設2
2	4	2	東大・農・附属演習林 研究部	5				5	演習林施設視察	清澄宿泊施設2
3	4	2	東大・農・生物多様性 科学研究室	1	1			2	栄養段階カスケードとプロセス連鎖	清澄宿泊施設
4	4	4	東大・農・森林理水及 び砂防工学研究室	1		4		5	総合対照流域法の定期観測	札郷宿泊施設
5	4	2	東大・農・森圏管理学 研究室	2				2	モミの増殖－花粉の飛散距離と自 家不和合性	清澄宿泊施設
6	4	1	千葉県立君津亀山少 年自然の家				7	7	主催事業実施のための下見	
7	4	2	東京医科大・生物学教 室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
8	4	1	鯛のまちボランティア ガイド協会				10	10	森林博物資料館見学	
9	4	1	東大・農・生物多様性 科学研究室	1		4		5	シカが森林生態系に与える影響調 査	
10	4	1	東大・農・附属演習林 田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査 及び試料採取	
11	4	1	千葉県立君津亀山少 年自然の家				43	43	主催事業「新緑の亀山溪谷」実施	
12	4	1	東大・農・保全生態学 研究室			1	1	2	水生昆虫の生態学的研究	
13	4	1	君津市観光協会亀山 支部				18	18	猪川溪谷に親しみ自然と人々の共 生の重要性を認識する	
14	4	2	房総の自然研究会		2		4	6	月例会(植物観察会)	郷台宿泊施設
15	4	3	東大・農・森林植物学 研究室	2	26	3		31	森林植物学実験 野外実習	清澄宿泊施設
16	4	1	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	モミの繁殖－花粉の飛散距離と自 家不和合性	
17	4	1	東大・農・造林学研究 室	1				1	「造林学実験」実習地の下見	
18	4	1	東京農工大・地域生態 システム学科	1		3		4	新第三紀流域での降雨流出過程 調査	
19	5	31	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	2つのスケールにおいてサラゲモ類 が造網に必要な足場量から受ける 影響	清澄宿泊施設2
20	5	2	東京医科大・生物学教 室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
21	5	2	東大・農・生物多様性 科学研究室	1		1		2	2つのスケールにおいてサラゲモ類 が造網に必要な足場量から受ける 影響	清澄宿泊施設2
22	5	5	東大・農・造林学研究 室	2	25	2		29	造林学実験	清澄宿泊施設
23	5	4	東大・農・森林理水及 び砂防工学研究室	2	3	6		11	総合対照流域法の定期観測	札郷宿泊施設
24	5	3	東大・農・森林生態圏 管理学研究室			1		1	修士論文のためのデータ収集	清澄宿泊施設2
25	5	1	東大・農・附属演習林 田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査 及び試料採取	
26	5	7	東大・農・生物多様性 科学研究室		1			1	シカ採食によるアオキの分断化が 種子生産に与える影響	清澄宿泊施設2
27	5	2	立正大・文学部	1				1	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
28	5	1	東大・地震研(海半球 観測研究センター)	2				2	常時大気自由振動の検出と地球・ 大気系常時自由振動論の展開	
29	5	1	千葉県総合教育セン ター				2	2	生物学講座「森で学ぶ、森から学 ぶ」下見	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
30	5	2	東大・農・総務課	1				1	千葉演習林視察	清澄宿泊施設2
31	5	2	房総の自然研究会		1		5	6	月例会(植物観察会)	郷台宿泊施設
32	5	2	東大・農・附属演習林研究部	5		1		6	大型哺乳類動態予測と生態系管理に関する研究打合せ	清澄宿泊施設
33	5	2	筑波大・生物圏資源科学専攻	1		2		3	温暖化に伴う土壌圏溶存有機物の動態解析と森林生態系変化予測	
34	5	2	東大・農・森圏管理学研究室			1		1	ミヤマトベラの種子移動調査	清澄宿泊施設
35	5	1	東大・農・森林動物学研究室	1	1	1		3	木材分解に関する穿孔虫の生態	
36	5	1	東大・地震研(海半球観測研究センター)	1			1	2	常時大気自由振動の検出と地球・大気系常時自由振動論の展開	
37	5	1	NACS千葉分科会				6	6	植物観察会	
38	5	1	東大・理・地球惑星科学専攻	3	14	2		19	理学部実習「地質調査Ⅰ」現地実習	清澄宿泊施設
39	6	30	東大・農・生物多様性科学研究室			1		1	2つのスケールにおいてサラゲモ類が造網に必要な足場量から受ける影響	清澄宿泊施設2
40	6	30	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把握と房総半島の鳥類相調査他	
41	6	4	東大・理・地球惑星科学専攻	3	10	2		15	理学部実習「地質調査Ⅰ」現地実習	清澄宿泊施設
42	6	1	千葉県立中央博物館植物学研究科		2		1	3	初期浸人性菌類の分散と定着に関する研究	
43	6	1	東大・地震研(海半球観測研究センター)	1				1	常時大気自由振動の検出と地球・大気系常時自由振動論の展開	
44	6	1	東京農業大・森林総合科学科	2	27	3		32	演習林内の自然観察と樹木検索	
45	6	2	海洋研究開発機構固体地球研究フロンティア	4				4	気圧計の撤収	
46	6	1	京都大・理学院動物行動学研究室			1		1	郷台貯水池でのアカハライモリの防御行動の調査	
47	6	2	東京医科大・生物学教室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
48	6	4	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	2	3	5		10	総合対照流域法の定期観測	
49	6	2	千葉県立君津青葉高校総合学科	2	21			23	樹木の種類と特徴を学習し樹木に対する興味関心を高める	清澄宿泊施設
50	6	1	東大・農・森圏管理学研究室			1		1	ミヤマトベラの花の観察	
51	6	4	東大・農・森林動物学研究室		1			1	木材分解に関する穿孔虫の生態	清澄宿泊施設
52	6	15	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	ミヤマトベラの交配実験	清澄宿泊施設2
53	6	2	東大・農・附属演習林千葉演習林		1		6	7	千葉演習林ボランティア第2回活動(下刈りと苗畑除草)	清澄宿泊施設
54	6	4	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	房総半島に生息する2種オサムシの環境選好性について定点標識再	札郷宿泊施設
55	6	2	東大・農・附属演習林田無試験地	2			3	5	ヒメコマツがん腫病発生実態調査・試料採取, スギ瘤病試料採取	清澄宿泊施設
56	6	2	立正大・文学部	1				1	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
57	6	2	東大・農・附属演習林研究部	1				1	袋山試験流域近辺の調査	札郷宿泊施設
58	6	2	東京農工大・地域生態システム学科	1	2	3		6	新第三紀流域鳥居沢における降雨流出過程調査	札郷宿泊施設
59	6	1	千葉県立中央博物館植物学研究科		1	1	1	3	初期浸人性菌類の分散と定着に関する研究	
60	6	5	東大・農・生物多様性科学研究室		1			1	シカ採食によるアオキの孤立化が種子生産に与える影響	清澄宿泊施設2
61	6	2	東大・農・附属演習林千葉演習林	10	5	14	4	33	千葉演習林利用者説明会	清澄宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
62	6	2	東大・新領域・生物圏機能学分野			1		1	人工林と自然林及び林齢間における埋土種子の変化	清澄宿泊施設
63	6	2	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	2	4		7	総合対照流域法の定期観測	札郷宿泊施設
64	6	2	房総の自然研究会		1		3	4	房総の自然研究会例会	郷台宿泊施設
65	6	2	東大・農・森林動物学研究室		1			1	木材分解に関する穿孔虫の生態	清澄宿泊施設
66	6	1	千葉県立中央博物館植物学研究室			1	1	2	初期浸人性菌類の分散と定着に関する研究	
67	6	1	千葉エコロジーセンター	5				5	ヒメコマツの保全に関する調査	
68	7	31	東大・農・生物多様性科学研究室			1		1	2つのスケールにおいてサラグモ類が造網に必要な足場量から受ける影響	清澄宿泊施設2
69	7	31	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把握と房総半島の鳥類相調査他	
70	7	3	東京医科大・生物学教室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
71	7	1	鯛のまちボランティアガイド協会				40	40	森林博物資料館見学	
72	7	5	静岡大・理学部生物地球環境科学科	2	9			11	地質調査実習	清澄宿泊施設
73	7	1	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1				1	新田露場気象観測	
74	7	25	東大・農・森林生態圏管理学研究室			1		1	修士論文のためのデータ収集	清澄宿泊施設2
75	7	4	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	房総半島に生息する2種オサムシの環境選好性について定点標識再	清澄宿泊施設
76	7	3	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	5	3		9	総合対照流域法の定期観測	札郷宿泊施設
77	7	1	東大・職員自然愛好会	10				10	千葉演習林内における動植物観察	
78	7	5	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	房総半島に生息する2種オサムシの環境選好性について定点標識再	札郷宿泊施設
79	7	1	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査及び試料採取	
80	7	1	㈱日本農業新聞東京支所				1	1	農家向けヒル対策の取材	
81	7	3	東大・工・建築学科			1		1	トリフコビッチスタンコ氏データ採集補助	清澄宿泊施設2
82	7	4	東大・農・生物多様性科学研究室		1			1	シカ採食によるアオキの孤立化が種子生産に与える影響	清澄宿泊施設2
83	7	2	東大・農・附属演習林千葉演習林	1		5		6	持続的林业経営論現地集中講義	清澄宿泊施設
84	7	1	東大・農・森圏管理学研究室			1		1	ミヤマトベラの花の観察	
85	7	2	千葉県総合教育センター				24	24	平成16年度SPP「森で遊ぶ, 森から学ぶ」生物学講座	清澄宿泊施設
86	7	2	東大・農・附属演習林千葉演習林	5				5	千葉県総合教育センター講座講師	清澄宿泊施設
87	7	2	東大・農・森林動物学研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
88	7	2	千葉県高等学校体育連盟登山専門部	13				13	平成17年度全国高等学校総合体育競技役員養成事業	
89	7	2	NPO法人房総の野生生物調査会		1		4	5	月例会	郷台宿泊施設
90	7	1	松の実保育園	1			1	2	間伐材の見学	
91	7	1	東大・農・附属演習林千葉演習林	5			4	9	千葉演習林ボランティア第3回活動(郷台苗畑除草)	
92	7	2	NPO法人房総の野生生物調査会		1		9	10	東大千葉演習林における自然観察会	郷台宿泊施設
93	7	6	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	房総半島に生息する2種オサムシの環境選好性について定点標識再	郷台宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
94	7	3	東大・教育学部附属中等教育学校	2	14	1	3	20	夏期生物教室シイ・カシ林及びスギ林と沢(水質・水棲動物)の生態観察	札幌宿泊施設
95	7	2	海洋研究開発機構固体地球研究フロンティア	7				7	気圧計の撤収	
96	7	2	愛知教育大	8				8	微気圧観測装置の撤収	
97	7	3	高校生のための森と海のゼミナール実行委員会	6	22		2	30	高校生のためのゼミナール「自然の中で考える環境問題と生物多様	清澄宿泊施設
98	7	2	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	2	3		6	総合対照流域法の定期観測	札幌宿泊施設
99	7	1	東大・農・森林生態圏管理学的研究室			1		1	修士論文のためのデータ収集	清澄宿泊施設2
100	8	31	東大・農・森林生態圏管理学的研究室			1		1	修士論文のためのデータ収集	清澄宿泊施設2
101	8	31	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把握と房総半島の鳥類相調査他	
102	8	5	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	5	3		9	総合対照流域法の定期観測	札幌宿泊施設
103	8	3	東大・農・森林生態圏管理学的研究室			1		1	ミヤマトベラの花の観察	清澄宿泊施設
104	8	1	日本ボーイスカウト千葉県連盟				120	120	第6回ベンチャースカウト大会基地交換ウオーク	
105	8	7	東大・新領域・生物圏機能学分野			1		1	人工林と自然林及び林齢間における埋土種子の変化	清澄宿泊施設2
106	8	3	宇都宮大・農学部森林科学科	2	44	2	1	49	樹木学実習	清澄宿泊施設 札幌宿泊施設
107	8	2	東大・農・生物多様性科学研究室	1				1	2つのスケールにおいてサラゲモ類が造網に必要な足場量から受ける影響	清澄宿泊施設2
108	8	2	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	房総半島に生息する2種オサムシの環境選好性について定点標識再	
109	8	5	立正大・文学部	1	2			3	流水による岩盤の侵食	札幌宿泊施設
110	8	3	静岡大・農学部(独パイロト大植物生態学研)	3	2	15		20	スギ長伐期施業, スギ遺伝子保存林, モミ天然林, 照葉樹林等の見	清澄宿泊施設
111	8	2	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査及び試料採取	札幌宿泊施設
112	8	3	東大・農・森林動物学研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
113	8	2	品川区教育会中学校理科教育研究部	12				12	品川区教育会理科教育部宿泊研修会	清澄宿泊施設
114	8	4	東大・農・森林動物学研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
115	8	2	千葉県高等学校体育連盟登山専門部	15				15	平成17年度全国高等学校総合体育競技役員養成事業	
116	8	1	千葉大・教育学部理科教育講座			1	1	2	無葉ラン, ヒメノヤガラの共生菌に関する研究	
117	8	1	千葉県立中央博物館植物学研究室		2		1	3	初期侵入性菌類の分散と定着に関する研究	
118	8	1	東京医科大・生物学教室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
119	8	1	東大・農・附属演習林千葉演習林	10			1	11	監事監査及び千葉演習林視察	
120	8	3	東大・教育学部・附属中等教育学校	1	9		1	11	課題別学習「日本の林業に学ぶ」林業実習	札幌宿泊施設
121	8	2	東大・農・附属演習林千葉演習林	1	1		6	8	千葉演習林ボランティア第4回活動(歩道修繕と苗畑除草)	清澄宿泊施設
122	8	3	東京環境工科専門学校	1	8			9	林層の観察調査, 生活痕による哺乳類の行動調査	
123	8	1	日本大・森林資源科学科森林動物学研究室		1			1	シロアリ巢内のトビムシ相とアリヅカムシ相の調査	
124	8	2	京都大・理学研究科地質学鉱物学教室	3	12	2		17	課題実習「地質調査法野外実習」	清澄宿泊施設
125	8	1	東大・農・造林学研究室	1				1	巻枯らしの水分生理学的研究	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
126	9	3	京都大・理学研究科地質学鉱物学教室	3	12	2		17	課題実習「地質調査法野外実習」	清澄宿泊施設
127	9	30	東大・農・森林生態圏管理科学研究室			1		1	修士論文のためのデータ収集	清澄宿泊施設2
128	9	30	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把握と房総半島の鳥類相調査他	
129	9	6	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	5	3		9	総合対照流域法の定期観測	札郷宿泊施設
130	9	2	東大・農・森林動物学研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
131	9	1	東京農工大・地域生態システム学科	1		4		5	新第三紀流域での降雨流出過程調査	
132	9	4	東大・工・建築学科			1		1	トリフコビッチスタンコ氏データ採集補助	清澄宿泊施設2
133	9	1	東大・農・附属演習林研究部	1				1	演習林安全マニュアル作成についての打合せ	
134	9	1	千葉県君津市立外箕輪小	4			46	50	校外学習「自然林と人工林の比較, 動植物の生態の様子」	
135	9	1	東大・農・保全生態学研究室			1	1	2	水生昆虫の生態学的研究	
136	9	1	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1		1	1	3	総合対照流域法の定期観測	
137	9	5	東大・農・生物多様性科学研究室	3				3	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
138	9	1	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査及び試料採取	
139	9	8	東大・農・生物多様性科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
140	9	2	国立環境研究所	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
141	9	4	東大・農・附属演習林千葉演習林	4	12			16	教養学部総合科目D集中講義	札郷宿泊施設 清澄宿泊施設
142	9	3	立正大・文学部	1				1	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
143	9	3	東大・農・森林動物学研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
144	9	2	東大・農・附属演習林千葉演習林	1			4	5	千葉演習林ボランティア第5回活動(歩道修繕と苗畑除草)	札郷宿泊施設
145	9	11	東大・農・生物多様性科学研究室		1			1	シカ採食によるアオキの孤立化が種子生産に与える影響	清澄宿泊施設2
146	9	11	東大・農・生物多様性科学研究室	1	1			2	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
147	9	2	東大・農・森林動物学研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
148	9	1	東京医科大・生物学教室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
149	9	2	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	自然観察会(クモ, 植物)	郷台宿泊施設
150	9	2	千葉県高等学校体育連盟登山専門部	3	4			7	平成17年度全国高等学校総合体育競技のためのコース調査	
151	9	2	東大・農・森林動物学研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
152	9	2	東大・農・森圏管理科学研究室	1				1	モミの繁殖ー花粉の飛散距離と自家不和合性	清澄宿泊施設
153	10	20	東大・農・生物多様性科学研究室		1			1	シカ採食によるアオキの孤立化が種子生産に与える影響	清澄宿泊施設2
154	10	31	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把握と房総半島の鳥類相調査他	
155	10	9	東大・農・生物多様性科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
156	10	1	東大・農・生物多様性科学研究室	3				3	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	
157	10	1	千葉県森林インストラクター会				3	3	千葉県インストラクター会主催野外講座の予備踏査	
158	10	1	千葉県高等学校体育連盟登山専門部	30	100			130	平成16年度千葉県高等学校新人大会	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
159	10	2	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
160	10	2	千葉県君津市役所経 済部農林振興課				75	75	銃器による有害鳥獣駆除(野生シ カ, イノシシ)	
161	10	4	東大・農・生物素材科 学研究室	1	16	1	1	19	森林科学実習(環境共生システ ム学/植物資源プロセス学)	清澄宿泊施設
162	10	5	東大・農・森林理水及 び砂防工学研究室		5	3		8	総合対照流域法の定期観測	札郷宿泊施設
163	10	3	東大・農・森林動物学 研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
164	10	2	東大・農・森園管理学 研究室		3			3	千葉演習林周辺のモミ林の調査	札郷宿泊施設
165	10	1	日本菌学会関東支部・ 千葉菌類懇話会				70	70	暖温帯産菌類の調査及び観察	
166	10	1	千葉県立中央博物館		1	1	1	3	初期浸人性菌類の分散と定着に関 する研究	
167	10	1	東大・農・国際森林環 境学研究室	2	3			5	袋沢観測地点の計測装置その他の 点検	
168	10	11	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
169	10	4	東大・農・森林動物学 研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
170	10	3	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	シカの有無が食草に与える影響の 解明	清澄宿泊施設2
171	10	1	東京農工大・地域生態 システム学科	1		4		5	新第三紀流域での降雨流出過程 調査	
172	10	3	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
173	10	1	東京医科大・生物学教 室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
174	10	1	東大・農・附属演習林 田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査 及び試料採取	
175	10	1	天津小湊町立天津小	4	38		36	78	親子ふれあいポケット「緑の教室」	
176	10	1	東京農業大・森林生態 学研究室		3			3	研究室実習の下見	
177	10	3	立正大・文学部	1				1	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
178	10	5	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
179	10	1	千葉県特定鳥獣保護 管理計画策定検討会	1			19	20	第3回検討会現地視察	
180	10	1	東大・農・附属演習林 千葉演習林	4			6	10	千葉演習林ボランティア第6回活動 (歩道修繕)	
181	10	7	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
182	10	1	千葉県立中央博物館		2		1	3	初期浸人性菌類の分散と定着に関 する研究	
183	10	2	東大・農・森園管理学 研究室			3		3	ミヤマトベラの種子調査と演習林周 辺のモミ林調査	札郷宿泊施設
184	10	3	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
185	11	3	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
186	11	10	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把 握と房総半島の鳥類相調査他	
187	11	1	千葉県森林インストラ クター会	1			4	5	千葉県インストラクター会主催野外 特別講座の下見	
188	11	1	東京農業大・森林生態 学研究室		3	1		4	研究室実習の下見	
189	11	5	東大・農・森林理水及 び砂防工学研究室	2	5	3		10	総合対照流域法の定期観測	札郷宿泊施設
190	11	2	東大・農・森林動物学 研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
191	11	1	習志野市屋敷公民館				5	5	安全で楽しく山歩きの基礎を学ぶ	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
192	11	1	日本大・森林資源科学 科森林動物学研究室		1			1	シロアリ巢内のトビムシ相とアリヅカ ムシ相の調査	
193	11	1	東大・農・附属演習林 千葉演習林				3	3	千葉演習林ボランティア会秋の研 修会の聴講	
194	11	7	東大・新領域・生物圏 機能学分野			2		2	人工林と自然林及び林齢間におけ る埋土種子の変化	清澄宿泊施設2
195	11	1	千葉県高等学校体育 連盟登山専門部	50	70			120	平成16年度第48回関東高等学校 登山大会	
196	11	13	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
197	11	22	東大・農・生物多様性 科学研究室		1			1	シカ採食によるアオキの分断化が 種子生産に与える影響	清澄宿泊施設2
198	11	4	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	木材分解に関する穿孔虫の生態	清澄宿泊施設
199	11	4	東大・農・附属演習林	13				13	第7回関東甲信越地区演習林技術 職員研修	清澄宿泊施設
200	11	3	東大・農・森林動物学 研究室			1		1	ルーミスジミの生態の研究	清澄宿泊施設
201	11	1	㈱モリタ環境機器				2	2	ヤマビル生態その他情報収集	
202	11	1	東京農業大・森林生態 学研究室	2	55	4		61	森林生態学研究室 秋の採集会	
203	11	3	森林総合研究所流域 森林保全研究グループ	2				2	航空機レーザー scanner を用い た間伐強度の差の抽出	清澄宿泊施設
204	11	1	東大・農・附属演習林 田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査 及び試料採取	
205	11	1	東京医科大・生物学教 室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
206	11	13	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	木材分解に関する穿孔虫の生態	清澄宿泊施設
207	11	1	天津小湊町立小湊小 学校	4	50			54	理科学習一環として野鳥について 学習し自然を大切にする心を育む	
208	11	1	(社)林業薬剤協会				7	7	現地検討会(森林・林業に関する基 本認識の高揚を図る)	
209	11	1	千葉県森林インストラ クター会	1			12	13	千葉県森林インストラクター会野外 特別講座の下見	
210	11	2	NPO法人房総の野生 生物調査会				4	4	房総の自然研究会例会	郷台宿泊施設
211	11	7	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
212	11	6	東大・農・生物多様性 科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類 の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
213	11	2	京都大・医学研究科健 康増進・行動学分野			1		1	休養の取り方と健康に関する調査 の準備	
214	11	1	千葉県立木更津高等 学校	3	40			43	魅力ある高等学校づくりチャレンジ支 援事業「千葉演習林自然観察会」	
215	11	1	千葉演習林ボランティ ア会				1	1	千葉演習林ボランティア会秋の一 般公開ボランティア	
216	11	1	内浦山県民の森管理 事務所				4	4	清澄山紅葉ハイキングのための現 地調査	
217	11	1	京都大・医学研究科健 康増進・行動学分野		1	1	10	12	休養の取り方と健康に関する調査	
218	11	3	東大・農・森林動物学 研究室			1		1	腐朽材を利用する昆虫採集の調査 補助	清澄宿泊施設
219	11	3	立正大・文学部	1				1	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
220	11	1	さいたま市立しらさぎ 荘				30	30	森林博物資料館見学	
221	11	1	千葉県立君津亀山少 年自然の家				43	43	亀山少年自然の家主催事業「錦秋 の亀山溪谷」実施のため	
222	11	1	京都大・医学研究科健 康増進・行動学分野	1	1	1	9	12	休養の取り方と健康に関する調査	
223	11	1	京都大・医学研究科健 康増進・行動学分野		2	1	7	10	休養の取り方と健康に関する調査	
224	11	1	内浦山県民の森管理 事務所				80	80	清澄山紅葉ハイキング	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
225	11	1	天津小湊町立天津小学校	2	30			32	2年生活科授業「秋を見つけよう」	
226	12	6	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室	1	9	3		13	総合対照流域法の定期観測	札郷宿泊施設
227	12	1	千葉県森林インストラクター会	1			101	102	野外特別講座 針葉樹人工林の造成過程とモミ・ツガ天然林実態観察	
228	12	2	東大・農・森園管理工学研究室	1		2		3	モミの繁殖－花粉の飛散距離と自家不和合性	
229	12	1	習志野市立屋敷公民館				43	43	安全で楽しい山歩きの基礎を学ぶ	
230	12	1	天津小湊町立天津幼稚園				33	33	園児による落ち葉拾い	
231	12	1	一宮町教育委員会社会教育課				2	2	七里川～石尊山ウォーキングの下見	
232	12	2	千葉演習林ボランティア会		1			1	千葉演習林ボランティア会秋の一般公開ボランティア	清澄宿泊施設2
233	12	1	京都大・医学研究科健康増進・行動学分野			1		1	休養の取り方と健康に関する調査準備作業	
234	12	1	京都大・医学研究科健康増進・行動学分野			1	10	11	休養の取り方と健康に関する調査	
235	12	1	京都大・医学研究科健康増進・行動学分野			1	9	10	休養の取り方と健康に関する調査	
236	12	1	東大・農・生物多様性科学研究室	1		1		2	2つのスケールにおいてサラグモ類が造網に必要な足場量から受ける影響	
237	12	1	木更津市立中郷公民館				9	9	植物観察会	
238	12	1	君津市立八重原公民館				15	15	植物観察会	
239	12	1	千葉県森林インストラクター会				29	29	一般市民に対し、人工林、自然林の特色と各々の良さを理解させる	
240	12	3	リバプール大・地球海洋科学科(千葉大)			1		1	三浦層群清澄層の堆積学的研究	
241	12	1	千葉県生涯大学校京葉学園園芸科				27	27	自生植物(木本, 草本類)の観察実習	
242	12	8	東大・農・生物多様性科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
243	12	8	東大・農・生物多様性科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
244	12	1	東大・新領域創成科学・生物圏機能学分野	1		3		4	常緑広葉樹種の葉の形態形成におけるシカ被食の影響	
245	12	1	一宮町教育委員会社会教育課				30	30	七里川～石尊山ウォーキング	
246	12	7	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把握と房総半島の鳥類相調査他	
247	12	4	東大・農・森林経理学研究室	2	4	1		7	2004年度森林計測学実習	清澄宿泊施設
248	12	1	東大・農・森林動物学研究室			2		2	ルーミスジミの生態の研究	
249	12	1	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査及び試料採取	
250	12	3	東大・農・生物多様性科学研究室	2				2	シカが生態系に与える影響	清澄宿泊施設2
251	12	1	東京医科大・生物学教室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
252	12	2	NPO法人房総の野生生物調査会		1		5	6	房総の自然研究会例会	札郷宿泊施設
253	12	1	東大・農・保全生態学研究室			3	1	4	水生昆虫の生態学的研究	
254	12	1	東大・新領域創成科学・生物圏機能学分野			2		2	常緑広葉樹種の葉の形態形成におけるシカ被食の影響	
255	12	1	東京農工大・地域生態システム学科	1	2	2		5	新第三紀層鳥居沢流域における降雨流出特性に関する調査	
256	12	2	立正大・文学部	1				1	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
257	12	2	千葉県高等学校体育連盟登山専門部	6				6	平成17年度全国高校総体のためのコース調査(地図の作製)	
258	1	3	東大・農・附属演習林千葉演習林	6		11	6	23	ニホンジカの生息数調査	清澄宿泊施設
259	1	16	東大・新領域創成科学・生物圏機能学分野			3		3	常緑広葉樹種の葉の形態形成におけるシカ被食の影響	清澄宿泊施設2
260	1	2	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室		1	2		3	総合対照流域法の定期観測	
261	1	8	東大・農・生物多様性科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
262	1	8	東大・農・生物多様性科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
263	1	2	千葉県立中央博物館植物学研究科	1				1	コケ類観察会の下見	
264	1	1	安房郡富浦町教育委員会	10				10	清澄山系の自然に触れるとともにその生態系及び歴史を知る	
265	1	11	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把握と房総半島の鳥類相調査他	
266	1	3	房総のシカ調査会				1	1	ニホンジカ個体数推定のための糞粒調査	
267	1	2	千葉演習林ボランティア会	1			8	9	千葉演習林ボランティア会第8回活動	清澄宿泊施設
268	1	1	東京医科犬・生物学教室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
269	1	1	鴨川市中央公民館				8	8	元清澄山石仏調査	
270	1	2	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	房総の自然研究会例会	札郷宿泊施設
271	1	1	全国高校総体君津市実行委員会				60	60	平成17年度全国総体登山大会200日前イベント	
272	1	3	立正大・文学部	1				1	流水による岩盤の侵食	札郷宿泊施設
273	1	2	東大・農・附属演習林秩父演習林	4				4	千葉演習林におけるシカ食害対策調査	清澄宿泊施設
274	1	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1			23	24	コケ類観察会	
275	1	1	千葉県勤労者山岳連盟				100	100	第21回房総ロングハイキング	
276	2	18	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把握と房総半島の鳥類相調査他	
277	2	3	東大・農・森園管理学研究室	1		1		2	モミの繁殖ー花粉の飛散距離と自家不和合性	清澄宿泊施設
278	2	2	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室		3	2		5	総合対照流域法の定期観測	
279	2	5	東大・農・森林生態圏管理学研究室			1		1	修士論文のためのデータ収集	清澄宿泊施設2
280	2	5	東京農業大学		1			1	トリフコピッチスタンコ氏データ採集補助	清澄宿泊施設2
281	2	1	千葉エコロジーセンター				1	1	房総丘陵西部地域の氷期遺存針葉樹の急激な衰退原因調査	
282	2	11	東大・農・生物多様性科学研究室	1	3	2		6	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	清澄宿泊施設2
283	2	1	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査及び試料採取	
284	2	3	(社)千葉県猟友会				33	33	野生シカ調査及び生息数調整のための捕獲事業	
285	2	1	(社)ゴルファーの緑化促進協力会				1	1	抵抗性マツ苗木の現状と課題の調査	
286	2	1	東大・農・生物多様性科学研究室	1				1	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理	
287	2	2	NPO法人房総の野生生物調査会			1	4	5	房総の自然研究会例会	札郷宿泊施設
288	2	1	千葉演習林ボランティア会	4	1		16	21	千葉演習林ボランティア会総会	
289	2	1	千葉演習林ボランティア会	4	1		14	19	千葉演習林ボランティア会活動「演習林を歩こう」	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
290	2	1	流山市松の実保育園 園庭整備の会		4	4	3	11	ボランティアによる間伐材の処分	
291	2	2	立正大・地球環境学部	1			1	2	流水による岩盤の侵食	札幌宿泊施設
292	2	1	東京医科大・生物学教室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
293	2	2	千葉大・生物資源応用 科学専攻	2	2	3		7	演習林内における植物相の観察	清澄宿泊施設
294	2	2	東大・農・附属演習林 愛知演習林	10				10	「情報基盤データ整備」鳥類部門中 間報告会及び現地調査の実施	清澄宿泊施設
295	2	1	全国高校総体君津市 実行委員会登山隊				2	2	平成17年度全国高校総体のための コース下見	
296	3	1	東大・農・造林学研究室	1	3			4	巻枯らしの水分生理学的研究及び 造林学実験下見	
297	3	1	千葉県森林研究セン ター	1				1	ヒメコマツの保全に関する研究	
298	3	5	東大・農・森林理水及 び砂防工学研究室	3	6	3		12	総合対照流域法の定期観測	札幌宿泊施設
299	3	1	東大・農・森林理水及 び砂防工学研究室		1	1		2	気象観測装置メンテナンス	
300	3	1	内浦山県民の森管理 事務所				80	80	第15回関東ふれあいの道「ふれあ いウォーク」	
301	3	4	東京学芸大・教育学部 理科教育学科	1	10	6		17	地質調査	札幌宿泊施設
302	3	1	大分県竹工芸・訓練支 援センター	2				2	竹林管理及び竹の開花について	
303	3	1	千葉演習林ボランティ ア会 Abies	2	1		7	10	準備委員会	
304	3	1	東大・農・森園管理学 研究室	1				1	モミの繁殖－花粉の飛散距離と自 家不和合性	
305	3	1	東北大・工学研究科都 市・建築学専攻			1		1	学位論文資料「近代日本における 大学附属公開施設に関する研究」	
306	3	1	東大・農・附属演習林 田無試験地	1				1	ヒメコマツがん腫病の発生実態調査 及び試料採取	
307	3	1	京都市大・動物行動学研 究室			1		1	郷台貯水池のアカハライモリの防御 行動の調査	
308	3	4	東大・新領域創成学・ 生物圏機能学分野			5		5	常緑広葉樹種の葉の形態形成に おけるシカ被食の影響	清澄宿泊施設2
309	3	13	山科鳥類研究所				4	4	サンコウチョウの基礎研究, 生態把 握と房総半島の鳥類相調査他	
310	3	3	全国高校総体君津市 実行委員会登山隊		8		16	24	平成17年度全国高校総体のための コース下見	
311	3	2	NPO法人房総の野生 生物調査会			1	4	5	房総の自然研究会例会	札幌宿泊施設
312	3	2	筑波大・陸域環境研究 センター	10	5	7	6	28	陸域環境研究センターセミナー「海 水準に伴う地形変化(現地観察会)」	清澄宿泊施設
313	3	1	東京医科大・生物学教 室	1				1	ヤマビル褐色脂肪細胞研究	
314	3	1	千葉森林管理事務所				4	4	超高齢級林分, 複層林施業地等の 見学を通じ業務の参考とする	
315	3	1	近畿日本ツーリスト(株) 東京第三教育支部				3	3	森林博物資料館見学のための下見	
316	3	1	立正大・地球環境学部	1			1	2	流水による岩盤の侵食	清澄宿泊施設

北海道演習林

	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	2	(株)きんばら				3	3	林内見学及び研究打ち合わせ	山部寄宿舍
2	4	2	森林総合研究所				1	1	ヤツバキクイムシの広葉樹由来の揮発物質に対する忌避反応の解明	山部寄宿舍
3	4	1	北海道新聞社富良野支局				1	1	森林の取材・撮影	
4	5	3	森林利用学研究室	2				2	天然林施業と基盤整備に関する現地調査	山部寄宿舍
5	5	38	広島大・国際協力研究科			1		1	岩魚沢保存林における雌雄異株性高木カツラの遺伝子流動解析	長期滞在宿舎
6	5	1	富良野市立山部小学校				46	46	春の遠足	
7	5	330	東大・農・森林利用学研究室				1	1	エネルギー源としてのバイオマス資源の効率性生産・収穫技術の開発・研究	山部寄宿舍
8	5	2	統計数理研究所	2				2	北海道演習林の現地検討と研究打ち合わせ	山部寄宿舍
9	5	2	北海道森林ボランティア協会				21	21	混交林育成の将来像を見る	セミナー
10	5	2	東大・施設部	2				2	施設現地調査	山部寄宿舍
11	5	2	東大・農・森圏管理学研究室	1		1		2	東京大学北海道演習林におけるトドマツ天然林の遺伝的多様性と施行がそれに与える影響の解明	山部寄宿舍
12	5	1	(株)やまりん				1	1	新月木の視察	
13	5	2	東大・農・附属演習林演習林研究部	1				1	技術職員関係打ち合わせ	山部寄宿舍
14	5	2	北大・農・森林化学研究室			1		1	エゾマツに対する樹皮嗜好性試験	長期滞在宿舎
15	5	1	東大・附属演習林OB				1	1	演習林視察	
16	5	1	広島大・国際協力研究科			1		1	岩魚沢保存林の見学	
17	5	4	北大・森林管理保全学研究室	1	18			19	大学院実習(森林管理学特論)	セミナー
18	5	3	東大・農・附属演習林OB				1	1	演習林視察	
19	5	2	統計数理研究所	1				1	北海道演習林の現地検討と研究打ち合わせ	山部寄宿舍
20	5	4	吉本事業所				6	6	林内視察	
21	5	8	東大・農・附属演習林OB				1	1	演習林視察	
22	6	1	日立建機				2	2	施設見学	
23	6	3	教育学部附属中等教育学校	1				1	宿泊研修打ち合わせ及び視察	山部寄宿舍
24	6	1	富良野市山部寿光園				10	10	施設見学	
25	6	1	富良野市障害者友の会				20	20	演習林見学	
26	6	2	専修大・北海道短期大	1				1	北海道演習林の攪乱履歴と主要樹種の成長反応	山部寄宿舍
27	6	3	東大・農・森林科学専攻	1				1	森林政策学演習の下見	山部寄宿舍
28	6	1	自然保護協会				2	2	施設見学	
29	6	1	帯広畜産大・畜産科学科	1	1	1		3	アカエゾマツ・エゾマツ・トドマツ苗畑における外生菌根菌の定着と機能 研究のための試料採取	
30	6	1	東大・農・附属演習林北海道演習林職員				4	4	林内見学	

	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
31	6	2	サントリー株式会社				2	2	研究計画打ち合わせ	山部寄宿舍
32	6	2	一橋大・経済研究科	1				1	北方森林・林業見学	山部寄宿舍
33	6	3	東大・附属演習林OB				3	3	林内観察	
34	6	1	東大・農・附属演習林研究部	1				1	北海道演習林における研究課題の総合見学	山部寄宿舍
35	6	2	奈良女子大・文・地域環境学	2	18			20	「地域環境学巡検」の中で演習林見学	セミナー
36	6	2	学習研究社				2	2	週間日本の樹木 取材	
37	6	2	富良野市学習センター				160	160	自然観察会	
38	6	1	富良野市				22	22	社会科教諭の施設見学研修	
39	6	1	富良野市				20	20	理科教諭の施設見学研修	
40	6	2	東大・農学部	7				7	視察及び調印式	
41	6	2	(株)エクス				3	3	里親看板設置	山部寄宿舍
42	6	18	リュブリャナ大学				1	1	天然林施業における森林基盤整備と評価に関する研究	長期滞在宿舎
43	6	6	京都大・情報学研究科	1				1	天然林施業における森林基盤整備と評価に関する研究	長期滞在宿舎
44	6	1	帯広市野草園運営委員会				12	12	植物観察と森林資料館見学	
45	6	1	専修大・北海道短期大	1				1	北海道演習林の攪乱履歴と主要樹種の成長反応	
46	7	2	東大・農学部	2				2	演習林視察	山部寄宿舍
47	7	2	東大・農学部	1			3	4	演習林視察	山部寄宿舍
48	7	2	東大・教養学部・演習林長	5				5	教養学部新カリキュラムに係る演習林視察	
49	7	1	滝川高等技術専門学院				21	21	針葉樹と広葉樹の育て方と建築資材との関わりについて	
50	7	4	聖徳大学	1				1	自然観察	山部寄宿舍
51	7	4	教育学部附属中等教育学校	3	28			31	宿泊研修	セミナー
52	7	1	帯広畜産大・畜産科学科	1	1	1		3	アカエゾマツ・エゾマツ・トドマツ苗畑における外生菌根菌の定着と機能 研究のための試料採取	
53	7	1	迪くさの会(森林文化勉強会)				6	6	林分施業法についての演習林での研究実践	
54	7	2	北大・造林学研究室			2		2	更新初期段階のエゾマツの動態に光りと根圏環境としての倒木が与える影響	セミナー
55	7	5	岐阜大・森林分子生態学研究室				1	1	ヤチダモとハンノキの分布様式調査	長期滞在宿舎
56	7	1	大同商事				2	2	エゾシカ等食害防止「バークガード」試験設置箇所経過観察	
57	7	1	北海道林務部網走西森づくりセンター				1	1	演習林絵葉書の撮影	
58	7	2	北海道林産試験場				2	2	森林資源調査データ解析事業	山部寄宿舍
59	7	1	上川南部森づくりセンター				25	25	林業後継者育成事業による林業教室	
60	7	1	静岡地区林業研究協議会				11	11	森林生態系の保全に配慮された森林の調査 新しい森林環境ビジネスの模索	
61	7	1	長野県林業大学校	2	18			20	林分施業法の学習	

	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
62	7	1	北大・理学研究科	8				8	路頭の観察	
63	7	2	積水化学工業株式会社				10	10	林内研修・視察	セミナー
64	7	2	積水化学工業株式会社				3	3	林内研修・視察	セミナー
65	7	5	大阪女子大・理学部	1	13	1		15	「環境生物科学実験Ⅰ」における野外実習	セミナー
66	7	2	東大・農・附属演習林研究部	1				1	水系調査	長期滞在宿舎
67	7	6	東大・農・附属愛知演習林	1				1	水系調査	山部寄宿舍
68	7	8	東大・農・森林動物学研究室	2		3		5	水系調査	山部寄宿舍
69	7	6	北大・工・環境保全システム工学	1	1	1		3	水系調査	山部寄宿舍
70	7	6	旭川西高等学校				1	1	水系調査	山部寄宿舍
71	7	2	東大・事務局財務分析室・財務部・農学部	7				7	事務打合及び施設視察	山部寄宿舍
72	7	1	帯広畜産大・食料生産科学	2	22			24	天然林, 森林の利用方法, 樹種と材質に関する視察	
73	7	2	東大・農・附属演習林愛知演習林				1	1	水文気象観測メンテナンス	山部寄宿舍
74	7	1	王子古紙パルプセンター				3	3	天然林施業見学	
75	7	2	北大・造林学研究室		1	2		3	更新初期段階のエゾマツの動態に光と根圏環境としての倒木が与える影響	長期滞在宿舎
76	7	9	東大・農・森林科学専攻	5	38			43	森林動物学実験・森林政策学演習	セミナー
77	8	1	専修大・北海道短期大	1				1	北海道演習林の攪乱履歴と主要樹種の成長反応	
78	8	1	NPO新山川草木を育てる集い				20	20	演習林見学	
79	8	1	森林施業研究会	1			1	2	亜寒帯林における天然林施業のためのエゾマツ・トドマツの更新戦略	
80	8	3	東大・農・農学国際専攻			3		3	演習林見学	長期滞在宿舎
81	8	1	東京農業大	2				2	林地見学及び土壌, 植物資料(イワヒバ科)採取	
82	8	1	森林施業研究会				1	1	亜寒帯林における天然林施業のためのエゾマツ・トドマツの更新戦略	
83	8	18	東大・農・森圏管理学研究室			1		1	北海道演習林におけるトドマツ天然林の遺伝的多様性と施業がそれに与える影響の解明	長期滞在宿舎
84	8	18	東大・農・森圏管理学研究室			1		1	孤立天然林分におけるミズナラの遺伝子流動	長期滞在宿舎
85	8	3	宮内庁				4	4	演習林視察	山部寄宿舍
86	8	3	皇宮警察本部				5	5	演習林視察	山部寄宿舍
87	8	3	副学長	1				1	演習林視察	山部寄宿舍
88	8	3	宮内庁				3	3	演習林視察	山部寄宿舍
89	8	3	視察随員				1	1	演習林視察	山部寄宿舍
90	8	1	帯広畜産大	1	3			4	アカエゾマツ・エゾマツ・トドマツ苗畑における外生菌根菌の定着と機能 研究のための試料採取	
91	8	1	刈谷市立富士松中学校				4	4	演習林見学	
92	8	11	東大・農・生圏システム学専攻			1		1	ウダイカンバ集団の遺伝的多様性の維持機構の解明	長期滞在宿舎
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設

93	8	2	統計数理研究所	1				1	ヤチダモのジーンフロー解析に関する研究打ち合わせ	山部寄宿舍
94	8	2	衆議院議員				2	2	演習林見学	山部寄宿舍
95	8	1	帯広畜産大	1	2			3	アカエゾマツ・エゾマツ・トドマツ苗畑における外生菌根菌の定着と機能 研究のための試料採取	
96	8	1	北海道立林業試験場				2	2	森林資源調査データ解析事業	
97	8	6	東大・新領域創成科学研究科	1			3	4	大面積長期観測プロット内の樹木の位置測量, 前山保存林内のクロエゾマツの針葉及び落下球果採取, 樹木園内のクロエゾマツ×アカエゾマツ雑種, シロエゾマツの針葉採取	長期滞在宿舎
98	8	1	林木育種センター北海道育種場				3	3	北海道演習林における天然林施業と林木育種研究の現地検討打ち合わせ	
99	8	1	北海道立林業試験場				2	2	森林資源調査データ解析事業	
100	8	1	森林施業研究会				1	1	亜寒帯林における天然林施業のためのエゾマツ・トドマツの更新戦略	
101	8	1	十勝中央森林組合				20	20	演習林視察	
102	8	2	東京都立大・理学研究科			1		1	幹線防風林における森林調査簿などの資料閲覧	長期滞在宿舎
103	8	2	森林インストラクター				23	23	森林インストラクター野外実習	セミナー
104	8	1	上川南部森づくりセンター				9	9	演習林視察	
105	9	3	東大・農学部	1				1	入札立会及び視察	山部寄宿舍
106	9	3	東大・施設部	6				6	入札	
107	9	2	鳥取大・農学部	1	6			7	演習林視察	セミナー
108	9	2	日大・生物資源科学部	2			3	5	演習林視察	セミナー
109	9	3	東大・農・附属演習林OB				1	1	演習林観察	
110	9	18	東大・農・附属演習林OB				1	1	グイマツの球果採取	
111	9	1	福岡県立魁誠高等学校	1			9	10	体験学習	
112	9	2	東大・施設部	1				1	森林の勉強会	山部寄宿舍
113	9	1	日本森林技術協会				9	9	演習林視察	
114	9	1	瀬音の森				15	15	森林の勉強会	
115	9	1	平取町教育委員会				30	30	アイヌ文化環境保全対策調査の研修	
116	9	3	東大・農・林政学研究室			1		1	演習林の社会教育的利用の実態調査	長期滞在宿舎
117	9	23	東大・農・附属演習林OB				1	1	演習林観察	
118	9	40	富良野市生涯学習センター				6	6	神社山散策路整備作業	
119	9	2	北海道立林業試験場				3	3	森林資源調査データ解析事業	山部寄宿舍
120	9	1	東京農業大・生物生産学部	5	21			26	植物資源・生産管理学	
121	9	1	帯広畜産大	1	3	1		5	アカエゾマツ・エゾマツ・トドマツ苗畑における外生菌根菌の定着と機能 研究のための試料採取	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
122	9	2	東大・施設部	2				2	樹木園屋外灌水管改修工事作業打ち合わせ	山部寄宿舍

123	9	2	北海道大・森林化学研究室			1		1	エゾマツに対する樹皮嗜好性試験	長期滞在宿舎
124	9	2	日本樹木医会	1			19	20	日本樹木医会北海道支部研修会	セミナー
125	9	1	旭川市環境部				15	15	自然環境や森林の保全等に関する学習	
126	9	5	東大・農・生圏システム学専攻			1		1	ウダイカンバ集団の遺伝的多様性の維持機構の解明	山部寄宿舍
127	9	3	菌類懇話会	1			4	5	地下に子実態を形成するきのこ(地下生菌)のフロアの調査	山部寄宿舍
128	9	2	東京農業大・環境経済学	1	9			10	演習林視察	セミナー
129	9	1	帯広畜産大・環境総合科学	1	1	1		3	チシマザザ稈の寿命測定	
130	9	1	東山公民館				20	20	ことぶき大学東山校特別学習「きのこの学習」	
131	9	1	長野県南安曇農業高等学校	2			42	44	高校生の自然学習(森林の生態系について学ぶ)	
132	9	3	東大・農・森林植物学研究室	1		1		2	五葉松類のマツ材線虫病抵抗性に関する研究	山部寄宿舍
133	9	1	東大・農・附属演習林OB				1	1	演習林観察	
134	9	2	北海道林木育種協会				100	100	北海道演習林における天然林施業と林木育種研究の現地検討	
135	9	2	青森市				2	2	演習林視察	山部寄宿舍
136	9	3	吉本事業所				1	1	演習林見学	
137	9	2	積水化学工業株式会社				17	17	環境教育研修「積水化学自然塾」	セミナー
138	9	2	台湾大学	1			1	2	造林事業視察	山部寄宿舍
139	9	1	富良野市生涯学習センター				20	20	ことぶき大学山部校「森林学習」	
140	9	1	東大・農・附属演習林OB				13	13	演習林視察	
141	9	2	富良野市労連自治研推進委員会				16	16	演習林見学	セミナー
142	9	1	富良野市生涯学習センター				8	8	前山保存林内における花粉分析調査	
143	9	2	山部・東山・麓郷地区子ども会	6			53	59	子ども自然塾	
144	9	3	北海道大・経済学部	2		1		3	富良野地方農林業の歴史と現状を学ぶ	セミナー
145	9	1	北海道帯広農業高等学校	2			41	43	宿泊研修	
146	9	1	東大・教養学部		12			12	演習林見学	長期滞在宿舎
147	9	4	東大・農・附属演習林北海道演習林	5			16	21	教養学部総合科目D集中講義	セミナー
148	9	1	富良野市東山保育所				30	30	東山保育所 小遠足	
149	10	1	タマクラブト				2	2	家具用国産広葉樹林の研究	
150	10	1	秋田県立大学	6			1	7	北海道演習林の育種施設等見学	
151	10	4	岐阜大	1				1	山火事後の植生回復に関する研究	山部寄宿舍
152	10	1	帯広畜産大	1	2	1		4	アカエゾマツ・エゾマツ・トドマツ苗畑における外生菌根菌の定着と機能 研究のための試料採取	
153	10	1	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	2			28	30	研究体験旅行における研修・見学	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
154	10	1	東大・農・附属演習林千葉演習林	1			9	10	植栽地及び林分施業法見学	
155	10	1	司法修習生(東大OB)	3		1	3	7	植樹したアカエゾマツの視察	

156	10	2	北海道立水産ふ化場				2	2	倒木が水生生物に与える影響の調査	
157	10	2	統計数理研究所	1				1	ヤチダモのジーンフロー解析に関する研究打ち合わせ	山部寄宿舍
158	10	1	富良野地区林業振興協議会				15	15	演習林視察	
159	10	1	竹内木材工業合資会社	5			3	8	苗畑での播種作業見学	
160	10	1	北海道立林産試験場				24	24	演習林視察	
161	10	1	富良野市生涯学習センター				40	40	自然観察会	
162	10	2	吉本事業所				2	2	演習林視察	
163	10	2	森林施業研究会				1	1	亜寒帯林における天然林施業のためのエゾマツ・トドマツの更新戦略	山部寄宿舍
164	10	1	北海道立林産試験場				1	1	森林資源調査データ地理解析事業	
165	10	3	東大・農・附属演習林千葉演習林	1				1	大型作業機械等の安全作業マニュアル作成のための資料収集	山部寄宿舍
166	10	1	上川南部森づくりセンター				8	8	森林計画編入に係る演習林視察	
167	10	3	(株)きんばら				2	2	銘木生産の視察	山部寄宿舍
168	10	1	帯広畜産大学	1	3			4	ベニバナイチヤクソウ種子分散と発芽成育過程の解明のための調査研究	
169	10	2	サントリー株式会社				4	4	サントリー東京広報部の取材	山部寄宿舍
170	11	1	専修大・北海道短期大	1				1	北海道演習林の攪乱履歴と主要樹種の成長反応	
171	11	9	東大・農・生圏システム学専攻			1		1	ウダイカンバ集団の遺伝的多様性の維持機構の解明	長期滞在宿舎
172	11	2	東大・農・附属演習林北海道演習林	23				23	北海道地方演習林協議会	セミナー
173	11	2	サントリー株式会社				4	4	ミズナラ施業計画研究打ち合わせ	山部寄宿舍
174	11	2	吉本事業所				4	4	演習林視察	
175	11	1	北海道立林産試験場				3	3	森林資源調査データ地理解析事業	
176	11	1	北海道立林産試験場				3	3	森林資源調査データ地理解析事業	
177	11	1	名古屋大	1	1			2	森林昆虫(キクイムシ類など)の採取	
178	11	128	東大・農・附属演習林北海道演習林				1	1	北方林, 天然林施業資料による国有林施業の研究	
179	11	2	東大・農・経理課	1				1	附属施設会計監査	山部寄宿舍
180	11	128	東大・農・北海道演習林				1	1	北方林, 天然林施業資料による国有林施業の研究	長期滞在宿舎
181	11	2	東大・施設部	3				3	樹木園屋外灌水管改修工事竣工検査	山部寄宿舍
182	12	2	北大・農・森林科学		1	1		2	サンプルの採取	長期滞在宿舎
183	1	2	里親				1	1	演習林視察	
184	1	2	(株)きんばら				1	1	森林資料館見学・打ち合わせ	山部寄宿舍
185	2	2	旭川市				1	1	チェンソー講習会	山部寄宿舍
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
186	2	1	統計数理研究所	1				1	ヤチダモのジーンフロー解析に関する研究打ち合わせ	
187	2	8	広島大・国際協力研究科				1	1	岩魚沢保存林におけるカツラの遺伝解析	長期滞在宿舎

188	2	36	北大・森林科学研究室		1	1		2	カンバとオヒョウとハンゴウソウのそれぞれの抽出成分に対するエゾシカの嗜好性	長期滞在宿舎
189	2	2	丸順重工業株式会社				1	1	愛知演習林新居試験地杉枯処理対策打ち合わせ	山部寄宿舎
190	2	3	東大・農学部	1				1	演習林視察	山部寄宿舎
191	2	2	東大・農学部	1				1	演習林視察	山部寄宿舎
192	3	4	浜松市				3	3	演習林見学	山部寄宿舎
193	3	13	東大・農・森圏管理学研究室				1	1	東京大学北海道演習林におけるトドマツ天然林の遺伝的多様性と施業がそれと与える影響の解明	長期滞在宿舎
194	3	1	富良野市生涯学習センター				40	40	自然観察会(神社山)	
195	3	1	麓郷ラングラウフ実行委員会				600	600	麓郷ラングラウフ	
196	3	15	東大・農・森林遺伝子科学研究室				1	1	ヤチダモとハンノキの分布様式調査	長期滞在宿舎
197	3	1	広島県光市				2	2	演習林見学	
198	3	2	森林総合研究所				1	1	忌避剤によるヤツバキクイムシ被害予防試験地の設定	山部寄宿舎
199	3	2	東大・農・森圏管理学研究室				1	1	東京大学北海道演習林におけるトドマツ天然林の遺伝的多様性と施業がそれと与える影響の解明	長期滞在宿舎
200	3	2	東大・農・附属演習林研究部			5		5	演習林観察	山部寄宿舎

秩父演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林	1			25	26	炭焼きガマ見学	
2	4	4	東大・農・造林学研究室	2	5	5		12	森林土壌学実験	川俣学生宿舎泊
3	4	1	東大・農・森圏管理学 研究室	1	1			2	ウダイカンバのフェノロジー調査	
4	4	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1	1			2	修論研究調査、サイバーフォレスト情報 収集	秩父事務所泊
5	4	1	埼玉県農林総合研究 センター 森林支所	2				2	溪畔林の復元・造成技術の開発	
6	4	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				2	2	H16.サポーター講習 第1回	
7	4	3	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
8	4	1	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	サイバーフォレスト情報収集、実習下見	
9	4	4	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
10	4	1	埼玉県農林総合研究 センター 森林支所	3				3	溪畔林の復元・造成技術の開発	
11	4	2	環境を考える会				1	1	奥秩父における希少植物調査	
12	4	2	東大・工学部研究科	3	4	2		9	ニッチツ鉱山周辺の地質調査	川俣学生宿舎泊
13	4	1	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	6	36		1	43	自然環境野外総合実習	
14	4	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				2	2	秩父演習林自由公開日	
15	4	1	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	調査	
16	4	6	東大・農・森林利用学 研究室	1	2		1	4	機械集材作業の現地調査	川俣学生宿舎泊
17	4	2	東大・農・森林動物学 研究室				1	1	溪流内の水理環境と生物群集の関 係の研究	川俣自炊宿舎
18	4	1	百年の森				2	2	産地別ブナの見学	
19	4	1	東大・農・森林利用学 研究室	1				1	森林土壌学実習下見	
20	4	3	東大・農・森林利用学 研究室	1	2		1	4	機械集材作業の現地調査	川俣学生宿舎泊
21	4	1	東大・新領域・環境学 専攻		2			2	シオジの垂直分布と土壌水分の関 係	
22	4	1	東大・農・森圏管理学 研究室	2	1			3	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
23	4	2	森林総合研究所 多摩森林科学園		1		1	2	日本産トウヒ属樹木の種内および種 間の遺伝的変異の解明	川俣学生宿舎泊
24	4	1	東大・農・森林動物学 研究室		2			2	調査	
25	4	1	荒川水系溪流保存会	1			3	4	荒川源流域の 自然環境学習会	
26	4	2	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	コンテナハウス泊
27	5	4	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
28	5	1	埼玉県自然史博物館				7	7	共催事業「奥秩父新緑トレッキング」 現地下見	
29	5	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1	2			3	自然環境学研究 2、 サイバーフォレスト情報収集	秩父事務所泊
30	5	1	東大・農・国際開発農 学専修	1	1	1		3	孤立天然林におけるミズナラの遺 伝子流動	
31	5	2	埼玉県農林総合研究 センター 森林支所	2				2	溪畔林の復元・造成技術の開発	
32	5	1	東大・農・附属秩父演 習林				2	2	H.16 大学開放事業 第1回	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
33	5	1	荒川水系溪流保存会	1			2	3	荒川流域の自然環境学習会	
34	5	2	東大・農・森林利用学研究室	1				1	森林土木学実習	川俣学生宿舎泊
35	5	4	東大・農・森林利用学研究室	1	1	3		5	森林土木学実習	川俣学生宿舎泊
36	5	1	東大・農・森林植物学研究室			1		1	日本産ナラタケの病原性発現機構の解明	
37	5	3	環境を考える会				1	1	奥秩父における希少植物調査	
38	5	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室		1			1	オフマイク録音による鳥類センサスへの応用方法とその検討	コンテナ泊
39	5	2	宇都宮大学農学部森林科学科	1		8	1	10	イヌブナ・ブナ天然林の動態調査	川俣学生宿舎泊
40	5	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室	3	2		1	6	自然環境学研究 2、サイバーフォレスト情報収集	川俣学生宿舎泊
41	5	3	東大・農・森林動物学研究室		2			2	長期プロットにおける飛翔性昆虫相の調査	川俣学生宿舎泊
42	5	1	東大・農・森林動物学研究室		1			1	調査	
43	5	1	百年の森				5	5	森林観察	
44	5	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				18	18	公開講座 奥秩父のブナ林を学ぼう	
45	5	3	妻沼高等学校教諭	38			136	174	埼玉県高等学校総合体育登山大会	
46	5	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				7	7	秩父演習林自由見学日	
47	5	4	東大・農・森林動物学研究室		1			1	調査	川俣自炊泊
48	5	1	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1	1			2	自然環境学研究 2、サイバーフォレスト情報収集	
49	5	3	独立行政法人 国立環境研究所	1			1	2	秩父山系森林土壌の土壌有機物集積量とその形態の変遷について	民泊泊
50	5	2	荒川水系溪流保存会	1			2	3	荒川流域の自然環境学習会	山小屋泊
51	5	1	埼玉県自然史博物館				81	81	共催事業「奥秩父新緑トレッキング」	
52	5	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				1	1	秩父演習林自由見学日	
53	5	1	日本山岳会 自然保護委員会				27	27	植物研修	
54	5	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				15	15	H16.サポーター講習 第2回	
55	5	2	東大・農・森園管理学研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期森林生態研究	コンテナ泊
56	5	3	東大・新領域・生物圏情報学研究室		1			1	オフマイク録音による鳥類センサスへの応用方法とその検討	コンテナ泊
57	5	5	東大・農・森林動物学研究室		1			1	調査	川俣自炊泊
58	5	3	東大・農・国際開発農学専修		2	1		3	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	川俣学生宿舎泊
59	5	2	東大・農・国際開発農学専修		1	1		2	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	川俣学生宿舎泊
60	5	1	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1				1	サイバーフォレスト研究	
61	5	1	環境省 環境カウンセラー				8	8	林地見学	
62	5	1	財団法人 山階鳥類研究所				2	2	調査地の下見	
63	5	3	筑波大学大学院 生命環境科学研究科		3			3	温暖化に伴う土壌圏溶存有機物の動態と森林生態系変化予測	民泊泊
64	6	4	東大・新領域・生物圏情報学研究室		1			1	オフマイク録音による鳥類センサスへの応用方法とその検討	コンテナ泊
65	6	4	東大・農・森林動物学研究室		1			1	調査	川俣自炊泊

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
66	6	2	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	長期プロットにおける飛翔性昆虫相 の調査	川俣自炊泊
67	6	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				17	17	H16.サポーター講習 第3回	
68	6	6	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	コンテナ泊
69	6	5	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
70	6	1	東大・農・国際開発農 学専修		1	1		2	孤立天然林におけるミズナラの遺 伝子流動	
71	6	3	東大・農・生物多様性 科学研究室	1	1			2	2つのスケールにおいてサグモ類が 造網に必要な足場量から受ける影 響	川俣学生宿舎泊
72	6	2	環境を考える会				1	1	奥秩父における希少植物調査	
73	6	3	東大・農・森林動物学 研究室				1	1	溪流内の水理環境と生物群集の関 係の研究	川俣学生宿舎泊
74	6	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1	1			2	自然環境学研究 2、 サイバーフォレスト情報収集	
75	6	3	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	調査	川俣自炊泊
76	6	2	東大・農・附属演習林 研究部	2				2	科研気温観測の現地打合せ	川俣自炊泊
77	6	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				9	9	秩父演習林自由見学日	
78	6	2	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	長期プロットにおける飛翔性昆虫相 の調査	川俣自炊泊
79	6	3	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性と そのメカニズム	川俣自炊泊
80	6	1	埼玉県農林総合研究 センター 森林支所	2				2	溪畔林の復元・造成技術の開発	
81	6	3	独立行政法人 国立環 境研究所	1			1	2	秩父山系森林土壌の土壌有機物 集積量とその形態の変遷について	民宿泊
82	6	1	東大・農・国際開発農 学専修		1	1		2	孤立天然林におけるミズナラの遺 伝子流動	
83	6	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1	1			2	炭焼き見学	大血川作業所泊
84	6	3	東大・新領域・生物圏 情報学研究室		1			1	オフマイク録音による鳥類センサ スへの応用方法とその検討	コンテナ泊
85	6	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				11	11	H16.サポーター講習 第3回	
86	6	2	東大・農・国際開発農 学専修		1	1		2	孤立天然林におけるミズナラの遺 伝子流動	川俣学生宿舎泊
87	6	1	大滝村立 大滝中 学校	12			30	42	荒川源流域における自然環境の現 地研究	
88	6	4	東邦大学理学部	1		17		18	学生実習	川俣学生宿舎泊
89	7	8	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
90	7	1	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性と そのメカニズム	
91	7	1	荒川水系溪流保存会	1			7	8	荒川源流域の 自然環境学習会	
92	7	2	環境を考える会				1	1	奥秩父における希少植物調査	
93	7	1	立正大学地球環境科 学部 衛生地球工学研 究室		1			1	ブナの葉の採取	
94	7	3	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
95	7	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				16	16	H16.サポーター講習 第5回	
96	7	2	埼玉県農林総合研究 センター 森林支所	2				2	溪畔林の復元・造成技術の開発	
97	7	1	埼玉森林インストラ クター会				17	17	樹木園および原生林観察	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
98	7	2	東大・農・生物環境工学専攻	2		18		20	見学	川俣学生宿舎泊
99	7	2	東大・農・国際開発農学専修		2	1		3	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	川俣学生宿舎泊
100	7	1	東大・農・森林動物学研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性とそのメカニズム	
101	7	1	東大・農・森圏管理学研究室	3				3	フィールド科学総合演習(森圏管理学)下見、オノオレカンバ・サンプリング	川俣自炊泊
102	7	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				4	4	秩父演習林自由見学日	
103	7	3	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	環境変化に伴う地表徘徊性昆虫群集のモニタリング調査	川俣自炊泊
104	7	3	東大・農・森林植物学研究室	1				1	森林植物学実験 野外実習	川俣自炊泊
105	7	4	東大・農・森林植物学研究室		4	22		26	森林植物学実験 野外実習	川俣学生宿舎泊
106	7	4	東大・農・森林植物学研究室	1				1	森林植物学実験 野外実習	川俣自炊泊
107	7	2	東大・農・国際開発農学専修	1	2	1		4	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	川俣学生宿舎泊
108	7	1	東大・農・造林学研究室	1			1	2	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の菌根感染経路の解明	
109	7	2	埼玉県立秩父農工農工高等学校	2			40	42	樹木採集実習	
110	7	1	東大・農・国際開発農学専修	1	2	1		4	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	川俣学生宿舎泊
111	7	4	東大・農・森圏管理学研究室	2	4			6	フィールド科学総合演習(森圏管理学)下見、オノオレカンバ・サンプリング	川俣自炊泊
112	7	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1	2			3	生物環境学実習・環境動物学実習の準備、24時間録音データ収集	川俣自炊泊
113	7	2	東大・新領域創成科学研究科	4	18			22	生物環境学実習・環境動物学実習	民泊
114	7	1	東大・総合文化研究科 生命環境科学系	1			1	2	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の菌根感染経路の解明	
115	8	1	東大・農・造林学研究室	1			1	2	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の菌根感染経路の解明	
116	8	4	独立行政法人 国立環境研究所	1			1	2	秩父山系森林土壌の土壌有機物集積量とその形態の変遷について	民泊
117	8	4	立教大学	5	2	37	5	49	学芸員課程 野外実習	川俣学生宿舎泊
118	8	1	東大・新領域・生物圏情報学研究室		1		1	2	秩父演習林亜高山帯風倒跡地の植生の再生過程に関する研究	
119	8	5	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1				1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
120	8	1	東大農・附属演習林研究部	2				2	秩父演習林の森林観察	
121	8	1	環境を考える会				1	1	奥秩父における希少植物調査	
122	8	2	東大・農・附属演習林秩父演習林				2	2	地域開放企画 第2回	川俣学生宿舎泊
123	8	1	東大・農・造林学研究室				1	1	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の菌根感染経路の解明	
124	8	2	東大・農・森圏管理学研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	コンテナ泊
125	8	3	宇都宮大学農学部 森林科学科	1		3		4	イヌナヅク天然林の動態調査区における20年間(1984-2004)の動態	山小屋泊
126	8	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				15	15	秩父演習林 自由見学日	川俣学生宿舎泊
127	8	1	東大・農・森圏管理学研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
128	8	3	共栄学園中学校・高等学校	2			4	6	演習林を利用した自然体験学習	川俣学生宿舎泊
129	8	4	東京都立大学 理学研究科 自然史科学講座	2		9		11	動物統計学野外実習	川俣学生宿舎泊

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
130	8	1	埼玉昆虫談話会				2	2	入川林道における蛾及びカミキリの観察	
131	8	3	宇都宮大学農学部 森林科学科	1		3		4	オスダケ・ブナ天然林の動態調査 区における20年間(1984-2004)の動態	川俣学生宿舎泊
132	8	1	東京都立 隅田川高等学校	4			14	18	生物実習	
133	8	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林	2			34	36	秩父演習林・大滝げんきブラザ共 催事業「源流の散策と水棲昆虫観 察・採集」	げんきブラザ泊
134	8	5	宇都宮大学農学部 森林科学科			4		4	オスダケ・ブナ天然林の動態調査 区における20年間(1984-2004)の動態	川俣自炊泊
135	8	1	東大・農・造林学研究室				1	1	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の 菌根感染経路の解明	
136	8	2	本学教育学部附属 中 等教育学校	2			13	15	夏季教室	川俣学生宿舎泊
137	8	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	2				2	ブナ林内の景観と環境情報の定時 伝送蓄積によるインターネット環境	川俣学生宿舎泊
138	8	4	宇都宮大学農学部 森林科学科			5		5	オスダケ・ブナ天然林の動態調査 区における20年間(1984-2004)の動態	川俣自炊泊
139	8	2	本学大学院 総合文化 研究科		7	4		11	研修	川俣学生宿舎泊
140	8	1	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	秩父山地のウダイカンバ遺伝的多 様性解析	
141	8	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林	2			34	36	サポーター養成講座 「森林生態系」	
142	9	4	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
143	9	8	東大・農・森圏管理学 研究室		1			1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
144	9	1	東大・農・森圏管理学 研究室		1			1	供試用ミズナラ種子採種の下見	
145	9	2	東大・農・造林学研究室				1	1	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の 菌根感染経路の解明	
146	9	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				2	2	大学開放企画 第3回	川俣学生宿舎泊
147	9	2	環境を考える会				1	1	奥秩父における希少植物調査	
148	9	4	立正大学 地球環境学 部			26	2	28	学生実習	川俣学生宿舎泊
149	9	5	自然環境研究セン ター				16	16	JICA研修「アフリカ地域野生生物保 護管理」コースの実習地として利用	
150	9	1	附属演習林秩父演習 林OB				6	6	樹木園見学	
151	9	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1	2			3	ブナ林内の景観と環境情報の定時 伝送蓄積によるインターネット環境	コンテナ泊
152	9	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				11	11	サポーター養成講座 「育林」	
153	9	1	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	溪畔林構成樹シオジの分布と水分 環境に関する研究	
154	9	2	埼玉県農林総合研究 センター 森林支所	2				2	溪畔林の復元・造成技術の開発	
155	9	1	東大・農・森圏管理学 研究室		1	1		2	ウダイカンバの樹上種子採種	
156	9	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	秩父演習林亜高山帯風倒跡地の 植生の再生過程に関する研究	山小屋泊
157	9	3	東大・新領域・生物圏 情報学研究室		2		1	3	秩父演習林亜高山帯風倒跡地の 植生の再生過程に関する研究	山小屋泊
158	9	3	宇都宮大学農学部 森林科学科			1		1	オスダケ・ブナ天然林の動態調査 区における20年間(1984-2004)の動態	川俣自炊泊
159	9	3	宇都宮大学農学部 森林科学科			1		1	オスダケ・ブナ天然林の動態調査 区における20年間(1984-2004)の動態	川俣自炊泊
160	9	6	宇都宮大学農学部 森林科学科			1		1	オスダケ・ブナ天然林の動態調査 区における20年間(1984-2004)の動態	川俣自炊泊
161	9	1	東大・農・森圏管理学 研究室		1	1		2	ワサビ沢周辺のウダイカンバの結実 の観察	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
162	9	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1	2			3	大面積プロットレーザーコンパス測量、自然環境学研究2	川俣自炊泊
163	9	1	秩父演習林サポーター「しおじの会」				26	26	樹木および菌類の勉強会	
164	9	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				7	7	自由見学日	
165	9	2	自然環境研究センター				1	1	モニタリング1000森林環境サイトの調査	川俣学生宿舎泊
166	9	1	東大・農・森圏管理学研究室		1	1		2	秩父山地のウダイカンバ遺伝的多様性解析	
167	9	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1	1			2	大面積プロット環境音録音、自然環境学研究2ほか	コンテナ泊
168	9	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1	2			3	大面積プロット調査、環境音録音、映像データ収集	川俣学生宿舎泊
169	9	3	東大・農・森圏管理学研究室		1	1		2	秩父山地のウダイカンバ遺伝的多様性解析、ミズナラの遺伝子流動	川俣自炊泊
170	9	2	東大・農・森林動物学研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性とそのメカニズム	
171	9	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット環境学習データの作成、林内景観情報収集	秩父事務所泊
172	10	1	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット環境学習データの作成、林内景観情報収集	秩父事務所泊
173	10	1	東大・新領域・生物圏情報学研究室		1			1	溪畔林構成樹シオジの分布と水分環境に関する研究	
174	10	1	百年の森				15	15	「荒川源流をたずねて」	
175	10	1	マックビューロー				1	1	ハイキング下見	
176	10	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				15	15	サポーター養成講座「森林の公益的機能」	
177	10	1	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1				1	サイバーフォレストデータ収集、定時伝送蓄積によるインターネット環境学習データの作成	
178	10	1	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	ウダイカンバの採取	
179	10	2	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	ウダイカンバの採取	川俣自炊泊
180	10	1	東大・新領域・生物圏情報学研究室		3			3	秩父演習林亜高山帯風倒跡地の植生の再生過程に関する研究	
181	10	2	東大・農・森圏管理学研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
182	10	1	東大・農・森林動物学研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性とそのメカニズム	
183	10	1	東大・新領域・生物圏情報学研究室		1			1	溪畔林構成樹シオジの分布と水分環境に関する研究	
184	10	3	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
185	10	2	宇都宮大学農学部森林科学科			1		1	イヌナヅク天然林の動態調査区における20年間(1984-2004)の動態	川俣自炊泊
186	10	6	宇都宮大学農学部森林科学科			1		1	イヌナヅク天然林の動態調査区における20年間(1984-2004)の動態	川俣自炊泊
187	10	2	環境を考える会				1	1	奥秩父における希少植物調査	
188	10	12	独立行政法人 水資源機構 荒川ダム総合事務所 第二調査設計課				10	10	モニタリング調査(ダム事業による環境への影響を調査する)	
189	10	2	東大・農・森林動物学研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性とそのメカニズム	川俣学生宿舎泊
190	10	1	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	秩父山地のウダイカンバ遺伝構造の解明	
191	10	3	東大・農・森圏管理学研究室	1	3			4	野生動物実習	川俣学生宿舎泊
192	10	1	東大・農・附属演習林秩父演習林				6	6	自由見学日	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
193	10	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				7	7	自由見学日	
194	10	2	東大・農・林政学研究室	3	14	3		20	林政学研究室輪読ゼミおよび 演習林見学	
195	10	1	独立行政法人 水資源 機構 荒川ダム総合事 務所 第二調査設計課				5	5	種子採取	
196	10	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				4	4	自由見学日	川俣学生宿舎
197	10	1	秩父演習林サポー ター「しおじの会」				15	15	秩父演習林の森林探索	
198	10	2	東大・農・造林学研究室				1	1	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の 菌根感染経路の解明	川俣自炊泊
199	10	2	東大・農・造林学研究室	1	2		1	4	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の 菌根感染経路の解明	川俣自炊泊
200	10	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				2	2	秩父市立影森中学校 総合的な学 習の時間 校外調査体験学習	
201	10	1	埼玉県農林総合研究 センター 森林支所	2				2	溪畔林の復元・造成技術の開発	
202	10	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成、林内景観 情報収集	コンテナ泊
203	10	3	東大・農・森圏管理学 研究室	1	2		1	4	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	川俣自炊泊
204	10	1	独立行政法人 水資源 機構 荒川ダム総合事 務所 第二調査設計課				5	5	種子採取	
205	10	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				10	10	自由見学日	
206	10	1	独立行政法人 水資源 機構 荒川ダム総合事 務所 第二調査設計課				4	4	種子採取	
207	10	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				17	17	自由見学日	
208	10	1	秩父公共職業安定所 長				10	10	造林地の見学	
209	10	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				9	9	公開講座 「森の木が材木になるまで」	
210	10	1	独立行政法人 水資源 機構 荒川ダム総合事 務所 第二調査設計課				5	5	種子採取	
211	10	1	東大・新領域・生物圏 情報学研究室		2			2	秩父演習林亜高山帯風倒跡地の 植生の再生過程に関する研究	
212	10	4	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性と そのメカニズム	川俣自炊泊
213	10	3	東大・農・森林経理学 研究室	1	4			5	固定測定地の成長調査	川俣学生宿舎泊
214	10	1	環境省 環境カウンセ ラー				20	20	林地見学	
215	10	2	東大・農・森圏管理学 研究室	1			1	2	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	川俣自炊泊
216	10	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				61	61	げんきブラザ共催事業「紅葉のト ロッコ廃止路線を歩く」	
217	10	1	秩父鉄道				150	150	ハイキング	
218	11	1	マックビューロー				45	45	ハイキング	
219	11	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
220	11	2	東大・農・造林学研究室				1	1	外生菌根金菌の寄生範囲と実生の 菌根感染経路の解明	川俣自炊泊
221	11	2	東大・農・森林動物学 研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性と そのメカニズム	川俣自炊泊
222	11	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				10	10	里親企画	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
223	11	8	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
224	11	5	東大・農・森圏管理学研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
225	11	2	東大・農・森林植物学研究室	14				14	平成16年度農学部技術職員総合研修	
226	11	3	東大・農・森圏管理学研究室		1	2		3	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	川俣自炊泊
227	11	2	東大・農・森圏管理学研究室	1				1	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	川俣自炊泊
228	11	2	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	川俣自炊泊
229	11	3	東大・新領域・生物圏情報学研究室	3	3	3		9	駒場全学自由研究ゼミナール「森林のデジタル化とフィールドワーク」	川俣自炊泊
230	11	1	マックビューロー				45	45	ハイキング	
231	11	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				5	5	森林見学	
232	11	1	(社)全日本建築士会 千葉県支部				3	3	木材生産現場の視察と、木材資源と動植物との関りを知る	
233	11	2	(社)全日本建築士会 千葉県支部				6	6	木材生産現場の視察と、木材資源と動植物との関りを知る	川俣学生宿舎泊
234	11	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				11	11	サポーター講習 「森林環境教育」	
235	11	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室		1			1	シオジの垂直分布と土壌水分の関係	
236	11	2	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	ウダイカンバの採取	川俣自炊泊
237	11	2	東大・農・森林動物学研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性と そのメカニズム	川俣自炊泊
238	11	2	東大・農・附属演習林 秩父演習林		2		1	3	モニタリング1000調査	
239	11	2	埼玉県農林総合研究センター 森林支所	2				2	溪畔林の復元・造成技術の開発	
240	11	1	東大・農・森林利用学研究室	1		1		2	卒業論文調査 林道法面について	
241	11	2	東大・農・附属演習林 秩父演習林	4			12	16	公開講座 「冬の昆虫採集」	川俣学生宿舎泊
242	11	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				14	14	自由見学日	
243	11	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
244	11	1	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	ウダイカンバの採取	
245	11	2	東大・農・森圏管理学研究室		1	1		2	ウダイカンバの採取	川俣自炊泊
246	11	2	東大・農・森林動物学研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性と そのメカニズム	川俣自炊泊
247	11	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林	19			4	23	研究部による演習林視察	
248	11	2	東大・農・森林利用学研究室	2	2	1	1	6	林道と大型動物による攪乱に関する調査(卒論)	
249	11	2	東大・新領域・生物圏情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
250	11	2	東大・農・森林動物学研究室		1			1	落葉食水生昆虫の機能的多様性と そのメカニズム	川俣自炊泊
251	11	1	東大・農・森圏管理学研究室		1	1		2	孤立天然林におけるミズナラの遺伝子流動	
252	11	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				4	4	H.16 大学開放企画 第5回	
253	12	2	東大・農・森圏管理学研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
254	12	8	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
255	12	1	埼玉県農林総合研究センター 森林支所	2				2	溪畔林の復元・造成技術の開発	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
256	12	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				8	8	公開講座「竹炭づくり」①	
257	12	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
258	12	1	東大・農・森林利用学 研究室	2	1			3	森林利用基盤としてのモノレールの 機能と配置に関する現地検討	
259	12	1	東大・農・森圏管理学 研究室		1			1	ウダイカンバの採取	
260	12	2	東大・農・農学国際専 攻	1	3		16	20	国際ワークショップのエクスカーショ ン	川俣学生宿舎泊
261	12	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				11	11	サポーター講習 「森林施設の管理・運営」	
262	12	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				6	6	公開講座 「門松・リースづくり」	
263	12	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
264	12	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林	2		70		72	本学教養学部総合科目D	
265	12	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				9	9	公開講座「竹炭づくり」②	
266	12	1	東大・農・森圏管理学 研究室	1	3			4	ヒノキ天然林の遺伝的多様性に関 する研究	
267	12	2	東大・農・附属演習林 秩父演習林	2		22	2	26	本学教養学部総合科目D	川俣学生宿舎泊
268	12	1	東大・農・森圏管理学 研究室		1			1	ウダイカンバ・シードトラップの回収	
269	12	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
270	1	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
271	1	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				10	10	公開講座「竹炭づくり」③	
272	1	1	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
273	1	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				6	6	サポーター講習 「森林における安全管理」	
274	1	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
275	1	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
276	1	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	定時伝送蓄積によるインターネット 環境学習データの作成(科研)	コンテナ泊
277	1	2	信州大学農学部	1	1	5		7	演習林の概要と現地視察 森林調査	
278	1	1	東大・農・森圏管理学 研究室		1			1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
279	1	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				2	2	自由見学日	
280	1	4	東大・農・森圏管理学 研究室		1			1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
281	2	1	足立区 荒川ビクター センター				2	2	事前下見	
282	2	8	東大・農・森圏管理学 研究室		1			1	ウダイカンバのフェノロジー調査	
283	2	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1	4			5	林内景観・環境音情報収集	栃本自炊泊
284	2	1	東大・農・森圏管理学 研究室	1				1	ミズナラの遺伝特性、長期生態系	
285	2	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林				4	4	自由見学日	
286	2	1	元埼玉県菖蒲町立 三 箇小学校 校長				2	2	三箇小の「夢の森」補充用樹木とし てモミ類の分譲	
287	2	4	財団法人 山階鳥類研 究所				2	2	条件的性比較操作に着目したウグ イスの繁殖戦術に関する研究	川俣自炊泊
288	2	2	東大・新領域・生物圏 情報学研究室	1				1	林内景観・環境音情報収集	コンテナ泊

愛知演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	民吉・九州修行200年記念事業実行委員会				35	35	「残心の杉」挿し木体験事業	
2	4	1	岐阜新聞編集局報道部				1	1	蔵治教員研究内容の紹介と現場撮影	
3	4	1	演習林研究部				1	1	業務打ち合わせ	
4	4	1	エコアップリーダー				13	13	エコアップリーダー新人へのエリア紹介	
5	4	1	新居町民				23	23	第2回松林体験教室	
6	4	1	愛知県民				17	17	親子森の科学教室参加	
7	4	1	新居町民				17	17	公開講座「海岸林の不思議」参加	
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	2	2		2	6	犬山研究林25林班における測器設置手伝い	
9	4	1	名古屋大学大学院生命農学研究科		1	2		3	植生回復と降雨流出特性及び土砂流出特性の変化	
10	4	1	愛知県植物誌調査会				13	13	植物観察	
11	5	1	エコアップリーダー				2	2	遊歩道散策	
12	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	1	21	2		24	資源生物環境学実験実習Ⅱにおける測樹学実習実施のため	
13	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
14	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	利用者研究集会	白坂教官学生宿舎
15	5	2	東京農業大学地域環境科学部	1	5	1		7	利用者研究集会	白坂教官学生宿舎
16	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	1		1		2	利用者研究集会	白坂教官学生宿舎
17	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	2		1		3	利用者研究集会	白坂教官学生宿舎
18	5	2	名古屋大学大学院生命農学研究科			2		2	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	白坂教官学生宿舎
19	5	1	三重大学生物資源学部他	1		1		2	利用者研究集会	
20	5	2	東京農工大学農学部	1		1		2	利用者研究集会及び南谷流域での地下水水位変動・犬山ライシメータ表面流出量調査	白坂教官学生宿舎
21	5	1	京都大学防災研究所	1		2		3	研究の可能性を検討するための予備踏査	
22	5	1	瀬戸市の貴重野生植物調査会				7	7	市全域を対象とした貴重野生植物調査	
23	5	1	瀬戸市民他				30	30	第二回親子森の科学教室	
24	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科	1	21	3		25	土壌学実習	
25	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1	2	3	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
26	5	4	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	白坂教官学生宿舎
27	5	1	京都大学防災研究所			1		1	CREST犬山サイトのメンテナンス	
28	5	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			2		2	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	
29	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	2	10	1		13	森林保全学実習	白坂教官学生宿舎
30	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			2		2	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
31	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	
32	6	1	エコアップリーダー				10	10	犬山研究林管理道整備のための下見	
33	6	1	株式会社ケーシーエス中部支社				2	2	「瀬戸地区動物環境調査」の鳥類定点調査のため	
34	6	1	エコアップリーダー				10	10	中島池周辺野鳥観察会(東大演習林犬山作業所内野鳥の食餌植物見本園)	
35	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	
36	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			2		2	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	
37	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復と降雨流出特性及び土砂流出特性の変化	
38	6	2	東京農業大学森林総合科学科		5	1		6	白坂量水堰堤土砂堆積量測定	白坂教官学生宿舎
39	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復と降雨流出特性及び土砂流出特性の変化	
40	6	1	東京農工大学農学部	1				1	白坂南谷流域での地下水位変動調査	
41	6	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復と降雨流出特性及び土砂流出特性の変化	
42	6	2	静岡大学農学部	1	2			3	樹木の根系分布調査(事前調査)	白坂教官学生宿舎
43	6	3	名古屋大学大学院生命農学研究科		2	1		3	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	白坂教官学生宿舎
44	6	3	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復と降雨流出特性及び土砂流出特性の変化	白坂教官学生宿舎
45	6	1	エコアップリーダー				10	10	東大演習林グループ会議	
46	6	8	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	データ収集	白坂教官学生宿舎
47	6	3	東京農業大学森林総合科学科		5	1		6	白坂量水堰の測定、砂だし	
48	7	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	
49	7	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	
50	7	3	静岡大学農学部	1	4			5	花崗岩斜面における土層構造と樹木根系分布に関する研究	白坂教官学生宿舎
51	7	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	
52	7	1	京都大学防災研究所	3		2		5	CREST犬山サイトのメンテナンス	
53	7	1	瀬戸市民他				18	18	第3回親子森の科学教室	
54	7	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復と降雨流出特性及び土砂流出特性の変化	
55	7	1	エコアップリーダー				10	10	協定に基づく月2回の管理道整備	
56	7	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	
57	7	1	エコアップリーダー				42	42	子供向け昆虫採集講座	
58	7	1	東京大学大学院総合文化研究科	5			2	7	土木学会年次講演会エクスカーション打ち合わせ、下見	
59	7	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
60	7	1	名古屋市立廿軒家小学校	4				4	矢田川源流部の現地見学のための視察	
61	7	2	東京農業大学森林総合科学科		5	1		6	白坂量水堰の土砂測定	白坂教官学生宿舎
No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設

62	8	1	滋賀県立大学環境科学研究科	6		2		8	愛知演習林の施設見学及び雨水貯留効果等について視察並びに矢作川研究所との研修会		
63	8	4	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性	白坂教官学生宿舎	
64	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科				1	1	花崗岩を母材とする撥水性土壌の生成要因	白坂教官学生宿舎	
65	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			4		4	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響		
66	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				3	3	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響		
67	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	植生回復と降雨流出特性及び土砂流出特性の変化		
68	8	1	愛知県立犬山高校	1	4			5	犬山高校の自然科学同好会による湿地及びハッチョウトンボの生態の調査		
69	8	3	静岡大学農学部	1	3			4	花崗岩斜面における土層構造と樹木根系分布に関する研究	白坂教官学生宿舎	
70	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科				1	1	データ収集	白坂教官学生宿舎	
71	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性		
72	8	4	東京農業大学地域環境科学部		4	1		5	風化花崗岩からの土砂流出に関する調査	白坂教官学生宿舎	
73	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	植生回復と降雨流出特性及び土砂流出特性の変化		
74	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響		
75	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響		
76	8	4	科学技術振興機構					1	CREST犬山サイトのメンテナンス「森林荒廃が洪水・河川環境に及ぼす影響とモデル化」	白坂教官学生宿舎	
77	8	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響		
78	8	1	名古屋市上下水道局水質管理課					3	3	見学	
79	8	1	尾張旭市民					3	3	子供の夏休みの自由研究のため	
80	8	1	瀬戸市水南公民館					26	26	平成16年生涯学習補助事業里山自然観察会	
81	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科	2	11	1		14	14	測量学実習	白坂教官学生宿舎
82	9	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性		
83	9	1	東京農工大学農学部				1	1	1	地下水位調査	
84	9	1	名古屋大学大学院生命農学研究科				1	1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性		
93	9	1	名古屋市立甘軒家小学校	2	53			55	55	矢田川から自然と環境を考えよう	
94	9	4	静岡大学農学部		4			4	4	花崗岩斜面における土層構造と樹木根系分布に関する研究	白坂教官学生宿舎
95	9	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1	1	2	2	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
96	9	1	瀬戸市民他					26	26	第4回親子森の科学教室	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
97	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1		1		2	根圏における生物共生機構の解明	
98	9	2	東京農業大学地域環境科学部		6	1		7	白坂量水提の土砂量観測、白坂流域の調査	白坂教官学生宿舎
99	9	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
100	9	2	静岡大学農学部	1	2			3	花崗岩斜面における土層構造と樹木根系分布に関する研究	白坂教官学生宿舎
101	9	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
102	9	1	北海道演習林				1	1	林内見学	
103	10	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
104	10	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
105	10	1	東京農工大学農学部			1		1	地下水位調査	
106	10	1	京都大学防災研究所				2	2	CREST犬山サイトのメンテナンス	
107	10	6	東京大学大学院農学生命科学研究科			2		2	データ収集	白坂教官学生宿舎
108	10	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
109	10	1	瀬戸市の貴重野生植物調査会				8	8	市全域を対象とした貴重野生植物調査	
110	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	研究打ち合わせ、相談	
111	10	1	エコアップリーダー				7	7	散策路整備に伴う散策路マップの作成	
112	10	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
113	10	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
114	10	2	東京農業大学地域環境科学部	1	6			7	白坂量水提の土砂量観測、溪流の調査	白坂教官学生宿舎
115	10	2	静岡大学農学部		2	1		3	花崗岩斜面における土層構造と樹木根系分布に関する研究	白坂教官学生宿舎
116	10	2	北海道演習林	1				1	林内見学	白坂教官学生宿舎
117	10	2	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	白坂教官学生宿舎
118	10	2	自然環境研究センター				1	1	モニタリング1000サイトの林床の環境調査	白坂教官学生宿舎
119	11	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
120	11	1	愛知朝鮮第七初級学校	4	25			29	課外授業	
121	11	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
122	11	4	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	白坂教官学生宿舎

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
123	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	森林溪流の水質形成に関する研究(湧水地点、溪流での流量・水質の調査)	白坂教官学生宿舎
124	11	1	京都大学大学院農学研究科	1	5	1		7	森林溪流の水質形成に関する研究	
125	11	5	東京大学大学院農学生命科学研究科			2		2	データ収集	白坂教官学生宿舎
126	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	3				3	新居試験地クロマツ材線虫病抵抗性誘導試験	
127	11	1	瀬戸市民他				1	1	ぶり縄講習	
128	11	1	新居小学校	5			145	150	総合学習「浜名湖っていいな」	
129	11	2	静岡大学農学部	1	3	1		5	花崗岩斜面における土層構造と樹木根系分布に関する研究	白坂教官学生宿舎
130	11	1	新居町民		9		3	12	公開講座「秋 松林体験教室」	
131	12	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
132	12	1	東京大学事務局他	4				4	施設見学及び意見交換	
133	12	2	東京大学農学系事務部	1				1	施設調査	白坂教官学生宿舎
134	12	1	瀬戸市民他				21	21	第5回親子森の科学教室	
135	12	4	東京農業大学地域環境科学部		4			4	白坂量水提の土砂量観測、溪流の調査	白坂教官学生宿舎
136	12	1	エコアップリーダー				6	6	犬山研究林の植生調査	
137	12	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
138	12	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
139	12	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
140	12	4	静岡大学農学部	1	3			4	花崗岩斜面における土層構造と樹木根系分布に関する研究	白坂教官学生宿舎
141	12	6	東京大学大学院農学生命科学研究科			2		2	データ収集	白坂教官学生宿舎
142	1	4	東京大学大学院農学生命科学研究科			1		1	データ収集	
143	1	1	名古屋大学大学院生命農学研究科		1	1		2	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
144	1	2	江南市立草井小学校	3				3	野鳥の研究	
145	2	1	犬山市環境課				32	32	第9回エコアップリーダー養成講座	
146	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科			2		2	データ収集	白坂教官学生宿舎
147	2	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域における降雨流出特性および土砂流出特性	
148	2	1	名古屋大学大学院生命農学研究科		1	1		2	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	
149	2	1	福島県治山林道研究会				3	3	瀬戸地方の治山事業による森林への復旧状況の視察	
150	2	1	名古屋大学大学院生命農学研究科		1	1		2	風化花崗岩流域における土層の空間分布の不均一性が流出・土壌水分の動態に及ぼす影響	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
151	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	マツ枯れの研究	
152	3	1	水利科学研究所				70		水と森林のパートナーシップスタ ディーツアー	
153	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科			1		1	植生回復程度の異なる山地小流域 における降雨流出特性および土砂 流出特性	
154	3	1	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	19		7	2	28	日米ワークショップ「森林集水域に おける水文・物質循環」	
155	3	1	名古屋大学大学院生命農学研究科		1	1		2	風化花崗岩流域における土層の空 間分布の不均一性が流出・土壌水 分の動態に及ぼす影響	
156	3	1	東京農業大学地域環境科学部		5			5	白坂量水提の土砂量観測、溪流の 調査	

富士演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	独立行政法人物質・材料研究機構材料研究所	1				1	金属暴露試験	
2	4	1	独立行政法人物質・材料研究機構材料研究所				1	1	金属暴露試験(電池交換、点検)	
3	4	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
4	4	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1	1	2		4	ブナ種子播種、ブナ林全天写真	
5	4	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室			1		1	ブナ、ミズナラ種子播種寒紗かけ	
6	4	1	山梨県環境科学研究所環境健康研究部環境生理学研究室	2				2	森林が人に与える快適性に関する研究	
7	4	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
8	5	4	山梨県セーリング連盟				200	200	日本少年少女オープンヨット大会	
9	5	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1		1		2	ブナ実生の太平洋型と日本海型の比較	
10	5	1	NPO法人ホールアース研究所				1	1	富士急行エコツアー事前下見	
11	5	1	NPO法人ホールアース研究所				15	15	富士急行エコツアー	
12	5	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1		1		2	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
13	5	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室			1		1	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
14	5	1	独立行政法人物質・材料研究機構材料研究所				4	4	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	
15	5	3	東大・農・附属演習林田無試験地	1				1	森林教育プログラムの開発	
16	5	3	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1		1		2	ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と生長	
17	5	1	山中湖村				10395	10395	山中湖ロードレース大会	
18	6	1	東邦大・理・植物生態学研究室			2		2	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
19	6	2	山階鳥類研究所	1				1	鳥類観察	
20	6	1	東邦大・理・植物生態学研究室			1		1	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
21	6	2	一般				1	1	見学	
22	6	1	東大・農・造林学研究室	2	1	1		4	スコリア土壌の採取	
23	6	1	東邦大・理・植物生態学研究室			1		1	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
24	6	1	東邦大・理・植物生態学研究室			1		1	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
25	6	1	富士河口湖町教育委員会	7			64	71	森をさぐれ観察会	
26	7	1	青葉学園幼稚園	24			97	121	夏季保育のためのレクリエーション	
27	7	1	東邦大・理・植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支光合成特性についての成木と稚樹との比較	
28	7	1	東邦大・理・植物生態学研究室			1		1	ブナ実生の太平洋型と日本海型の比較	
29	7	2	東大・院農・森林科学専攻	3	4	7		14	環境設計演習	
30	7	2	東大・農・附属演習林富士演習林	5			2	7	東京大学富士演習林森林教育プログラム	
31	7	1	日本林学会				2	2	森林の見学	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
32	7	2	八幡幼稚園	18			67	85	夏季宿泊保育自然に触れる体験学習	
33	7	3	東邦大・理・植物生態学研究室	3	1			4	ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と生長	宿泊施設
34	7	1	東邦大・理・植物生態学研究室			1		1	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
35	7	2	東京丸山学園丸山幼稚園	20			120	140	夏季宿泊保育自然に触れる体験学習	
36	7	1	東邦大・理・植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
37	7	2	東大・農・附属演習林田無試験地	4				4	森林教育プログラムの開発	
38	7	5	日本ボーイスカウト東京連盟				40	40	青少年健全育成活動と水上での技能訓練による育成	
39	7	1	東京星美学園ホーム				18	18	自然観察	
40	7	1	山梨県環境科学研究所環境健康研究部環境生理学研究室	2				2	森林が人に与える快適性に関する研究	
41	7	1	東大・総合文化研究科生命環境科学系	1		2	1	4	キビタキの繁殖調査の下見	
42	8	1	一般				5	5	野鳥観察	
43	8	6	財団法人ボーイスカウト日本連盟	30			100	130	青少年健全育成活動と水上での技能訓練による育成	
44	8	1	独立行政法人物質・材料研究機構材料研究所	1			1	2	金属暴露試験	
45	8	2	ガールスカウト日本連盟東京支部	10			40	50	追跡ゲームおよび木の名前を覚える学習	
46	8	2	(株)ブレンダイナミックス				58	58	社員研修における野外行動学習	
47	8		東邦大・理・植物生態学研究室	1		1		2	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
48	8	2	東大・農・附属演習林富士演習林	26				26	森林教育プログラム研修会	
49	8	2	カトリック二保教会夏季学校				55	55	子供のレクリエーション	
50	8	1	山中湖村役場企画課				2	2	山中湖村植物調査	
51	8	1	所沢カトリック教会				20	20	自然観察	
52	8	1	日本ボーイスカウト東京連盟府中第6団				11	11	ボーイスカウトの活動	
53	8	1	一般				1	1	大学演習林の環境教育の研究	
54	8	1	小平市職員互助会				20	20	レクリエーション	
55	8	1	東邦大・理・植物生態学研究室			1	1	2	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
56	9	5	東大・理・生物科学専攻	3	13	1	1	18	生態学野外実習	
57	9	4	東邦大・理・植物生態学研究室	1	25		5	31	植物実習	
58	9	6	東大・工・社会基盤専攻	10	60			70	測量実習	
59	9	1	東邦大・理・植物生態学研究室		1	1		2	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
60	10	1	山梨県環境科学研究所環境健康研究部環境生理学研究室	4			2	6	森林が人に与える快適性に関する研究	
61	10	2	山梨県環境科学研究所環境健康研究部環境生理学研究室	3			2	5	森林が人に与える快適性に関する研究	
62	10	3	山中湖スポーツ少年団サッカー部	20			340	360	山中湖フェスティバル・サッカー大会	
63	10	3	目黒星美学園小学校	20			100	120	自然観察	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
64	10	1	山梨県環境科学研究所環境健康研究部環境生理学研究室	4			1	5	森林が人に与える快適性に関する研究	
65	10	1	東邦大・理・植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
66	10	1	NPO法人ホールアース研究所				15	15	富士急行エコツアー	
67	10	2	鎌倉女学院中学校				194	194	野外活動	
68	10	1	山梨県環境科学研究所環境健康研究部環境生理学研究室	3			2	5	森林が人に与える快適性に関する研究	宿泊施設
69	10	3	東大・物理学専攻	4		14		18	レクリエーション	
70	10	3	聖ヨゼフ学園小学校	5			80	85	2年生の体験学習	
71	10	1	山中湖村観光課				350	350	富士山一周国際ビッグウォーク2004	
72	10	1	東邦大・理・植物生態学研究室	1	2	1	1	5	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
73	10	9	山中湖村観光協会				200	200	森林見学と紅葉	
74	11	1	東大・農・国際交流室	13		62		75	森林の見学(留学生)	
75	11	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1		1		2	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
76	11	1	一般				2	2	自然観察	
77	11	1	一般				4	4	自然観察	
78	11	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1		1		2	太平洋側ブナ実生の生長と日本海側ブナとの比較	
79	11	2	山梨県環境科学研究所環境健康研究部環境生理学研究室	3			2	5	森林が人に与える快適性に関する研究	
80	11	3	山中湖スポーツ少年団サッカー部	20	20		340	380	山中湖フェスティバル・サッカー大会(少女部)	
81	11	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
82	11	1	山梨県峡東地域振興局林務環境部	1				1	資料集収	
83	11	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
84	11	1	東大・農・森林科学専攻林政学研究室	1				1	森林教育プログラム	
85	11	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
86	11	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
87	12	2	東大・農・附属演習林富士演習林	1	15			16	全学自由ゼミナール「年輪を読む」	
88	12	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1			1	2	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
89	12	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
90	12	1	独立行政法人物質・材料研究機構材料研究所	1			2	3	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	
91	12	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
92	12	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1		1	1	3	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	
93	1	2	独立行政法人物質・材料研究機構材料研究所	2			1	3	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	
94	1	1	東邦大・理・生物学科植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性についての成木と稚樹との比較	

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
95	1	1	NPO法人ホールアース 研究所				5	5	富士急エコツアー下見	
96	1	2	東大・農・森林科学専 攻林政学研究室	3				3	森林教育プログラム	
97	1	2	東邦大・理・生物学科 植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性に ついての成木と稚樹との比較	
98	2	1	東邦大・理・生物学科 植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性に ついての成木と稚樹との比較	
99	2	1	独立行政法人物質・材 料研究機構材料研究 所	2				2	山間部あるいは森林地帯での金属 材料の腐食挙動調査	
100	2	1	TAMU研究所	2			6	8	見学	
101	2	3	ボーイスカウト府中第6 団		8		5	13	雪中訓練	
102	2	1	東邦大・理・生物学科 植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性に ついての成木と稚樹との比較	
103	3	1	東邦大・理・生物学科 植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性に ついての成木と稚樹との比較	宿泊施設
104	3	1	東邦大・理・生物学科 植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性に ついての成木と稚樹との比較	
105	3	1	東邦大・理・生物学科 植物生態学研究室	1				1	シラビソの水分収支、光合成特性に ついての成木と稚樹との比較	
106	3	1	東邦大・理・生物学科 植物生態学研究室	1		3		4	シラビソの水分収支、光合成特性に ついての成木と稚樹との比較	

樹芸研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	30	一般見学者				2	2	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学	
2	4	1	日本学術振興会科学技術特別研究員	1				1	フタバガキ科樹木の揮発性有機化合物の放出メカニズムに関する研究	
3	4	13	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
4	4	3	名古屋大・農・森林環境資源学研究室			1		1	ズリ鉾堆積場に植栽したスギ苗木の生育調査	
5	4	1	国際環境NGO FoEJapan事務局				9	9	里山体験ツアー	
6	4	1	東大・農・附属演習林富士演習林	1				1	研究成果報告及び社会教育の打合せ	
7	4	1	東京農工大・地域生態システム学科森林科学コース野生動物保護学研究室			1		1	梟の生態調査	
8	5	31	一般見学者				34	34	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学	
9	5	5	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキの光合成等、生理学的樹種特性の研究	
10	5	5	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
11	5	4	名古屋大・農・森林環境資源学研究室			1		1	スギ植栽実験地の整備・生育状況の記録	
12	5	1	南伊豆町教育委員会		69		2	71	森林教室	
13	6	30	一般見学者				9	9	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学	
14	6	4	東大・農・造林学研究室			1		1	熱帯性樹木の栽培及び光環境制御による生理学実験	
15	6	1	日本植物燃料株式会社				3	3	見学(ナンヨウアブラギリ)	
16	6	1	名古屋大・森林環境資源学研究室			1		1	ズリ鉾堆積場に植栽したスギ苗木の生育調査	
17	6	1	南伊豆町立南伊豆中学	1	3			4	総合学習で花についての調査	
18	6	1	東大・農・附属演習林愛知演習林	1				1	量水堰への水位計設置	
19	6	1	伊豆農林事務所				2	2	見学	
20	6	1	東大・農学系事務部	1				1	温室見学	
21	6	1	静岡県伊豆県行政センター				2	2	見学	
22	7	31	一般見学者				2	2	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学	
23	7	4	東大・農・造林学研究室			1		1	熱帯性樹木の栽培及び光環境制御による生理学実験	
24	7	3	東大・農・緑地植物実験所	1	6	1		8	資源生物学基礎実験(緑地環境学専修)	
25	7	4	名古屋大・農・森林環境資源学研究室			1		1	ズリ鉾堆積場に植栽したスギ苗木の生育調査	
26	7	12	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
27	8	31	一般見学者				10	10	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学	
28	8	5	農工大・教育部自然環境保全学専攻			4		4	熱帯性樹木の栽培及び光環境制御による生理学実験	
29	8	1	南伊豆町教育委員会	1	6		6	13	森林教室「昆虫」	
30	8	3	名古屋大・農・森林環境資源学研究室			1		1	ズリ鉾堆積場に植栽したスギ苗木の生育調査	
31	8	1	下田市立大賀茂小学校	1	2				夏休みの自由研究(個人課題)のため	
No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設

32	8	6	東大・農・森圏管理学研究室	1	1	2		4	Paraserianthes falcatariaの育苗	
33	8	3	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
34	8	4	東大・農・附属演習林	4	21			25	国際開発農学専修森林実習	
35	9	30	一般見学者				27	27	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学	
36	9	1	東大・農・附属演習林 秩父演習林	1				1	森林圏生物動態学現地講義打ち合わせ	
37	9	1	東大・農・附属演習林 富士演習林	1				1	社会教育打ち合わせ	
38	9	2	名古屋大・農・森林環境資源学研究室	1		2		3	ズリ鉦堆積場に植栽したスギ苗木の生育調査	
39	9	1	農工大・農・地域生態システム学科森林科学コース			2		2	卒論研究の野外調査実施(フクロウ)	
40	9	3	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	Paraserianthes falcatariaの育苗	
41	9	12	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
42	9	5	東大・農・造林学研究室			1		1	熱帯性樹木の栽培及び光環境制御による生理学実験	
43	9	1	東大・農・生圏システム学専攻	1				1	サンプル受け取り	
44	10	31	一般見学者				3	3	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学	
45	10	1	農工大・教育部自然環境保全学専攻			2		2	雨量計データ回収	
46	10	1	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	Paraserianthes falcatariaの育苗	
47	10	17	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
48	10	1	下田市立稲梓小学校	4	62			66	森林に関する体験学習	
49	10	2	東大・農・林学科29年卒業生				18	18	見学	
50	10	1	南伊豆町立南上小学校	1				1	つる植物利用下見	
51	11	1	静岡県伊豆県行政センター				20	20	南伊豆地域への定住促進のため南伊豆の良さを知ってもらうセミナー開催	
52	11	1	昭和薬科大学天然物化学研究室	3	1	1		5	有用シダ植物の植生調査	
53	11	7	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
54	11	1	東大・理・附属植物園 邑田研究室			1		1	汎熱帯海流散布植物オオハマボウと近縁種の分子系統地理学的解析	
55	11	12	東大・農・造林学研究室			1		1	熱帯性樹木の栽培及び光環境制御による生理学実験	
56	11	2	東大・農・附属演習林	18				18	平成16年度技術職員等試験研究・研修会議	
57	11	1	東大・農・附属演習林				21	21	森林教室「秋の散策」	
58	11	1	南伊豆町立三浜小学校	3			13	16	森に秋を探しに行こう	
59	11	1	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	Paraserianthes falcatariaの育苗	
60	12	31	一般見学者				11	11	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学	
61	12	2	東大・農・森圏管理学研究室		1			1	Paraserianthes falcatariaの育苗	
62	12	7	東大・農・造林学研究室			1		1	フタバガキ科樹木の低温応答に関する研究	
63	12	2	東大・農・秩父演習林	2				2	倒木現場の下見	
No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
64	12	1	(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジー本部				2	2	銅鉦山廃棄物堆積地における土壌採取及び好酸性・耐酸性微生物の単離	

65	12	1	東北大・多元物質科学 研究所	1			1	パラゴムノキ (Hevea brasiliensis) の ゴム生成機構解明研究	
66	1	31	一般見学者				12	12	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学
67	2	28	一般見学者				1	1	温室内の熱帯・亜熱帯植物見学
68	2	1	タム地域環境研究所	1			7	8	樹芸研究所の有効利用方法の検 討のための視察
69	2	1	東京農業大・造林学研 究室	2		8		10	樹芸研究所内の付帯施設と構内の 植物などを見学
70	3	2	東大・農・樹芸研究所	1	2	5		8	第3回樹芸研究所試験研究成果発 表会
71	3	1	東大・農・造林学研 究室			1		1	フタバガキの光合成等, 生理学的 樹種特性の研究

田無試験地

	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	7	東大・農・森林生態圏管理科学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程における光屈性とその反応機構の解明	
2	4	1	東大・農・森林植物学研究室			1		1	線虫の繁殖についての実験	
3	4	2	東大・農・森林植物学研究室			1		1	マツ材線虫病に関する研究	
4	4	1	東大・農・森林植物学研究室			1		1	マツタケ人工シロの形成条件の確立	
5	4	3	東大・農・森林植物学研究室			1		1	ナラ類萎凋病の萎凋機構	
6	4	5	東大・農・森林植物学研究室		1			1	針葉樹11種におけるマツ材線虫病抵抗性の比較	
7	4	1	東大・農・森林植物学研究室				1	1	針葉樹のシグナルに対する応答	
8	4	21	東大・農・アジア生物資源学	2				2	森林共生系の解析	
9	4	3	東大・農・生物多様性科学研究室			1		1	ニホンジカによる種子散布	
10	4	1	東大・農・造林学研究室	2	20	1		23	造林学実験	
11	4	1	東京都土木技術研究所地象部				2	2	井戸の地下水位観測	
12	4	2	森のボランティア				4	4	緑地環境調査(NO2測定用カプセル設置・回収)	
13	4	2	けやき保育園				67	67	林内見学	
14	4	2	西原保育園				134	134	林内見学	
15	4	2	谷戸第二小学校				255	255	林内見学	
16	4	1	静山会				16	16	林内見学	
17	4	1	西東京自然を見つめる会				23	23	林内見学	
18	4	1	東京都みどり推進会				54	54	林内見学	
19	4	1	森のボランティア				139	139	林内見学	
20	4	1	一般見学者				675	675	林内見学	
21	5	5	東大・農・森林生態圏管理科学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程における光屈性とその反応機構の解明	
22	5	4	東大・農・森林植物学研究室			1		1	ナラ類萎凋病の萎凋機構	
23	5	4	東大・農・森林植物学研究室		1			1	針葉樹11種におけるマツ材線虫病抵抗性の比較	
24	5	1	東大・農・森林植物学研究室			1		1	ナラ類白粒葉枯病菌の生態と病原性に関する研究(実験用苗木の保存)	
25	5	2	東大・農・造林学研究室		1			1	Acacia属樹木の高温ストレス耐性試験	
26	5	20	東大・農・造林学研究室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関する分子生態学的解析	
27	5	21	東大・農・アジア生物資源学	2				2	森林共生系の解析	
28	5	2	東大・農・アジア生物資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
29	5	3	東大・農・生物多様性科学研究室			1		1	ニホンジカによる種子散布	
30	5	1	東大・農・土壌圏科学研究室		2				森林土壌の採取	
31	5	1	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会 共催東大演習林、東大農場・演習林の存続を願う会			2	25	27	「子ども樹木博士」に挑戦しよう！！	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設

32	5	1	東大・農・応用昆虫学 研究室	1	34	5	40	昆虫の観察・分類		
33	5	5	東京都健康安全研究 センター				1	野ネズミの野外分布と生態調査、蚊 の調査		
34	5	1	芝久保保育園				44	44	林内見学	
35	5	2	西原保育園				89	89	林内見学	
36	5	1	みどり保育園				24	24	林内見学	
37	5	1	けやき保育園				75	75	林内見学	
38	5	1	田無保育園				69	69	林内見学	
39	5	1	朝日カルチャーセンタ				20	20	林内見学	
40	5	2	森のボランティア				31	31	林内見学	
41	5	1	西武ウオーク				300	300	林内見学	
42	5	1	美登利会				19	19	林内見学	
43	5	1	静山会				12	12	林内見学	
44	5	1	パレットの会				8	8	林内見学	
45	5	1	一般見学者				423	423	林内見学	
46	6	5	東大・農・森林生態圏 管理学研究室			1	1	高木性樹木の樹形形成過程におけ る光屈性とその反応機構の解明		
47	6	3	東大・農・森林植物学 研究室			1	1	ナラ類萎凋病の萎凋機構		
48	6	1	東大・農・森林植物学 研究室		1		1	針葉樹11種におけるマツ材線虫病 抵抗性の比較		
49	6	1	東大・農・森林植物学 研究室			1	1	ニセアカシア林の生理・生態的特性 の解明		
50	6	3	東大・農・生物多様性 科学研究室			1	1	ニホンジカによる種子散布		
51	6	1	東大・農・生物多様性 科学研究室			1	1	造網性クモの円網デザインと行動 形質の関係		
52	6	5	東大・農・造林学研究 室		1		1	Acacia属樹木の高ストレス耐性試 験		
53	6	22	東大・農・造林学研究 室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関 する分子生態学的解析	
54	6	22	東大・農・アジア生物 資源学	2				2	森林共生系の解析	
55	6	1	東大・農・アジア生物 資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
56	6	2	東大・農・森林動物学 研究室	2	26	3		31	森林動物学実験	
57	6	1	東大・農・造林学研究 室	2	20	1		23	造林学実験	
58	6	1	星薬科大学				1	1	カラスビシャクの採集	
59	6	2	けやき保育園				76	76	林内見学	
60	6	1	ひばりヶ丘幼稚園				31	31	林内見学	
61	6	1	東大・附属中等教育学 校				10	10	林内見学	
62	6	1	東久留米自然友の会				15	15	林内見学	
63	6	1	小さなウオーキング				35	35	林内見学	
64	6	1	東大農場のみどりを残 す平成の会				25	25	林内見学	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
65	6	1	森のボランティア				13	13	林内見学	

66	6	1	東大・農場・演習林の 存続を願う会				10	10	林内見学	
67	6	1	保谷福祉作業所				25	25	林内見学	
68	6	1	新宿生活実習所				9	9	林内見学	
69	6	1	静山会				13	13	林内見学	
70	6	1	淡影会				20	20	林内見学	
71	6	1	一般見学者				303	303	林内見学	
72	7	8	東大・農・森林生態圏 管理学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程にお ける光屈性とその反応機構の解明	
73	7	5	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	ナラ類萎凋病の萎凋機構	
74	7	9	東大・農・森林植物学 研究室		1			1	針葉樹11種におけるマツ材線虫 病抵抗性の比較	
75	7	1	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	ニホンジカによる種子散布	
76	7	1	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	チリイソウロウグモの宿主利用の 変異に伴う形質分化機構の解明	
77	7	10	東大・農・造林学研究 室		1			1	Acacia属樹木の高温ストレス耐性 試験	
78	7	22	東大・農・造林学研究 室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に 関する分子生態学的解析	
79	7	1	東大・農・森林動物学 研究室			1		1	腐朽材の化学組成と穿孔虫類の 食性(クワガタムシ類の採集)	
80	7	21	東大・農・アジア生物 資源学	2				2	森林共生系の解析	
81	7	1	東大・農・アジア生物 資源学	1				1	熱帯樹木の育苗	
82	7	3	東大・農・アジア生物 資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
83	7	1	東大・農・造林学研究 室	2	20	1		23	造林学実験	
84	7	1	谷戸幼稚園				30	30	林内見学	
85	7	1	練馬自然観察の会				24	24	林内見学	
86	7	1	東大和市立狭山公民 館				56	56	林内見学	
87	7	1	東村山市ウォーキング				57	57	林内見学	
88	7	1	西東京自然を見つめる 会				30	30	林内見学	
89	7	1	森のボランティア				10	10	林内見学	
90	7	1	一般見学者				131	131	林内見学	
91	8	8	東大森林生態圏管理 学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程にお ける光屈性とその反応機構の解明	
92	8	2	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	ナラ類萎凋病の萎凋機構	
93	8	10	東大・農・森林植物学 研究室		1			1	針葉樹11種におけるマツ材線虫 病抵抗性の比較	
94	8	14	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	マツ材線虫病に関する研究	
95	8	3	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	ニホンジカによる種子散布	
96	8	4	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	チリイソウロウグモの宿主利用の 変異に伴う形質分化機構の解明	
97	8	2	東大・農・森圏管理 学研究室	1	1			2	Paraserianthes falcatariaの育苗	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
98	8	14	東大・農・造林学研究 室		1			1	Acacia属樹木の高温ストレス耐性 試験	
99	8	7	東大・農・造林学研究 室	1				1	巻枯らし試験(ヒノキ植栽木の環 状剥皮処理後の水分状態の変化)	

100	8	22	東大・農・森林植物学 研究室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関 する分子生態学的解析	
101	8	21	東大・農・アジア生物 資源学	2				2	森林共生系の解析	
102	8	3	東大・農・アジア生物 資源学	1				1	熱帯樹木の育苗	
103	8	4	東大・農・アジア生物 資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
104	8	1	東京都土木技術研究 所地象部				2	2	井戸の地か水位観測	
105	8	1	森のボランティア				15	15	林内見学	
106	8	1	一般見学者				197	197	林内見学	
107	9	11	東大・農・森林生態圏 管理学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程におけ る光屈性とその反応機構の解明	
108	9	6	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	マツ材線虫病に関する研究	
109	9	11	東大・農・森林植物学 研究室	1				1	針葉樹11種におけるマツ材線虫病 抵抗性の比較	
110	9	2	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	造園樹木の形状と健全性診断	
111	9	2	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	チリイノウロウグモの宿主利用の変 異に伴う形質分化機構の解明	
112	9	1	東大・農・生物多様性 科学研究室			1		1	ニホンジカによる種子散布	
113	9		東大・農・森圏管理学 研究室		1			1	Paraserianthes falcataの育苗	
114	9	8	東大・農・造林学研究 室	1				1	巻枯らし試験(ヒノキ植栽木の環状 剥皮処理後の水分状態の変化)	
115	9	3	東大・農・造林学研究 室		1			1	Acacia属樹木の高温ストレス耐性試 験	
116	9	22	東大・農・造林学研究 室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関 する分子生態学的解析	
117	9	21	東大・農・アジア生物 資源学	2				2	森林共生系の解析	
118	9	2	東大・農・アジア生物 資源学	1				1	熱帯樹木の育苗	
119	9	3	東大・農・アジア生物 資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
120	9	1	東大・農・造林学研究 室	2	20	1		23	造林学実験	
121	9	1	東京都土木技術研究 所地象部				2	2	井戸の地下水水位観測	
122	9	1	けやき保育園				24	24	林内見学	
123	9	1	西原保育園				46	46	林内見学	
124	9	1	谷戸学童クラブ				50	50	林内見学	
125	9	1	森のボランティア				12	12	林内見学	
126	9	2	東大・農場・演習林の 存続を願う会				59	59	林内見学	
127	9	1	静山会				12	12	林内見学	
128	9	1	郷土研究会(千葉県)				18	18	林内見学	
129	9	1	東久留米市高齢者生 きがい健康づくり市民 の会				40	40	林内見学	
130	9	1	一般見学者				320	320	林内見学	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
131	10	8	東大・農・森林生態圏 管理学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程におけ る光屈性とその反応機構の解明	
132	10	1	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	マツ材線虫病に関する研究	
133	10	4	東大・農・森林植物学 研究室		1			1	針葉樹11種におけるマツ材線虫病 抵抗性の比較	

134	10	1	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室			1	1	2	葉面の揺れ・樹種の差異が雨滴形成に与える影響の評価	
135	10	1	東大・農・生物多様性科学研究室			1		1	ニホンジカによる種子散布	
136	10	4	東大・農・造林学研究室	1				1	巻枯らし試験(ヒノキ植栽木の環状剥皮処理後の水分状態の変化)	
137	10	22	東大・農・造林学研究室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関する分子生態学的解析	
138	10	20	東大・農・アジア生物資源学	2				2	森林共生系の解析	
139	10	2	東大・農・アジア生物資源学	1				1	熱帯樹木の育苗	
140	10	2	東大・農・アジア生物資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
141	10	1	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会 共催 東大演習林田無試験地			1	30	31	第5回 西東京市「子ども樹木博士」認定活動	
142	10	2	東京都健康安全研究センター				1	1	野ネズミの野外分布と生態調査、蚊の調査	
143	10	1	東京都土木技術研究所地象部				2	2	井戸の地下水位観察	
144	10	1	“第2回アースデイin西東京”				70	70	林内見学	
145	10	2	けやき保育園				85	85	林内見学	
146	10	1	みどり保育園				41	41	林内見学	
147	10	1	ほうやちよう保育園				65	65	林内見学	
148	10	2	西原保育園				113	113	林内見学	
149	10	1	自由学園初等科				45	45	林内見学	
150	10	1	柳沢小学校				75	75	林内見学	
151	10	1	けやき小学校				177	177	林内見学	
152	10	1	谷戸学童クラブ				50	50	林内見学	
153	10	1	南沢シュタイナー子どもの園				56	56	林内見学	
154	10	5	東大・農場・演習林の存続を願う会				62	62	林内見学	
155	10	1	スキップ田無				11	11	林内見学	
156	10	1	あそびの木				10	10	林内見学	
157	10	1	むさしの自然保護会				15	15	林内見学	
158	10	1	三鷹プチクレイシュ				14	14	林内見学	
159	10	1	森のボランティア				15	15	林内見学	
160	10	1	一般見学者				349	349	林内見学	
161	11	6	東大・農・森林生態圏管理学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程における光屈性とその反応機構の解明	
162	11	1	東大・農・森林植物学研究室			1		1	マツ材線虫病に関する研究	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
163	11	1	東大・農・森林植物学研究室		1			1	針葉樹11種におけるマツ材線虫病抵抗性の比較	
164	11	4	東大・農・森林植物学研究室			1		1	造園樹木の形状と健全性診断	
165	11	1	東大・農・森林理水及び砂防工学研究室			1	1	2	葉面の揺れ・樹種の差異が雨滴形成に与える影響の評価	
166	11	2	東大・農・生物多様性科学研究室			1		1	ニホンジカによる種子散布	

167	11	22	東大・農・造林学研究室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関する分子生態学的解析	
168	11	20	東大・農・アジア生物資源学	2				2	森林共生系の解析	
169	11	2	東大・農・アジア生物資源学	1				1	熱帯樹木の育苗	
170	11	2	東大・農・アジア生物資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
171	11	2	東京都健康安全研究センター				1	1	野ネズミの野外分布と生態調査、蚊の調査	
172	11	1	平塚保育園				15	15	林内見学	
173	11	1	けやき保育園				41	41	林内見学	
174	11	1	みどり保育園				43	43	林内見学	
175	11	1	ほうやちよう保育園				18	18	林内見学	
176	11	3	西原保育園				62	62	林内見学	
177	11	1	芝久保保育園				35	35	林内見学	
178	11	1	北原保育園				22	22	林内見学	
179	11	2	ひばりヶ丘幼稚園				100	100	林内見学	
180	11	1	谷戸幼稚園				85	85	林内見学	
181	11	1	南沢シュタイナー子どもの園				36	36	林内見学	
182	11	1	東久留米第5小学校				92	92	林内見学	
183	11	1	中野区立丸山小学校				87	87	林内見学	
184	11	1	田無小学校				102	102	林内見学	
185	11	1	谷戸小学校				30	30	林内見学	
186	11	2	谷戸第2小学校				55	55	林内見学	
187	11	1	芝久保小学校				80	80	林内見学	
188	11	3	東大・農場・演習林の存続を願う会				79	79	林内見学	
189	11	1	一般見学者				549	549	林内見学	
190	12	7	東大・農・森林生態圏管理学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程における光屈性とその反応機構の解明	
191	12	9	東大・農・森林植物学研究室			1		1	マツ材線虫病に関する研究	
192	12	1	東大・農・森林植物学研究室			1		1	造園樹木の形状と健全性診断	
193	12	22	東大・農・造林学研究室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関する分子生態学的解析	
194	12	1	東大・新領域生物圏機能学研究室		1			1	傷害に伴う材変色の進展に及ぼす時期や樹齢の影響	
195	12	20	東大・農・アジア生物資源学	2				2	森林共生系の解析	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
196	12	1	東大・農・アジア生物資源学	1				1	熱帯樹木の育苗	
197	12	1	東大・農・アジア生物資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
198	12	2	西原保育園				24	24	林内見学	
199	12	1	みどり保育園				20	20	林内見学	
200	12	1	森のボランティア				35	35	林内見学	

201	12	2	東大・農場・演習林の 存続を願う会				63	63	林内見学	
202	12	1	一般見学者				346	346	林内見学	
203	1	2	東大・農・森林生態圏 管理学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程にお ける光屈性とその反応機構の解明	
204	1	8	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	マツ材線虫病に関する研究	
205	1	2	東大・新領域創成学・ 生物圏機能学研究室			1		1	傷害に伴う材変色の進展に及ぼす 時期や樹齢の影響	
206	1	22	東大・農・造林学研究 室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関 する分子生態学的解析	
207	1	2	東大・農・造林学研究 室	1				1	巻枯らし試験(ヒノキ植栽木の環状 剥皮処理後の水分状態の変化)	
208	1	20	東大・農・アジア生物 資源学	2				2	森林共生系の解析	
209	1	1	東大・耕地生態学 研究室			1		1	周辺環境の傾度に沿った都市緑地 における鳥類相の変化	
210	1	2	エコル株式会社				9	9	腐朽調査	
211	1	1	東京都土木技術研究 所地象部				2	2	井戸の地下水位観察	
212	1	2	西原保育園				48	48	林内見学	
213	1	1	あそびの木				12	12	林内見学	
214	1	1	森のボランティア				32	32	林内見学	
215	1	4	東大・農場・演習林の 存続を願う会				73	73	林内見学	
216	1	1	西東京自然を見つめる 会				16	16	林内見学	
217	1	1	一般見学者				230	230	林内見学	
218	2	3	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	マツ材線虫病に関する研究	
219	2	3	東大・新領域創成学・ 生物圏機能学研究室			1		1	傷害に伴う材変色の進展に及ぼす 時期や樹齢の影響	
220	2	22	東大・農・造林学研究 室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に関 する分子生態学的解析	
221	2	1	東大・農・造林学研究 室	1				1	巻枯らし試験(ヒノキ植栽木の環状 剥皮処理後の水分状態の変化)	
222	2	1	東大・農・森林動物学 研究室	2				2	マツ枯れに関わる研究	
223	2	20	東大・農・アジア生物 資源学	2				2	森林共生系の解析	
224	2	1	東京都土木技術研究 所地象部				2	2	井戸の地下水位観察	
225	2	1	東村山市立東村山第 二中学校				6	6	職場訪問	
226	2	1	西原保育園				12	12	林内見学	
227	2	1	ほうやちよう保育園				42	42	林内見学	
228	2	1	みどり保育園				38	38	林内見学	
	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
229	2	1	けやき小学校				34	34	林内見学	
230	2	1	森のボランティア				7	7	林内見学	
231	2	1	狭山市植物友の会				14	14	林内見学	
232	2	4	東大・農場・演習林の 存続を願う会				78	78	林内見学	
233	2	1	一般見学者				202	202	林内見学	
234	3	14	東大・農・森林生態圏 管理学研究室			1		1	高木性樹木の樹形形成過程にお ける光屈性とその反応機構の解明	

235	3	5	東大・農・森林植物学 研究室			1		1	造園樹木の形状と健全性診断	
236	3	22	東大・農・造林学研究 室	1	1	3	1	6	森林樹木と共生菌の繁殖機構に 関する分子生態学的解析	
237	3	20	東大・農・アジア生物 資源学	2				2	森林共生系の解析	
238	3	1	東大・農・造林学研究 室	1				1	巻枯らし試験(ヒノキ植栽木の環状 剥皮処理後の水分状態変化)	
239	3	1	東大・農・アジア生物 資源学	1				1	熱帯樹木の養分特性	
240	3	1	東京都土木技術研究 所気象部				2	2	井戸の地下水位観察	
241	3	1	谷戸学童クラブ				38	38	林内見学	
242	3	1	ひばりヶ丘幼稚園				50	50	林内見学	
243	3	1	森のボランティア				34	34	林内見学	
244	3	2	東大・農場・演習林の 存続を願う会				70	70	林内見学	
245	3	1	本町小学校				108	108	林内見学	
246	3	1	小平4小学童クラブ				37	37	林内見学	
247	3	1	さくらみどり保育園				16	16	林内見学	
248	3	1	植物同好会				20	20	林内見学	
249	3	1	静山会				11	11	林内見学	
250	3	1	一般見学者				245	245	林内見学	

教育活動

大学院(農学生命科学研究科)

生圏システム学専攻修士課程

教 官 名	講 義 名
石橋整司	森林圏生物動態学
石橋整司	森林圏生態学演習
丹下 健 ・山田利博 ・鴨田重裕 ・後藤 晋	森林圏遺伝子機能開発学
酒井秀夫	森林圏管理システム学
酒井秀夫	森林圏情報学
鴨田重裕 ・後藤 晋	森林遺伝科学演習
山本博一 ・芝野博文 ・鈴木 誠 ・蔵治光一郎	森林圏水循環機能学
山本博一 ・芝野博文 ・鈴木 誠 ・蔵治光一郎	森林圏水資源管理学演習
酒井秀夫 ・山本博一 石橋整司 ・山田利博 蔵治光一郎 ・後藤 晋	生圏システム学実験・研究

森林科学専攻修士課程

教 官 名	講 義 名
石橋整司	森林生態圏管理学特論
丹下 健 ・山田利博 ・鴨田重裕 ・後藤晋	森林圏遺伝子機能開発学
丹下 健	熱帯森林学
酒井秀夫	森林圏情報学
酒井秀夫	森林圏管理システム学
山本博一 ・芝野博文 ・鈴木 誠 ・蔵治光一郎	森林圏水循環機能学
酒井秀夫 ・山本博一 石橋整司 ・山田利博 蔵治光一郎 ・後藤 晋	森林科学特別演習
酒井秀夫 ・山本博一 石橋整司 ・山田利博 蔵治光一郎 ・後藤 晋	森林科学特別実験

生圏システム学専攻博士課程

教 官 名	講 義 名
石橋整司	森林圏生態学特別演習
丹下 健 ・山田利博 ・鴨田重裕 ・後藤晋	森林遺伝子科学特別演習
酒井秀夫	森林圏情報学特別演習
山本博一 ・芝野博文 ・鈴木 誠 ・蔵治光一郎	森林圏水資源管理学特別演習
酒井秀夫 ・山本博一 ・丹下 健 ・石橋整司 芝野博文 ・山田利博 ・鈴木 誠 ・鴨田重裕 蔵治光一郎 ・後藤 晋	生圏システム学特別実験・研究

森林科学専攻博士課程

教 官 名	講 義 名
丹下 健 ・山本博一 ・芝野博文 ・石橋整司 山田利博 蔵治光一郎 ・鴨田重裕 ・後藤 晋	森林生態圏管理学特別演習 I
丹下 健 ・石橋整司 ・山田利博 ・鴨田重裕 ・後藤 晋	森林生態圏管理学特別実験 I
山本博一 ・酒井秀夫 ・芝野博文 ・鈴木 誠 蔵治光一郎	森林生態圏管理学特別演習 II
山本博一 ・酒井秀夫 ・芝野博文 ・鈴木 誠 蔵治光一郎	森林生態圏管理学特別実験 II

学部講義・実習等

教官名	講義名	学部:課程(専修)等
山本博一 芝野博文 鈴木 誠	・酒井秀夫 ・石橋整司 ・鴨田重裕 ・丹下 健 ・山田利博 ・後藤 晋	森林科学概論 農学部:森林生物・森林環境・森林資源(専修)
酒井秀夫 梶 幹男	・丹下 健 ・芝野博文 ・山本博一 ・山田利博	森林生態圏管理学 農学部:森林生物・森林環境・森林資源(専修)
丹下 健	森林土壌学	農学部:森林生物・森林環境・森林資源(専修)
寶月岱造 益守眞也	・山中征夫 ・池田裕行	造林学実験 農学部:応用生命科学課程・森林生物科学(専修)
和田昌久 山中征夫	・山本博一 ・池田裕行 ・鈴木 誠	森林科学実習 農学部:生物環境科学課程・環境共生システム学(専修)
永田 信 柴崎茂光	・井上 真 ・安村直樹	森林政策学演習 農学部:森林生物・森林環境・森林資源(専修)
春田泰次	・桐村 剛	森林保全学実習 農学部:森林生物・森林環境・森林資源(専修)
芝野博文	・吉田孝久	測量学実習 農学部:森林環境・森林資源(専修)
山本博一 前原 忠	・丹下 健 ・浅野友子 ・芝野博文 ・高上馬希重	森林実習 農学部:国際開発農学(専修)
丹下 健	森林土壌学実験	農学部:森林生物・森林環境・森林資源(専修)
丹下 健	土壌圏の科学	農学部
丹下 健	生物資源の利用と生産	農学部
山本博一 池田裕行	・鈴木 誠 ・山中征夫	総合科目D(人間環境一般) 教養学部
山岡寛人 山中征夫	・鈴木真理 ・鈴木 誠	日本の森林に学ぶ 教養学部附属中等教育学校・課程別学習:宿泊体験学習
酒井秀夫 鈴木 雅一	・井上 真 ・下村彰男 ・白石則彦	総合科目D(森林環境と人間活動) 教養学部
酒井秀夫 宮本義憲	・鴨田重裕 ・安村直樹 ・後藤 晋	総合科目D 教養学部
石橋整司	総合科目D「冬の森林学」	教養学部
石橋整司	・山本清龍 全学自由セミナー「年輪を読む」	教養学部

他大学の非常勤講師等

教官氏名	講義名	対象学部	学科等	学年	大学名
山中征夫	森林で考える環境問題と生物の多様性	高校生	さわやか高等学校推進事業	高校1-3年	県立木更津高校
山本博一 鈴木 誠 山中征夫 池田裕行	森で学ぶ、森から学ぶ	小中高教員	SPP教員研修	小中高教員	千葉県教員
山中征夫	千葉県動植物・千葉演習林の歴史・ヤマビルの生態と防除	千葉県勤労者山岳連盟	第14回関東ブロック自然保護交流集会	連盟会員	千葉県勤労者山岳連盟
山中征夫	「緑の教室」と天津の子ども達	天津小学校教員PTA	教員ミニ集会	天津小学校教員、PTA	町立天津小学校
山中征夫	房総の自然とヤマビルの生態	高校生	千葉県高等学校安全登山講習会・リーダー講座	高校1-3年	千葉県高等学校体育連盟
山中征夫	総合学習・天津小湊の自然	中学1年生	総合学習	中学1年生	町立小湊中学校
山中征夫	総合学習・野生動物による被害	小学6年生	総合学習	小学6年生	勝浦市立名木小学校
山中征夫	教育会理科研究部・夏季研修	品川区中学校理科教員	品川区教育会・中学校理科教育研究部	品川区中学校理科教員	品川区中学校理科研究部
山中征夫	房総の自然・演習林の歴史・ヤマビルの生態	日米高校生	第6回日本ベンチヤースカ外大会	日米高校生	日本ボーイスカウト千葉県連盟
酒井秀夫	農林生産学特別講義	農学研究科		全学年	岩手大学
石橋整司	環境論	電気通信学部		1年	電気通信大学
丹下 健	樹木生理学	農学部	環境資源科学	3年	東京農工大学

公開講座・セミナー等

講座名	演習林名	開催場所	日程
野鳥の家をつくろう	千葉演習林	清澄作業所管内	4月
春の一般公開	千葉演習林	郷台作業所管内	4月
平成16年度SPP教員研修「森で学ぶ、森から学ぶ」生物学講座	千葉演習林	清澄・札郷管内	7月22日－23日
夏の森林教室	千葉演習林	郷台作業所管内	7月
高校生ゼミ	千葉演習林	清澄・札郷郷台管内	7月
外箕輪小学校・校外総合学習	千葉演習林	清澄作業所管内	9月
緑の教室	千葉演習林	清澄作業所管内	10月
秋の一般公開	千葉演習林	郷台作業所管内	11月－12月
市民公開セミナー	北海道演習林	北海道演習林	6月6日
大麓山ハイキング登山会	北海道演習林	北海道演習林	7月19日
大麓山ハイキング登山会(第2回)	北海道演習林	北海道演習林	9月20日
東大演習林子ども開放プラン	北海道演習林	北海道演習林	9月25日～26日
秩父演習林サポーター養成講座「秩父演習林の教育研究」	秩父演習林	栃本地区	4月13日
秩父演習林「自由見学日」	秩父演習林	栃本地区	4月20日 5月18日 5月22日 6月15日 7月20日 8月17日 9月21日 10月17-23日 11月15日 2月15日 3月15日
大学開放企画第1回～4回	秩父演習林	栃本地区	5月8日・8月7日－8日 9月4日・11月27日
公開講座「奥秩父のブナを学ぼう」	秩父演習林	栃本地区	5月15日
秩父演習林・大滝げんきプラザ・埼玉県立自然史博物館	秩父演習林	栃本地区	5月22日
秩父演習林サポーター養成講座「秩父演習林と秩父地方の歴史」	秩父演習林	栃本地区	5月25日
秩父演習林サポーター養成講座「秩父演習林の植物(樹木・草木)」	秩父演習林	栃本地区	6月2日
秩父演習林サポーター養成講座「森林における安全管理」	秩父演習林	栃本地区	6月23日
秩父演習林サポーター養成講座「秩父演習林の動物(哺乳類・昆虫)」	秩父演習林	栃本地区	7月7日
秩父演習林・大滝げんきプラザ共催事業「源流の散策と水棲昆虫観察・採集」	秩父演習林	栃本地区	8月20日－22日
秩父演習林サポーター養成講座「森林生態系の管理と利用」	秩父演習林	栃本地区	8月27日
秩父演習林サポーター養成講座「林業生産と育林技術」	秩父演習林	栃本地区	9月8日
秩父演習林サポーター養成講座「森林の公益機能(水源〇養・防災・景観)」	秩父演習林	栃本地区	10月6日
公開講座「森の木が材木になるまで」	秩父演習林	栃本地区	10月23日
秩父演習林・大滝げんきプラザ・共催事業井「紅葉のトロッコ廃止線路を歩く」	秩父演習林	栃本地区	10月30日
秩父演習林サポーター養成講座「森林環境教育」	秩父演習林	栃本地区	11月9日
公開講座「冬の昆虫観察」	秩父演習林	栃本地区	11月13日－14日

講座名	演習林名	開催場所	日程
公開講座「門松・リースづくり」	秩父演習林	栃本地区	12月10日
秩父演習林サポーター養成講座 「秩父演習林(森林・施設)の管理と運営」	秩父演習林	栃本地区	12月10日
公開講座「竹炭づくり」①②③	秩父演習林	栃本地区	12月2日・12月13日 1月11日
秩父演習林サポーター養成講座 「森林における安全管理」	秩父演習林	栃本地区	1月18日
親子森の科学教室1	愛知演習林	赤津研究林	4月17日
海岸林の不思議	愛知演習林	新居試験地	4月25日
利用者研究集会	愛知演習林	赤津研究林	5月14日
親子森の科学教室2	愛知演習林	赤津研究林	5月22日
親子森の科学教室3	愛知演習林	赤津研究林	7月17日
矢作川研究所研修会	愛知演習林	赤津研究林	8月3日－4日
土木学会平成16年度全国大会エクスカージョン	愛知演習林	赤津研究林	9月9日
総合学習(甘軒家小学校)	愛知演習林	赤津研究林	9月13日
親子森の科学教室4	愛知演習林	赤津研究林	9月18日
犬山市・愛知演習林公開講座	愛知演習林	犬山研究林	9月19日
治山事業公開講座	愛知演習林	瀬戸市文化センター	10月1日
課外授業(愛知朝鮮第七初級学校)	愛知演習林	赤津研究林	11月4日
総合学習(新居小学校)	愛知演習林	新居試験地	11月22日
公開講座(秋 松林体験講座)	愛知演習林	新居試験地	11月27日
親子森の科学教室4	愛知演習林	赤津研究林	12月4日
松枯れ対策総合研修会	愛知演習林	新居試験地	3月4日
水と森林パートナーシップ	愛知演習林	赤津研究林	3月12日
日米ワークショップ	愛知演習林	赤津研究林	3月18日
自然教室「富士山の自然と環境について」	富士演習林	青木ヶ原樹海	6月24日
富士河口湖町自然観察教室「森をさぐる」	富士演習林	富士演習林	6月25日
森林教育プログラム「森林と私たちの生活」	富士演習林	富士演習林 および 富士山北麓地域	7月9日－10日 9月12日
森林教育プログラム研修会	富士演習林	富士演習林および 青木ヶ原樹海	8月9日－10日
森林教育プログラム	富士演習林	山中村立 東小学校	11月8日・18日・22日
森林教育プログラム	富士演習林	山中村立 山中小学校	12月21日・1月20日 1月21日・27日
南伊豆里山体験ツアー	樹芸研究所	青野研究林	4月25日
第21回森林教室「森と遊ぼう！」	樹芸研究所	青野研究林	5月22日
第22回森林教室「昆虫」	樹芸研究所	青野研究林	8月7日
森林についての体験学習	樹芸研究所	下田市立稲梓 小学校	10月26日
森に秋を探しに行こう！	樹芸研究所	青野研究林	11月4日

講座名	演習林名	開催場所	日程
「南伊豆に住んでみたいな」と思っている方のセミナー	樹芸研究所	青野研究林	11月6日
第23回森林教室「秋の散策」	樹芸研究所	青野研究林	11月13日
子ども樹木博士認定活動	田無試験地	田無試験地	5月30日
森林教室「田無の森の探検隊 ミッション3:ミズを調べよう」	田無試験地	田無試験地	8月8日
子ども樹木博士認定活動	田無試験地	田無試験地	10月31日
公開講座「松が枯れていくのはなぜか？」	田無試験地	田無試験地	12月5日

実習等

演習林名	学校名	科目名	学部	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉	ドイツバイロイト大学	日本の森林植調査－照葉樹林－	学生・院生	照葉樹林の種構成と植物採集	学生・院生	16	8	3
千葉	東京大学	森林植物学実験野外実習	農学部	森林系3専修		29	4	3
千葉	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修		27	5	5
千葉	東京大学	理学部実習「地質調査Ⅰ」	理学部	地球惑星科学専攻		16	5～6	5
千葉	東京農業大学	自然観察及び樹木検索実習	地球環境科学部	森林総合科学科		30	6	1
千葉	千葉県立君津青葉高等学校			総合科学科		21	6	2
千葉	静岡大学	地質調査実習	理学部	生物地球環境科学科		9	7	5
千葉	宇都宮大学	樹木学実習	農学部	森林科学科	3-4年	46	8	3
千葉	東京大学教育学部附属中等教育学校	課題別学習「日本の林業に学ぶ」林業実習				9	8	3
千葉	京都大学	課題実習「地質調査法野外実習」		理学研究科		14	8～9	5
千葉	東京大学	総合科目D集中講義	教養学部			12	9	4
千葉	東京大学	森林科学実習(環境共生システム学/植物資源プロセス学)	農学部	生物材料科学		17	10	4
千葉	東京農業大学	森林生態学研究室 秋の採集会	地球環境科学部	森林総合科学科		59	11	1
千葉	東京大学	2004年度森林計測学実習	農学部	森林系3専修		5	12	4
千葉	東京学芸大学	地質調査実習	教育学部	理科教育学科		16	3	4
千葉	筑波大学	陸域環境研究センターセミナー「海水準に伴う地形変化」		生命環境研究科		12	3	2
北海道	北海道大学	大学院実習	農学研究科	森林管理保全学	修士1年	19	5	4
北海道	奈良女子大学	地域環境学実習	文学部		3年	20	6	2
北海道	長野県林業大学校	演習林における施業方法見学			2年	20	7	1
北海道	大阪女子大学	野外実習	理学部	環境理学科	3年	15	7	5
北海道	帯広畜産大学	演習林視察		畜産科学科	3年	24	7	1
北海道	東京大学	森林動物学実験	農学部3類	森林科学専攻	3年	32	7	4
北海道	東京大学	森林政策学演習		森林科学専攻	修士1年	30	8	5
北海道	東京農業大学	演習林視察	環境経済学部			3	9	3
北海道	鳥取大学	演習林視察	農学部		3-4年	6	9	2
北海道	日本大学	演習林視察	生物資源科学部	森林資源科学科		5	9	2

演習林名	学校名	科目名	学部	学科等	学年	学生数	実施月	日数
北海道	東京農業大学	演習林視察	生物産業学部	産業経営学科	2年	10	9	2
北海道	東京大学	総合科目D(森林と人の関わり)集中講義	教養学部		1・2年	16	9	4
北海道	北海道大学	合宿研修	経済学部		修士2年	3	9	2
秩父	東京大学	森林土壌学実習	農学部	森林系3専修	3年	10	4	4
秩父	東京大学	森林土木学実習	農学部	森林系3専修	4年	4	5	4
秩父	東京大学	森林植物学実験 野外実習	農学部	森林系3専修	3年	22	7	4
秩父	東京大学	フィールド科学総合演習	農学部	生圏システム学専攻	修士	6	7	4
秩父	東京大学	野生動物生態学実習	農学部	生圏システム学専攻	修士	3	10	3
秩父	東京大学	駒場全学自由ゼミナール	教養学部		1、2年	3	11	3
秩父	東京大学	教養学部総合科目D実習	教養学部		1、2年	70	12	1
秩父	東京大学	教養学部総合科目D実習	教養学部		1、2年	22	12	2
秩父	東京大学	自然環境野外総合実習	新領域創成科学研究科	環境学	修士	36	4	1
秩父	東京大学	生物環境学実験 環境動物学実習	新領域創成科学研究科	環境学	修士	17	7	2
秩父	東京都立大学	動物系統学野外実習	理学部	理学研究科自然史科学講座	4年	9	8	4
秩父	東邦大学	学生実習	理学部	東洋大学理学部	3年	17	6	4
秩父	立教大学	博物館学芸員課程野外実習	立教大学理学部	立教大学理学部	4年	40	7	4
秩父	立正大学	フィールドワークⅡC	地球環境科学部	環境システム学科	3年	26	9	4
秩父	東京大学教育学部附属中学校教育学校	夏季教室			高校	13	8	2
秩父	埼玉県立秩父農工高等学校	樹木採集実習			高校	39	7	2
秩父	共栄学園中学校・高等学校	自然体験学習			中学 高校	4	8	3
秩父	東京都立隅田川高等学校	生物実習			高校	14	8	1
愛知	名古屋大学	測樹学実習	農学部	資源生物	3年	21	5	2
愛知	東京大学	森林保全学実習	農学部	森林系3専修	4年	10	6	
愛知	東京大学	測量学実習	農学部	森林系3専修	3年	11	8	
富士	東京大学	環境設計演習	農学部	森林系3専修	4年	11	7	2
富士	東京大学	生態学野外実習	理学部	植物学科	3年	15	9	5
富士	静岡大学	野外実習	理学部	生物地球環境科学科		4	5	1

演習林名	学校名	科目名	学部	学科等	学年	学生数	実施月	日数
富士	東邦大学	植物実習	理学部	生物学科	1年	25	9	4
富士	東京大学	全学自由ゼミナール	教養学部		1年	14	12	2
樹芸	東京大学	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	21	8	4
樹芸	東京大学	資源生物学基礎実験(植生調査)	農学部	緑地環境学専修		6	7	3
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	20	4	1
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	20	6	1
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	20	7	1
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3年	20	9	1
田無	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系3専修	3年	26	6	2
田無	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系3専修	3年	26	9	1
田無	東京大学	農場基礎実習及び農業生物学基礎実習	農学部	生産・環境生物学系4専修	3年	34	5	1
田無	白梅学園短期大学	関東ローム上に生育する樹林の状況と林内・林床の小動物の観察		保育科	1,2年	30	4	1
田無	白梅学園短期大学	関東ローム上に生育する樹林の状況と林内・林床の小動物の観察		保育科	1,2年	30	6	2
田無	自由学園初等部	林苗畑および育苗作業の見学			1年	42	10	1
田無	ミス'研究談話会	野外生態系における陸生大型ミス'類の野外調査法および標本作製・同定法				25	8	3

科学研究費・受託研究費等によって行われた研究

他機関との共同研究

氏名	研究課題名	共同研究機関
安村直樹	木材の地産地消を通じた地域経済と環境保全の調和に関する研究(代表 奥田裕規)	独立行政法人 森林総合研究所
高上馬希重	カンゾウ組織培養、形質転換に関する研究	独立行政法人 理化学研究所
山本清龍	森林が人に与える快適性に関する研究	山梨県環境科学研究所
山本清龍	富士山青木ヶ原樹海におけるエコツアーに伴う環境保全モニタリングシステムの構築に関する研究	山梨県環境科学研究所

受託研究

氏名	研究課題名	委託機関
山本博一	森林・林業・木材産業分野における温暖化防止機能の計測・評価手法の開発(メタン及び亜酸化窒素の吸収・排出量と施業影響の評価)	独立行政法人 森林総合研究所
山本博一	流域圏における水環境・農林水産生態系の自然共生管理技術の開発(高度に人工林化された流域圏における森林機能変動モデルの開発)	独立行政法人 森林総合研究所
蔵治光一郎	青の革命と水のガバナンス	日本学術振興会
蔵治光一郎	森林荒廃が洪水・河川環境に及ぼす影響の解明とモデル化	科学技術振興事業団
丹下 健	荒廃熱帯林のランドスケープレベルでのリハビリテーションに関する研究(代表:小林繁男) 細部課題:荒廃地における造林技術の開発	独立行政法人 森林総合研究所
丹下 健	陸域生態系の活用・保全による温室効果ガスシンク・ソース制御技術の開発(2a)熱帯泥炭湿地のGHGソース制御・シンク制御・シンク強化技術開発	環境省
丹下 健	空間明示モデルによる大型哺乳類の動態予測と生態系管理に関する研究(代表:宮下直)	環境省
浅野友子	森林荒廃が洪水・河川環境に及ぼす影響の解明とモデル化	科学技術振興事業団

奨学寄付金

氏名	寄付目的	寄付者
山本博一	マツクイ虫防除に関する研究	(社)ゴルファーの緑化推進協力会
藤原章雄	農学研究助成のため	(財)自然環境研究センター
芝野博文	モニタリング1000サイト	(財)自然環境研究センター

科学研究費

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
丹下 健	海外学術調査(B)	熱帯林再生のためのフタバガキ科樹木の造林技術開発に関する研究	小島克己	東京大学・アジア生物資源環境研究センター
後藤 晋	基盤研究(S)	森林樹木種および外生菌根菌種の網羅的分子遺伝解析と分子生態データベースの構築	宝月岱造	東京大学・森林科学専攻
山本博一	基盤研究A	木造建造物文化財の修理用資材確保に関する研究	山本博一	東京大学・千葉演習林
山田利博	基盤研究(B)	樹木の主体防御システムに基づいた樹木治療技術に関する研究	山田利博	東京大学・田無試験地
後藤 晋	基盤研究(B)	天然林施業における伐採対象樹種の遺伝的多様性保全法の確立	井出雄二	東京大学・生圏システム学専攻
藤原章雄	基盤研究(C)	森林内映像音響空間の記録・再生システムの開発	小谷英司	森林総合研究所
鴨田重裕	萌芽研究	樹木の発根を制御する画期的手法の開発	寺田珠実	東京大学・生物材料科学専攻
後藤 晋	若手研究(B)	DNA多型解析によるヤチダモの雌雄性と繁殖・更新機構に関する研究	後藤 晋	東京大学・北海道演習林
安村直樹	若手研究(B)	地域材住宅の振興を通じた地域森林資源管理に関する研究	安村直樹	東京大学・北海道演習林
村川功雄	奨励研究	房総半島南部山間地を流れる本沢における淡水エビの生息環境と生態に関する研究	村川功雄	東京大学・千葉演習林
鈴木祐紀	奨励研究	スギ・ヒノキ植栽地におけるニホンジカによる食害に関する研究	鈴木祐紀	東京大学・千葉演習林
小川 瞳	奨励研究	花は咲けども実はならぬーエゾノウワミズザクラにおける結実率の決定要因を探るー	小川 瞳	東京大学・北海道演習林
渡邊良広	奨励研究	フタバガキ科樹木の組織培養による増殖法に関する研究	渡邊良広	東京大学・樹芸研究所
辻 和明	奨励研究	伊豆半島南部に生育する植物種のデータベース化	辻 和明	東京大学・樹芸研究所
栗田直明	奨励研究	緑化樹木の大量増殖法に関する研究	栗田直明	東京大学・田無試験地

研修

技術職員

研 修 名	開 催 機 関 等	日 程	参加人数
北海道地区新規採用職員研修	人事院北海道事務局	4月6日-9日	2名
第40回北海道地区中堅係員研修	人事院北海道事務局	8月23日-27日	1名
技術職員研修(樹木医学関係)	東京大学	8月24日-9月10日	2名
平成16年度技術職員研修(樹木医学関係)	東京大学	9月7日-10日	1名
平成16年度北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション技術職員研修	北海道大学	9月14日-17日	5名
平成16年度京都大学フィールド科学教育研究センター技術職員研修	京都大学	10月5日-7日	4名
第13回九州地区国立大学法人農学部附属演習林等技術職員研修	宮崎大学	10月13日-15日	4名
第11回東海地区農学部附属演習林技術職員研修	名古屋大学	10月18日-20日	4名
平成16年度農学部技術職員研修	東京大学農学部	11月4日-5日	16名
第7回関東甲信越地区演習林技術職員研修	東京大学	11月9日-12日	5名
技術職員海外研修(短期)	東北林業大学	11月14日-19日	1名
北海道地区国立大学法人技術職員研修	北海道大学	11月16日-18日	3名
技術職員等試験研究・研修会議	東京大学	11月17日-18日	8名
技術職員研修(コンピュータ関係)	東京大学	11月30日-12月2日	2名
東京大学職員海外研修(短期)	東京大学	3月13日-19日	1名

事務職員

研 修 名	開 催 機 関 等	日 程	参加人数
財務会計研修(国立大学法人会計基準編)	東京大学	6月7日~10日	1名
育児・女子福祉制度・健康安全管理担当者研修会	札幌市	6月30日	1名
平成16年度財務会計マネジメント研修	東京大学	10月7日-8日	1名
中堅係員研修	東京大学	10月19日-21日	1名
平成16年度初任係長研修	東京大学	11月10日-12日	1名
平成16年度技術職員研修(コンピュータ関係)	東京大学	11月30日-12月2日	1名
セクシャルハラスメント特別研修会	旭川市	3月1日	1名

安全・防災のための講習会等

研 修 名	開 催 機 関 等	日 程	参加人数
「動物実験」講習会	農学部	1日	100人
普通救命講習	千葉演習林	5月21日	18名
国立大学法人化時安全衛生講習	千葉演習林	5月31日	23名
平成16年度安全衛生教育	秩父演習林	6月3日・6月9日	22名
安全衛生教育講習会	北海道演習林	6月8日	44名
平成16年度安全運転管理者講習会	(社)埼玉県安全運転 管理者協会	6月25日	1名
安全対策講習	千葉演習林	9月17日	14名
安全管理講習会	秩父演習林	1月18日	17名
消防訓練	秩父演習林	2月1日	17名
チェンソー講習会	北海道演習林	2月9日-10日	33名

国際交流 国際シンポジウム

参加教官名	シンポジウム名	主催	開催地	日程
山本博一	International Symposium on The Role of Forests for Coming Generation	森林計画学会	宇都宮	10月17日-10月22日
酒井秀夫	森林工学に関する国際科学会議	Ukrainian State University of Forestry and Wood Technology	Ukraine	10月4日-10月17日
酒井秀夫	国際セミナー「熱帯林の環境保全のための適切な林業技術に関する相乗的アプローチ」	Universiti Putra Malaysia	Bintulu, Sarawak	3月5日-3月11日
石橋整司	FORCOM2004	森林計画学会 IUFRO	宇都宮	10月
蔵治光一郎	Interdisciplinary Workshop on Multi-scale Governance of Forests, Village and Water in the Upper Ping River Basin, Northern Thailand	- Research Institute for Humanity and Nature (5-1 Project, Leader: Shinjiro KANAE) - JSPS Project "Blue Revolution" (Leader: Koichiro KURAJI) - JSPS research grant for PUB (Leader: Kuniyoshi TAKEUCHI) - The 7th Watershed Development Office, Department of National Park, Wildlife and Flora, Thailand	Lotus Pang Suan Kaew Hotel Chiang Mai, Thailand	7-9 March 2005
芝野博文・浅野友子・藤原章雄	US-Japan joint workshop on biogeochemistry and hydrology in forest watershed associated with LTER (Long-term Ecological Research)	The 6th Conference of East Asia and Pacific Regional Network of ILTER - 第6回東アジア太平洋地域ILTERネットワーク会議	Shirasaka, SETO University Forest in AICHI The University of Tokyo	2006/3/18 2005
高上馬希重	平成16年度海外事情調査	社団法人日本植物園協会	ベトナム	12月12日-1月23日
浅野友子	Science to Secure Food and the Environment, 2004 ASA-CSSA-SSSA International Annual Meetings	Soil Science Society of America	アメリカ・シアトル	10月31日-11月4日

共同研究

教官名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍
酒井秀夫	天然林施業における森林基盤整備と評価に関する研究	リュブリャナ大学生物工学学部	POTOČNIK Igor	スロベニア

外国人研究者の来訪

研究者氏名	国籍	来訪目的	日程
POTOCNIK Igor	スロベニア	天然林施業における森林基盤整備と評価に関する研究	6月25日～7月12日
Iris Bauer	ドイツ連邦共和国	バイロイト大学植物生態学研究所日本植生見学(照葉樹林の見学, 採集)	8月16日～18日
Sophie Cralischeck	〃	〃	〃
Jonathan Heubes	〃	〃	〃
Claudia Knake	〃	〃	〃
Miguel Mahecha	〃	〃	〃
Enrico Nozinski	〃	〃	〃
Andreas Pohl	〃	〃	〃
Susanne Schulz	〃	〃	〃
Stefany Schuze	〃	〃	〃
Stefanie Wendler	〃	〃	〃
Theresa Witmann	〃	〃	〃
Pia Wuest	〃	〃	〃
Jatja Zimmer	〃	〃	〃
Tehununen夫妻, 子息	〃	〃	〃
郭 宝 章	台湾	造林事業視察	9月20日～21日
David M. Hodgson	イギリス	三浦層群清澄層の堆積学的研究	12月8日～10日
Mr.Nesar Ahmad KOHESTANI	アフガニスタン	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.LARRAIN Oscar Eduardo	チリ	JICA森林造成集団研修	9月24日
Ms.Elsa Maria ACEVEDO CIFUENTES	コロンビア	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.Gabriel Alfonso BELTRAN MUNOZ	コロンビア	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.Bounsouana PHONGPHICHITH	ラオス	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.RASOLONIRINA RAMENASON Voninabitnniaina	マダガスカル	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.Enxbtaivan GENDENSENGEE	モンゴル	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.Munkhзориг DALANBAYAR	モンゴル	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.Rojas Jullit Anthony Allan	ニカラグア	JICA森林造成集団研修	9月24日
研究者氏名	国籍	来訪目的	日程

Mr.Ma Teresa Villanueva TERROBLAS	フィリピン	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.Jacinto SOARES	東ティモール	JICA森林造成集団研修	9月24日
Mr.Michael TABI	バヌアツ	JICA森林造成集団研修	9月24日
徐 禎敏	韓国	機械集材作業の現地調査	4月21日-23日
徐 禎敏	韓国	機械集材作業の現地調査	4月26日-28日
朴 範鎮	韓国	機械集材作業の現地調査	〃
徐 禎敏	韓国	森林土木学実習	5月10日-13日
Carol J. West	ニュージーランド	イヌブナ・ブナ天然林の動態調査	〃
孫 貞阿	韓国	五葉松類のマツ材線虫病抵抗性に関する研究	7月23日
Adjinda Adjakou Akoutan	ベナン	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	9月6日-10日
Eda Gaobinelwe	ボツワナ	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Lakew Berhanu Wolde	エチオピア	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Dubiure Umaru Farouk	ガーナ	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Elphas Kimeli Bitok	ケニア	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Michel Omer Laivao	マダガスカル	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Alick Prescott Makanjira	マラウイ	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Mohammed Abba Kura Kabir	ナイジェリア	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Egidius James Rwebuga	タンザニア	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Salim Ali Khamis	タンザニア	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Tembo Nasson Emmanuel	ザンビア	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Tawanda Noel Gotosa	ジンバブエ	JICA研修「アフリカ地域野生生物保護管理」	〃
Rama Alexander Asia	インドネシア	国際ワークショップのエクサカーション	12月8日-9日
Mustofa Agung Sardjono	インドネシア	国際ワークショップのエクサカーション	〃
Simon Devung	インドネシア	国際ワークショップのエクサカーション	〃
Paulus Matius	インドネシア	国際ワークショップのエクサカーション	〃
Martinus Nanang	インドネシア	国際ワークショップのエクサカーション	〃
Ndan Imang	インドネシア	国際ワークショップのエクサカーション	〃
Fadjar Pambudhi	インドネシア	国際ワークショップのエクサカーション	〃
研究者氏名	国籍	来訪目的	日程
Yan Sinyal	インドネシア	国際ワークショップのエクサカーション	〃

Herman Hidayat	インドネシア	国際ワークショップのエク スカーション	〃
Ibram	インドネシア	国際ワークショップのエク スカーション	〃
Keshav Raj Kanel	ネパール	国際ワークショップのエク スカーション	〃
Mahendra Singh	ネパール	国際ワークショップのエク スカーション	〃
Ganesh Prasad Shivakoti	ネパール	国際ワークショップのエク スカーション	〃
Somsy Gnophanxay	ラオス	国際ワークショップのエク スカーション	〃
Thnanan, Kotpathoum	ラオス	国際ワークショップのエク スカーション	〃
Kulbhushan Balooni	インド	国際ワークショップのエク スカーション	〃
Tapan Kumar Nath	バングラディシュ	国際ワークショップのエク スカーション	〃
KIM, Soon-Sam	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
KIM, In-Kuin	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
OH, Eue-Gene	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
CHO, Won-Sook	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
IM, Jung-Soon	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
KWON, Kyung-Sook	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
LIM, Choong-Soo	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
KANG, Kyu-Wa	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
LEE, Keum-Sook	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
PARK, Kyung-Boo	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
LEE, Su-Jin	韓国	愛知演習林量水観測視察	9月9日
Mrs.Chauluka, Mr.Mkwapatira	マラウイ	JICA招聘外国人研修	3月16日
肖映秋	中国	交流	3月23日
Ruth Yanai	アメリカ合衆国	セミナー	12月22日
Peter A. Troch	オランダ	セミナー	1月24日

出版広報活動

演習林報告

「演習林報告」111号、112号を発行した。

演習林報告第111号 平成16年6月25日発行

吉村妙子・箕輪光博	
里山活用における市民を中心とした社会関係形成の状況とその意義 —霞ヶ浦流域「アサザプロジェクト」の事例—	1-24
呉 幸憲・朴 範鎮・有賀一広・仁多見俊夫・車 斗松・小林洋司	
林業機械に対する全身振動評価基準に関する考察	25-48
白木克繁・五十嵐香介	
東京大学愛知演習林および千葉演習林の山地小流域における 基底流出量と流域面積の関係の差異について	49-57
呉 守蓉・箕輪光博・島田佳津比古・露木 聡・廣嶋卓也・李 定洙	
朝日の森を対象とするGISを用いた森林機能評価と森林ゾーニング	59-83
稲葉尚子・久保田 洋・齋藤陽子・竹中千里	
樹芸研究所内銅ズリ鉱堆積場におけるCuの存在状態について	85-97
田中 恵・井出雄二	
<i>Pseudomonas fluorescens</i> の添加がアカマツとキツネタケの <i>in vitro</i> 共存培養系に及ぼす影響 —MHB研究法確立のためのモデル実験系構築の試み—	99-108
竹本太郎	
明治期における学校林の設置	109-177

演習林報告第112号 平成16年12月25日発行

澤田晴雄・平野和男・齋藤俊浩・大村和也・相川美絵子・酒井秀夫	
シュロの炭化特性と炭質	1-9
白石則彦・土田絢子・泉 桂子・鈴木 誠	
東京大学千葉演習林における炭素蓄積量の推定 —1995年と1909年の比較—	11-34
坂 奈穂子・井出雄二	
湯檜曾川流域におけるユビソヤナギの生活史特性	35-43
堀 啓映子・新谷博幸・飯塚堯介	
トリメチルシリルアイオダイドを用いたリグニン β -エーテル結合の選択的開裂 —グアイアシル2量体を用いたモデル実験—	45-53
大越美香	
子ども時代の自然体験と動植物の認識に関する研究	55-153
堀 啓映子・清水 隆・飯塚堯介	
異なる広葉樹リグニンでのシリングル β -0-4結合の寄与	155-162

演習林

「演習林」44号を発行した。

演習林第44号 平成17年1月31日発行

鈴木 誠・藤平晃司・福岡 哲・米道 学・山本博一・梶 幹男 千葉演習林の保護樹調査(Ⅱ)－設定後75年間の成長－	1-72
五十嵐勇治・岩田豊太郎 東京大学秩父演習林の植物相	73-119
五十嵐勇治・大村和也・藤原章雄 秩父演習林における二次林固定試験地林分成長資料.....	121-210
大村和也・澤田晴雄・大畑 茂・藤原章雄 秩父演習林における人工林固定測定地林分成長資料(補遺).....	211-249
齋藤俊浩・石田 健・山根明臣・佐々木和男 秩父演習林におけるキクイムシ類捕獲個体数記録	251-275
農学生命科学研究科附属演習林 東京大学演習林気象報告【修正版】(自2002年1月至2002年12月)	277-299
農学生命科学研究科附属演習林 東京大学演習林気象報告(自2003年1月至2003年12月)	301-323

新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
千葉演習林	国土交通省長島ダム管理	3月	長島ダム周辺の動植物－ヤマビル－
千葉演習林	広報あまつこみなと	4月号	新緑の猪ノ川溪谷へ
千葉演習林	広報あまつこみなと	4月号	町所在公共機関等連絡会(通称タイサミット)が千葉演習林を会場に開かれる
千葉演習林	朝日新聞(千葉)	4月9日	猪ノ川溪谷一般公開
千葉演習林	房日新聞	5月2日	鳥獣保護員18人に委嘱
千葉演習林	房日新聞	5月13日	県鳥獣保護員 安房は18人に辞令
千葉演習林	房日新聞	6月6日	秘境たのしむ森林教室 参加者を募る
千葉演習林	房総ファミリア新聞	6月12日	講習会・教室③夏の森林教室
千葉演習林	房日新聞	6月13日	環境考えるゼミナール高校生対象に演習林で
全演習林	エコソフィア	13号	全国「大学の森」マップ大学演習林編
千葉演習林	朝日新聞(千葉)	6月18日	夏の森林教室－森がくれる水の恵み
千葉演習林	日本農業新聞	8月23日	シカと共に増加したヤマビルに農家悲鳴
千葉演習林	フジテレビ	10月8日	スーパーニュース「急増魔の吸血ヒル、行楽客悲鳴」
千葉演習林	房日新聞	10月13日	溪谷の秋楽しんで東大千葉演習林一部を一般公開
千葉演習林	房日新聞	10月13日	学年ごとに住民と交流 天津小のふれあいポケット
千葉演習林	ちば県民だより11月号	11月5日	ちば魅力発見 紅葉が映える湖畔を歩く
千葉演習林	朝日新聞(千葉)	11月12日	紅葉の猪ノ川溪谷へ
千葉演習林	房日新聞	3月20日	溪谷の緑満喫して 東大演習林一般公開
北海道演習林	北海道新聞	3月17日	神秘的！山の風穴
北海道演習林	北海道新聞	4月18日	東大演習林大麓山調査「風雪下 根伸ばす高山植物」
北海道演習林	北海道新聞	5月4日	倉庫から約60年前の写真看板多数見つかる
北海道演習林	北海道新聞	5月10日	巨木そびえる人が育てた森
北海道演習林	北海道新聞	5月13日－15日 5月18日－22日	北の国の原風景－演習林資料から－
北海道演習林	北海道新聞	6月8日	公開セミナー「春の樹海めぐり」
北海道演習林	北海道新聞	6月18日	ハチ対策で職員に導入(エピペン講習会)
北海道演習林	北海道新聞 富良野新聞	6月25日－26日	富良野市と東大演習林が交流協定
北海道演習林	北海道新聞 富良野新聞	9月25日 10月2日	東大演習林学ぼう－市職員研修会－
北海道演習林	北海道新聞	9月29日	子ども自然塾
北海道演習林	北海道新聞	10月17日 10月19日	気軽に森を満喫 －東大演習林にじん樹山散歩コース開設－
北海道演習林	北海道新聞 富良野新聞	11月20日 11月25日	断層のずれ確認 －道立地質件 東大演習林で調査－
愛知演習林	朝日新聞	3月11日	森の荒廃妨げ健康チェック
愛知演習林	中日新聞	11月28日	松林ににぎわいを

演習林名	メディア	日付	内容
愛知演習林	静岡新聞	11月28日	松林に鳥の呼ぼう
研究部 田無試験地	NHK教育テレビ	1月21日	「高校講座生物」第36回放送「植物の生活と水」

科学の森ニュース

号 数	発 行 日	表 紙 見 出 し
第 2 2 号	平成16年5月8日	今年も科学の森教育研究センターから卒業
第 2 3 号	平成16年7月9日	上杉理事が千葉演習林を視察
第 2 4 号	平成16年9月30日	北海道演習林と富良野市が協定締結
第 2 5 号	平成16年11月12日	田無試験地で「ミミズまつり2004」開催
第 2 6 号	平成17年1月10日	北海道演習林で活断層が確認されました
第 2 7 号	平成17年3月7日	東京大学秩父演習林「自由見学日」

著 書

氏 名	書 名
酒井秀夫(分担執筆)	我ら皆、山の民(国際山岳年日本委員会編)
酒井秀夫	作業道—理論と環境保全機能
井上真・酒井秀夫	人と森の環境学
酒井秀夫(分担執筆)	林業普及通信教育講座テキスト2004Vol.4
樹芸研究所	伊豆の海から考える環境教育プログラム集
丹下 健	森林生理生態学(共著)
蔵治光一郎・保屋野初子	緑のダム—森林、河川、水循環、防災

各種委員会報告

運営委員会

演習林規則第5条により設置されている演習林の管理及び運営に関する最高議決機関である。委員は、演習林の教授・助教授のほか、研究科長が推薦する研究科の教授又は助教授（10名以内）と事務部長であり、演習林長が委員長を務める。今年度は、平成17年3月16日に開催された。

地方林長会議

演習林における種々の活動について報告及び審議がなされる。構成員は、演習林長、研究部長、地方林長、事務部長、関係課長・掛長であり、演習林長が議長を務める。

演習林会議

演習林長の諮問機関としての役割を持つ。毎月1回、原則として教授会開催日の前日に開催される。メンバーは講師以上の演習林教員である。今年度は都合11回開催された。

補佐会議

演習林長の諮問機関としての機能を持ち、演習林長と林長補佐で構成され、必要に応じて適宜開催される。

演習林編集委員会

「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行い、原則として2か月おきに開催される。

事務主任打ち合わせ会議

地方演事務主任相当職によって地方演における事務処理遂行上の問題点等について報告、意見交換が行われる。原則として演習林長、研究部長、統括技術長も出席する。必要に応じて事務部の関係課長、掛長も同席する。年1回、当初予算決定後に開催される。今年度は平成16年7月30日に開催された。

技術職員等試験研究・研修会議

技術職員等による研究報告と情報交換、技術研修等を目的に年1回開催される。今年度は、平成16年11月17～18日にかけて樹芸研究所(及び運動会下賀茂寮)で開催された。

技術主任会議

地方演技術職主任によって地方演における森林管理や技術職員組織に関わる諸問題について報告、意見交換が年1回が行われる。原則として演習林長、研究部長、統括技術長も出席する。今年度は平成16年6月9,10日に開催された。

学外各種委員会等委員

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
村川功雄	千葉県鳥獣保護員	千葉県環境生活部自然保護課
才木道雄	千葉県鳥獣保護員	千葉県環境生活部自然保護課
山中征夫	千葉県鳥獣保護員	千葉県環境生活部自然保護課
山中征夫	スクールボランティア	天津小湊町教育委員会
山中征夫	鳥獣救護ボランティア	千葉県環境生活部自然保護課
山中征夫	千葉県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ)策定 検討委員	千葉県環境生活部自然保護課
酒井秀夫	日本林学会北海道支部評議委員	日本林学会北海道支部
酒井秀夫	地域管理経営計画等に関する懇談会委員	北海道森林管理局
酒井秀夫	独立行政法人評価委員会専門委員林野分科会 専門委員	農林水産省
酒井秀夫	新林業機械作業システム検討協議会委員	北海道庁
後藤 晋	北海道の林木育種評議委員	北海道林木育種
石橋整司	埼玉県河川整備計画策定専門会議委員	埼玉県
石橋整司	特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査 指導委員	埼玉県
石橋整司	埼玉県農林総合研究センター研究等評価委員会 委員	埼玉県
石橋整司	秩父市林業振興推進協議会委員	秩父市
石橋整司	秩父市バイオマス・コジェネ施設検討委員会委員	秩父市
石橋整司	飯能・名栗エコツーリズム推進協議会準備会委員	飯能市
石橋整司	大滝村環境税と荒川源流の森林を考える懇親会 委員	大滝村
芝野博文	中部森林学会委員	理事
蔵治光一郎	編集出版委員会	水文・水質資源学
山本清龍	総合計画審議会委員	富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産 保護組合
山本清龍	新エネルギービジョン部会委員	富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産 保護組合
山本清龍	エコツーリズム部会委員	富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産 保護組合
山本清龍	山中湖クラブツーリズム推進協議会準備委員会委	山中湖村
山本清龍	富士山北麓エコツーリズム推進協議会委員	山梨県・環境省
山田利博	樹木医研修カキウム検討委員会	(財)日本緑化センター
山田利博	理事会/評議員会	樹木医学会
丹下 健	理事会/編集委員会	森林立地学会
丹下 健	評議会	日本森林学会
丹下 健	編集委員会	樹木医学会
丹下 健	森林吸収量報告・検証体制緊急整備事業に関わ る全体検討会	森林総合研究所

山火事予防活動

演習林名	名	称	開催場所	日程	参加人数
千葉演習林	冬の特別巡林		清澄作業所	2月3日	23人
北海道演習林	林野火災予防強調期間中の林内巡視及び日直		北海道演習林一円	4月21日～ 5月31日	48人
秩父演習林	消防訓練		秩父演習林	2月1日	17人

主要設備:平成16年度に購入した100万円以上の設備

演習林名	設備名	用途
北海道演習林	パワーシャベル	土木用
北海道演習林	示差屈折率検出器	研究用
富士演習林	いすゞエルフ4WDダブルキャブ	林内作業車

年間行事

月	行 事
4月	春の一般公開(千葉)、「野鳥の家をつくろう」(千葉)、富良野市林野火災予消防対策協議会(北海道)、森林土壌学実習(秩父)、新領域自然環境野外総合実習(秩父)、サポーター養成講座①(秩父)、日本林学会大会(愛知)、土壌肥料学会(愛知)、植樹祭(愛知)、苗畑除草施肥灌水(愛知)、公開講座(愛知)、年度はじめ(富士)、植樹祭(樹芸)、南伊豆里山体験ツアー(樹芸)、造林学実験(田無)
5月	春季業務研修(千葉)、春の特別巡林(千葉)、上川南部流域森林・林業活性化センター協議会(北海道)、山部森林愛護組合総会(北海道)、植樹祭(北海道)、森林土木学実習(秩父)、公開講座「奥秩父のブナ林を学ぼう」(秩父)、共催事業「奥秩父新緑モニタリング」(秩父)、埼玉県高等学校総合体育登山大会(秩父)、サポーター養成講座②(秩父)、利用者研究集会(愛知)、苗畑除草施肥灌水(愛知)、公開講座(愛知)、山中湖ロードレース大会(富士)、全日本少年少女ヨット大会(富士)、第21回森林教室「森と遊ぼう！」(樹芸)、白梅学園短期大学実習(田無)、子ども樹木博士認定活動(田無)
6月	演習林利用者説明会(千葉)、富良野市地域交流調印式(北海道)、富良野地方総合開発連絡協議会総会(北海道)、公開セミナー「樹海めぐり」(北海道)、麓郷森林資料館特別開館(6月-9月第2・4日曜日)(北海道)、サポーター養成講座③(秩父)、サポーター養成講座④(秩父)、森林保全学実習(愛知)、苗畑除草施肥灌水(愛知)、山中湖バス釣り大会(富士)、Mt.Fuji Birding Fest2004(富士)、環境設計演習(農学部森林科学専攻)(富士)、富士河口湖町自然観察教室(富士)、白梅学園短期大学実習(田無)、森林動物学実験(田無)、造林学実験(田無)
7月	「夏の森林教室」(千葉)、高校生のための森と海のゼミナル(千葉)、教育学部附属中等教育学校実習(北海道)、一般定期健康診断(北海道)、大麓山ハイキング登山会(北海道)、サポーター養成講座⑤(秩父)、埼玉森林インストラクター会研修(秩父)、生圏システム学専攻・フィールド科学総合演習(秩父)、森林植物学実験野外実習(秩父)、埼玉県立秩父農工科学高校・植物採集実習(秩父)、新領域生物環境学・環境動物学実習(秩父)、堰提砂出し(愛知)、苗畑除草施肥灌水(愛知)、公開講座(愛知)、環境設計演習(富士)、日産財団理科教育助成事業「森林と私たちの生活」(富士)、山中寮夏期特別開寮式典(富士)、資源生物学基礎実験(植生調査)(樹芸)、造林学実験(田無)
8月	北演レジャー講習会(北海道)、共栄学園中学校・高等学校自然体験学習(秩父)、都立隅田川高等学校生物実習(秩父)、教育学部附属中学校夏季教室(秩父)、サポーター養成講座⑥(秩父)、共催事業「源流の散策と水棲昆虫観察・採集」(秩父)、苗畑除草施肥灌水(愛知)、測量学実習(愛知)、森林教育プログラム研修会(富士)、第22回森林教室「昆虫」(樹芸)、森林実習(樹芸)、ミズ研究談話会ミズ公開実習・森林教室「田無の森の探検隊」(田無)
9月	教養学部総合講義D集中講義(北海道)、大麓山ハイキング登山会(北海道)、植樹(北海道)、子ども自然塾(北海道)、サポーター養成講座⑦(秩父)、立木処分調査(愛知)、公開講座(愛知)、土木学会エクスカッション(愛知)、工学部測量学実習(富士)、理学部生態学野外実習(富士)、日産財団理科教育助成事業「森林と私たちの生活」(富士)、造林学実験(田無)、森林動物学実験(田無)、教室系技術職員研修(田無)
10月	北海道地区演習林業務担当者会議(北海道)、サポーター養成講座⑧(秩父)、公開講座「森の木が材木になるまで」(秩父)、共催事業「紅葉のトロッコ廃止線路を歩く」(秩父)、技術官等試験研究・研修会議(愛知)、測量学実習(愛知)、立木処分調査(愛知)、大学等地域開放特別事業(愛知)、アカエゾマツ試験地間伐(富士)、森林についての体験学習(樹芸)、健康診断(樹芸)、子ども樹木博士認定活動(田無)
11月	秋の一般公開(千葉)、シカ猟解禁(北海道)、特別健康診断[給食業務](北海道)、北演レジャー講習会(北海道)、職員健康管理講習会(北海道)、北海道地方演習林協議会[北演当番校](北海道)、サポーター養成講座⑨(秩父)、公開講座「冬の昆虫観察」(秩父)、駒場全学自由研究ゼミナル(秩父)、里親企画(秩父)、山の神祭礼(愛知)、施設関係調査立会い(愛知)、蔓切り徐伐(愛知)、立木処分調査(愛知)、公開講座(愛知)森林に秋を探しに行こう！(樹芸)、「南伊豆に住んでみたいな」と思っている方のセミナー(樹芸)、第23回森林教室「秋の散策」(樹芸)、平成16年度技術職員等試験研究・研修会議(樹芸)、
12月	野鳥の家を作ろう(千)、北海道産銘木市(北海道)、北演レジャー講習会第2回(北海道)、公開講座「門松・リースづくり」(秩父)、教養学部総合科目D実習(秩父)、公開講座「竹炭づくり」①②(秩父)、サポーター養成講座⑩(秩父)、御用納め(愛知)、蔓切り徐伐(愛知)、全学自由ゼミナル(富士)、特殊健康診断(樹芸)、公開講座(田無)
1月	「演習林を歩こう」(千葉)、公開講座「竹炭づくり」③(秩父)、サポーター養成講座⑪(秩父)、御用始め(愛知)、蔓きり除伐(愛知)
2月	冬の特別巡林(千葉)、持続的森林経営に関する現地検討会(北海道)、チェーンソー講習会(北海道)、地ごしらえ(愛知)、マツノサイセンチュウ病防除(愛知)、産業医来所(樹芸)
3月	上川地区林野火災予消防対策協議会(北海道)、麓郷ラングラウフ(北海道)、マツノサイセンチュウ病防除(愛知)、森と森林パートナーシップ(愛知)、日米ワークショップ(愛知)研究成果発表会(樹芸)、田無試験地利用者成果発表会(田無)
毎月	主任会議(千葉)、事業計画会議(千葉)、定例会議(秩父)、自由見学日(秩父)

資料
人事異動

平成16年4月1日付

新職名あるいは異動内容	氏名	旧職名(あるいは備考)
樹芸研究所長	丹下 健	研究部長と兼任
千葉演習林事務室係長	根上 昌久	附属図書館総務課管理掛長
北海道演習林管財係長	米田 久和	(独)日高少年自然の家庶務課会計係主任
秩父演習林事務室係長	新井 烈	理学系研究科附属天文学教育研究センター事務室主任
樹芸研究所事務室係長	山本 親男	沼津工業高等専門学校会計課総務係長
医学部附属病院管理課将来計画推進係長	伊藤 忠夫	千葉演習林事務主任
北海道大学歯学部会計掛長	竹中 勝良	北海道演習林管財掛長
統括技術長	佐々木 和男	秩父演習林事務主任(技術専門員)
千葉演習林森林管理係主任、技術主任(兼)	鶴見 康幸	千葉演習林森林管理掛主任
千葉演習林企画調整係主任、施設係主任(兼)	村川 功雄	千葉演習林企画調整掛主任
千葉演習林清澄作業所主任、宿泊管理係主任(兼)	永島 初義	千葉演習林施設掛主任、宿泊管理掛主任併任
千葉演習林郷台作業所主任	米道 学	千葉演習林郷台作業所
千葉演習林郷台作業所	塚越 剛史	千葉演習林土木掛
千葉演習林郷台作業所	軽込 勉	千葉演習林清澄作業所
千葉演習林土木係	藤平 晃司	千葉演習林郷台作業所
千葉演習林清澄作業所	唐鎌 勇	(再雇用)
北海道演習林山麓作業所主任	島 強	北海道演習林山麓作業所主任、山麓作業所調査第二掛主任併任
北海道演習林東山作業所主任、同事務係・土木係主任(兼)	五十嵐 秀雄	北海道演習林土木掛主任
北海道演習林山麓作業所調査第二係主任	笠原 久臣	北海道演習林調査資料掛
北海道演習林東山作業所生産係主任	平田 雅和	北海道演習林調査資料掛
北海道演習林調査資料係	福士 憲司	北海道演習林山麓作業所調査第一掛
北海道演習林調査資料係	木村 徳志	北海道演習林山麓作業所調査第二掛
北海道演習林山麓作業所調査第一係	小池 征寛	北海道演習林東山作業所生産掛
北海道演習林東山作業所生産係	福岡 哲	北海道演習林山麓作業所調査第一掛
北海道演習林山麓作業所調査第一係	及川 希	(採用)
北海道演習林山麓作業所調査第二係	遠國 正樹	(採用)
北海道演習林森林技術係	山本 勝彦	(再雇用)
北海道演習林森林技術係	岩本 進一	(再雇用)
秩父演習林長	石橋 整司	秩父演習林長、試験掛主任併任
秩父演習林教育研究主任	藤原 章雄	秩父演習林試験掛
秩父演習林技術主任	大畑 茂	秩父演習林造林掛主任
秩父演習林森林施業系主任(兼)、森林計画係主任	齋藤 俊浩	秩父演習林影森苗畑主任、試験掛併任
秩父演習林利用促進系主任(兼)、企画調整係主任	澤田 晴雄	秩父演習林栃本作業所主任、試験掛併任
秩父演習林森林管理係主任	五十嵐勇治	秩父演習林企画調整掛主任、試験掛併任
秩父演習林栃本作業所主任、大血川作業所主任(兼)	千嶋 武	土木掛主任、試験掛併任
秩父演習林影森苗畑主任	高野 充広	秩父演習林栃本作業所、試験掛併任
秩父演習林資料管理係主任	大村 和也	秩父演習林調査掛主任、試験掛併任

平成16年4月1日付

新職名あるいは異動内容	氏名	旧職名(あるいは備考)
秩父演習林森林計画係	田代 八郎	秩父演習林施業掛
秩父演習林栃本作業所、森林計画係(兼)	神塚 武一	秩父演習林栃本作業所
秩父演習林栃本作業所、森林管理係(兼)	西山 教雄	秩父演習林栃本作業所、試験掛併任
秩父演習林栃本作業所	宅間 隆二	千葉演習林郷台作業所主任
秩父演習林栃本作業所、森林管理係(兼)	山中 隆平	(再雇用)

平成16年5月6日付

新職名あるいは異動内容	氏名	旧職名(あるいは備考)
北海道演習林調査資料係	犬飼 雅子	育児休業
北海道演習林調査資料係	大川 あゆ子	(臨時的採用)

平成16年7月1日付

新職名あるいは異動内容	氏名	旧職名(あるいは備考)
千葉演習林主査、事務室係長(兼)	根上 昌久	千葉演習林事務室係長

平成16年12月1日付

新職名あるいは異動内容	氏名	旧職名(あるいは備考)
愛知演習林赤津作業所主任、造林係(兼)	後藤 太成	愛知演習林造林係、赤津作業所主任(兼)

平成17年3月31日付

新職名あるいは異動内容	氏名	旧職名(あるいは備考)
定年退職	大畑 喜久江	秩父演習林事務室主任
〃	島 強	北海道演習林山麓作業所主任
〃	高橋 範和	北海道演習林山麓作業所調査第一係
〃	坂口 敏雄	北海道演習林東山作業所生産係
〃	田代 八郎	秩父演習林森林計画係
任期满了	山中 隆平	秩父演習林栃本作業所、森林管理係(兼)

収入・支出

予算配分

運 営 費	:	352,470	千円	
特 殊 要 因	:	8,871	千円	借地料・下水道負担金
<hr/>				
小 計		361,341	千円	

収入

林産物収入	:	128,909	千円	
損害賠償金	:	7,444	千円	
奨学寄付金	:	2,079	千円	科学の森里親制度による分
<hr/>				
小 計		138,432	千円	

演習林林産物収入細分表

区 分	立 木	素 材	そ の 他		合 計
			ヒサカキ	苗 木	
千葉演習林	407.46 m ³	55.924 m ³	68 束	0 本	3,984,510 円
	2,393,550 円	1,531,800 円	59,160 円	0 円	
北海道演習林	26,471.68 m ³	2,509.591 m ³	0 束	480 本	122,624,480 円
	41,870,950 円	80,660,655 円	0 円	92,875 円	
秩父演習林	598.05 m ³	5.876 m ³	0 束	40 本	1,747,590 円
	1,634,590 円	50,000 円	0 円	63,000 円	
愛知演習林	172.97 m ³	0.000 m ³	0 束	0 本	548,000 円
	548,000 円	0 円	0 円	0 円	
合 計	27,650.16 m ³	2,571.391 m ³	68 束	520 本	128,904,580 円
	46,447,090 円	82,242,455 円	59,160 円	155,875 円	

組織図

本部

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
演習林長 教授 永田 信		
研究部 部長 教授 丹下 健 統括技術長 佐々木 和男	教授 山本 博一（兼） 助教授 石橋 整司（兼） 講師 鴨田 重裕（兼） 助手 浅野 友子 事務部附属施設総務係主任 池田美智子	事務補佐員 黒岩 洋一 " 小林 ひとみ
農学系事務部 事務部長 高橋 忠世 総務課長 菊池 力 経理課長 最首 八重子 教務課長 笹川 優	附属施設担当専門員 葉袋 史彦 ほか事務部各係	

千葉演習林

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林長 教授 山本 博一		
林長補佐 講師 鈴木 誠		
事務係 主査 根上 昌久	事務室主任 田山 勝則 石野 裕昭	
技術主任 技術専門職員 鶴見 康幸（兼）		
森林管理係主任 技術専門職員 鶴見 康幸	技術職員 才木道雄（兼）	
企画調整係主任 技術専門職員 村川 功雄	技術職員 相川 美絵子	
生産処分係主任 技術専門職員 山中千恵子		
施設係主任 技術専門職員 村川功雄（兼）		
土木係主任 技術専門職員 大石 諭	技術職員 藤平 晃司	
試験係主任 講師 鈴木 誠	助手 山中 征夫 助手 池田 裕行	
造林係主任 技術専門職員 大塚 明宏		
宿泊管理係主任 技術専門職員 永島 初義 （兼）		臨時用務員 糟谷 育代 技能補佐員 鈴木 俊江 技能補佐員 行方 和子
清澄作業所主任 技術専門職員 永島 初義	技術職員 才木 道雄 技術職員 唐鎌 勇	技能補佐員 菅野 信一 技能補佐員 朝生 忠義
札郷作業所主任 技術専門職員 鈴木 裕紀	技術職員 里見 重成 技術職員 阿達 康眞	技能補佐員 糟谷 いさ 技能補佐員 黒川よし子 技能補佐員 鴫田 利夫
郷台作業所主任 技術職員 米道 学	技術職員 塚越 剛史 技術職員 軽込 勉	技能補佐員 鴫田 英子 技能補佐員 鴫田美登里 技能補佐員 鴫田 好 技能補佐員 山田 欽彌

北海道演習林

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林長 教授 酒井 秀夫		
林長補佐 講師 鴨田 重裕		
主 査 齊藤 輝年		
技術主任 技術専門員 道上 昭夫		
庶務係 係長 秩父 敏	主任 大屋 裕子 主任 横山 和宏	事務補佐員 穴澤三恵子
会計係 係長 齊藤 輝年（兼）	主任 岡田 教和 三上 匠	
資産管理係 係長 米田 久和	天山 学	事務補佐員 伊原 悦子
営繕係	米田 久和（兼）	臨時用務員 荏原 恵子
セミナーハウス	秩父 敏（兼）	技能補佐員 渡邊 渉 技能補佐員 山本八ナ子 技能補佐員 飯沼 芳子 臨時用務員 米澤 京子
調査資料係主任 技術専門職員 廣川 俊英	技術専門職員 福士 憲司 技術職員 木村 徳志 技術職員 犬飼 雅子 （産休） 技術職員 大川あゆ子	技能補佐員 宍戸エミ子 技能補佐員 島崎 江子 技能補佐員 稲葉 文吉
種苗造林係主任 技術専門職員 岡村 行治	技術職員 松井 理生	
生産処分係主任 技術専門職員 犬飼 浩		事務補佐員 吉田 幸子 事務補佐員 藤島ノブ子
土木係主任技術専門職員 五十嵐秀雄（兼）	技術職員 飯沼 利雄	
森林技術係	技術職員 岩本 進一 技術職員 山本 勝彦	
試験係	講師 鴨田 重裕 講師 後藤 普 助手 宮本 義憲 助手 安村 直樹	
東山作業所主任 技術専門職員 五十嵐秀雄		
事務係 技術専門職員 五十嵐秀雄（兼）		
生産係主任 技術専門職員 平田 雅和	技術専門職員 坂口 敏雄 技術職員 磯崎 靖雄 技術職員 福岡 哲	技能補佐員 鴫田 博昭 技能補佐員 千徳 勝洋
山麓作業所主任 技術専門職員 島 強		
調査第一係主任技術専門職員 井口 和信	技術専門職員 高橋 範和 技術職員 小池 征寛 技術職員 丹羽 悠二	

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
	技術職員 及川 希	
調査第二係主任 技術専門職員 笠原久臣	技術職員 清水目元一 技術職員 岡平 卓巳 技術職員 高橋 功一 技術職員 遠國 正樹	
山部樹木園主任 技術専門職員 芝野 伸策	技術職員 小川 瞳 技術職員 鈴木 憲 技術職員 大屋 一美	技能補佐員 内芝 和江 技能補佐員 安藤 佳子

秩父演習林

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林長 助教授 石橋 整司		
事務係 事務室係長 新井 烈	事務室主任 大畑喜久江 事務室主任 大村 栄 清水 克也 技術専門職員 大畑 茂 技術専門職員 齋藤 俊浩 (兼)	臨時用務員 笠原 美津子
技術主任 技術専門職員 大畑 茂		
森林施業系主任 技術専門職員 齋藤俊浩（兼）		
森林計画係主任 技術専門職員 齋藤 俊浩	技術専門職員 田代 八郎 林業作業員神塚武一（兼）	
森林管理係主任 技術専門職員五十嵐 勇治	技術職員 西山教雄（兼） 技術職員 山中隆平（兼）	
栃本作業所主任 技術専門職員 千嶋 武	技術職員 西山 教雄 技術職員 山中 隆平 技術職員 宅間 隆二 林業作業員 神塚 武一	臨時用務員 小河 洋子 臨時用務員 黒澤ヨシ子
大血川作業所主任 技術専門職員 千嶋 武 (兼)		
影森苗畑主任 技術職員 高野 充広	技術専門職員 澤田晴雄 (兼)	
利用促進系主任 技術専門職員 澤田晴雄（兼）		
企画調整係主任 技術専門職員 澤田 晴雄		
資料管理係主任 技術専門職員 大村 和也	助手 藤原 章雄	
教育研究主任 助手 藤原 章雄（兼）		
川俣学生寄宿舎		臨時用務員 田中 美枝

愛知演習林

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林長 助教授 芝野 博文		
事務係 事務室係長 加藤 正勝	事務室主任 春田まち子	
施業係主任 技術専門員 荒木田善隆		
調査処分係主任 技術専門員 荒木田善隆 （兼）	技術専門職員 井上 淳	
造林係主任 技術専門職員 後藤 太茂	技術職員 高德 佳絵	
土木施設係主任 技術専門職員 渡部 賢	技術職員 高德 佳絵 （兼）	
試験係主任 助教授 芝野 博文（兼）	講師 蔵治光一郎 助手 春田 泰次 助手 吉田 孝久 技術専門職員 荒木田きよみ	
赤津作業所主任 技術専門職員 後藤 太茂 （兼）	技術専門職員 井上 淳 （兼） 技術専門職員 荒木田きよみ （兼）	技能補佐員 熊谷喜美子 技能補佐員 大川 くに子 技能補佐員 田中 佳重 技能補佐員 胡桃沢 清 技能補佐員 胡桃沢 晃子 技能補佐員 原 孝秀 技能補佐員 波多野八重子
白坂苗畑主任 技術専門職員 井上 淳（兼）		
教官学生宿舎主任 技術専門職員 井上 淳 （兼）		
犬山作業所主任 技術専門職員 渡部 賢 （兼）		技能補佐員 梁瀬 憲次 技能補佐員 岡本てる子 技能補佐員 亀井 弘光
東山試験地	助手 春田 泰次（兼）	
穴の宮試験地	技術専門員 荒木田善隆 （兼）	
新居試験地	技術専門員 荒木田善隆 （兼）	技能補佐員 近藤よし江

富士演習林

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林長 助教授 石橋 整司（兼）	助手 山本 清龍	
演習林業務	技術職員 千島 茂	臨時用務員 高村 洋子

樹芸研究所

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
林長 教授 丹下 健（兼）	助手 高上馬 希重	
事務係 事務室係長 山本 親男		
試験係	技術専門職員 渡邊 良広 （兼） 技術職員 辻 和明 技術職員 辻 良子 技術職員 村瀬 一隆 （兼）	技術補佐員 山田 必子 技能補佐員 須藤 和子 技能補佐員 土屋 福江
調査掛主任 技術専門職員 渡邊 良広		
青野作業所主任 技術職員 村瀬 一隆		技能補佐員 大島 浩子 技能補佐員 渡邊 泰男 技能補佐員 高橋 誠

田無試験地

組織（主任職員）	配置職員（教職員）	配置職員（非常勤職員）
試験地主任 助教授 山田 利博	助手 前原 忠 助手 坂上 大翼 技術専門員 岩本 則長 技術専門職員 栗田 直明	事務補佐員 佐々木 スミ子 技能補佐員 川田 米子 技能補佐員 前田 克人

各演習林所在地および連絡先

研究部

〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話 03-5841-5497
FAX 03-5841-5494

千葉演習林

〒299-5503
千葉県鴨川市天津770
電話 04-7094-0621
FAX 04-7094-2321

清澄作業所

〒299-5505
千葉県鴨川市清澄135
電話 04-7094-0585

札郷作業所

〒292-0537
千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1
電話 0439-39-3122

郷台作業所

〒292-0533
千葉県君津市折木沢字相ノ沢
電話 0439-39-3121

北海道演習林

〒079-1561
北海道富良野市字山部2条通北1
電話 0167-42-2111
FAX 0167-42-2689

セミナーハウス

〒076-0161
北海道富良野市字麓郷市街地1
電話 0167-29-2204

東山作業所

〒076-0202
北海道富良野市字東山9号地
電話 0167-27-2116

山部樹木園

〒079-7582
北海道富良野市字山部第一苗圃
電話 0167-39-6017

秩父演習林

〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話 0494-22-0272
FAX 0494-23-9620

栃本作業所

〒369-1901
埼玉県秩父市大滝3450
電話 0494-55-0355

大血川作業所

〒369-1907
埼玉県秩父市大滝5198
電話 0494-54-1220

影森苗畑

〒369-1871
埼玉県秩父市大字下影森764
電話 0494-23-9768

愛知演習林

〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話 0561-82-2371
FAX 0561-85-2838

赤津作業所・白坂苗畑

〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1
電話 0561-82-8816

教官・学生寄宿舎

〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1
電話 0561-82-1185

犬山作業所

〒484-0094
愛知県犬山市塔野地字大畔178-2
電話 0568-61-0270

穴の宮試験地

〒489-0008
愛知県瀬戸市曾野町411-1
電話 0561-48-1342

新居試験地

〒431-0300
静岡県浜名郡新居町ハマンド3606-1

富士演習林

〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話 0555-62-0012
FAX 0555-62-4798

樹芸研究所

〒415-0304
静岡県賀茂郡南伊豆町加納457
電話 0558-62-0021
FAX 0558-62-3170

青野作業所

〒415-0327
静岡県賀茂郡南伊豆町青野851
電話 0558-62-0254

田無試験地

〒188-0002
東京都西東京市緑町1-1-8
電話 0424-61-1528
FAX 0424-61-2302